

平成 7 年 度

三重県埋蔵文化財センター年報 7

1 9 9 6 ・ 3

三重県埋蔵文化財センター

## はじめに

埋蔵文化財は、私たちの祖先がその時代を生き証であり、また、当時の生活の有り様を今に伝える貴重な財産であります。しかし、近年の著しい開発事業の増加に伴い、数多くの埋蔵文化財が発掘調査され、そして消滅してゆきました。しかし一方で、発掘調査により発見された新たな事実は、歴史に対する認識、常識を立証するものであったり、また覆すものであったりして、私たちのロマンをなおいっそうかき立ててくれます。本年度も、県内各地で開催された現地説明会や展示会等を通じて多くの方々に歴史に対する興味を、また、埋蔵文化財保護に対するご理解を深めていただくことができたものと思っております。

この冊子は、三重県内で本年度に実施された各種の発掘調査と当埋蔵文化財センターの事業内容を簡単にまとめたものですが、今後の埋蔵文化財保護と活用の一助として、ご活用いただければ幸いに存じます。

埋蔵文化財を守り、伝えていくことは、次代への大きな課題であります。当埋蔵文化財センターでは、あらゆる機会を通して埋蔵文化財の保護・活用に務めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、ご指導ご協力をいただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成8年3月

三重県埋蔵文化財センター

所長 川村政敬

## 例 言

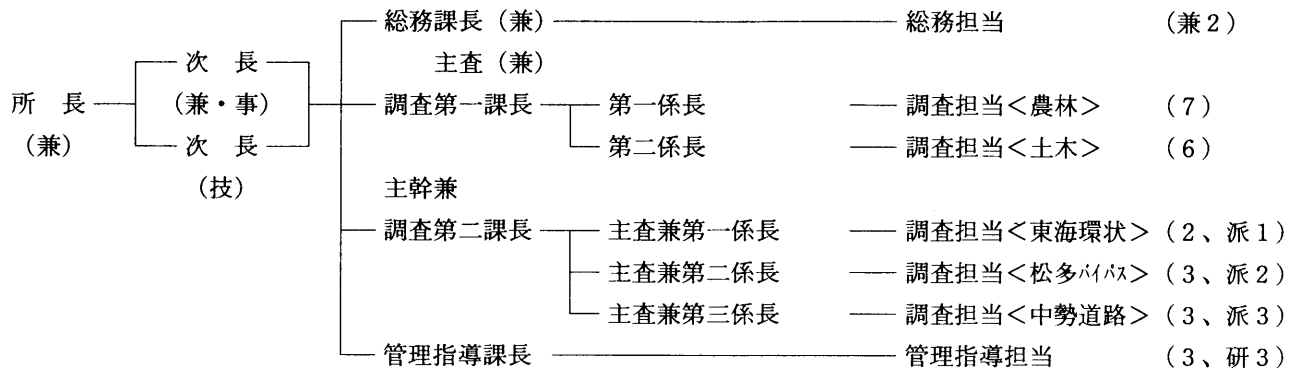
1. この冊子は、平成7年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。
2. II. 平成7年度緊急発掘調査については、平成7年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター担当の発掘調査成果および、県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。なお、各遺跡の緊急発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。
3. 本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、管理指導課が中心となって行った。

## 目 次

I	組織及び業務体系	1
II	平成7年度緊急発掘調査	4
	1. 緊急発掘調査一覧	4
	2. 発掘調査の概要	12
III	埋蔵文化財保護体制の充実	57
	1. 各種会議	57
	2. 埋蔵文化財発掘技術者研修	58
	3. 文化財保護に関する指導・協力	61
IV	資料の整理・保管・公開	66
	1. 資料の整理・保管	66
	2. 科学的保存処理	66
	3. 資料の公開	66
	4. 保管遺物等の貸出・写真等の掲載及び閲覧許可	69
	5. 保管遺物の長期貸出	73
	6. 斎宮歴史博物館展示品協力遺物一覧	73
V	行政資料	74
	1. 地方自治法の一部を改正する法律の施行及びこれに伴う文化財保護法 の一部改正について（文化庁通達）	74
	2. 埋蔵文化財に関する諸届出について	81
	3. 県、市町村別の発掘調査件数および面積の実績	83
	《付 編》	
	1. 三重県文化財調査員名簿	84

# I. 組織及び業務体系

## 〔組織〕



職員数 48名 (兼務6名、専任33名、派遣6名、研修3名)

## 〔分掌事務〕

### 総務課

1. 公印の管理に関する事
2. 職員の身分及び服務に関する事
3. 予算及び経理に関する事
4. 給与及び旅費等の支給に関する事
5. 契約及び入札事務に関する事
6. 施設、設備の保守管理に関する事
7. 文書の収発に関する事
8. 職員の健康、福利厚生に関する事
9. 防災管理に関する事
10. その他他課に属さないこと

### 調査第一課

1. 埋蔵文化財保護にかかる文化振興課ならびに関係部局との連絡調整に関する事
2. 県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事

### 調査第二課

1. 国道475号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
2. 国道23号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
3. 国道42号松阪多気バイパスに関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
4. 建設省、郵政省、日本道路公団との調整協議と事務処理に関する事

### 管理指導課

1. 遺物収納倉庫の管理に関する事
2. 整理済み出土品の収蔵及び保管に関する事
3. 遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関する事
4. 関係図書等の整理及び保管に関する事
5. 遺跡台帳、遺跡地図の整備及び保管に関する事
6. 出土品の洗浄・注記・接合・復元及び実測等に関する事
7. 出土品の科学的保存処理に関する事
8. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財発掘調査速報展に関する事
9. 遺跡及び遺物等資料の貸出、掲載許可等に関する事
10. センター通信及び埋蔵文化財年報等の刊行に関する事
11. 埋蔵文化財行政調査等に関する事
12. 市町村の埋蔵文化財調査・文化財展等の指導及び協力に関する事
13. 埋蔵文化財発掘調査技術の研修に関する事
14. 埋蔵文化財センター内外の各種会議に関する事

〔職員〕

所 長 川村 政敬 (齋宮歴史博物館館長兼務)  
 次 長 (事務) 田中 守 (齋宮歴史博物館次長兼務)  
 “ (技術) 山澤 義貴

総務課

課長 中西 勝之 (齋宮歴史博物館兼務)  
 主査 中川 カツミ ( “ )  
 主事 伊藤 直樹 ( “ )  
 “ 橋川 功 ( “ )

調査第2課

課長 伊藤 克幸 (主幹兼務)  
 第1係  
 係長 清水 正明 (主査兼務)  
 技師 竹内 英昭  
 主事 小菅 文裕  
 “ 清水 弘之 (東員町から派遣)  
 第2係  
 係長 田村 陽一 (主査兼務)  
 主事 下平 康弘  
 “ 松本 美先  
 “ 小林 秀  
 “ 西村 修久 (多気町から派遣)  
 “ 小浜 学 (松阪市から派遣)

第3係

係長 河北 秀実 (主査兼務)  
 主事 宮田 勝功  
 “ 山本 義浩  
 技師 穂積 裕昌  
 主事 池端 清行 (津市から派遣)  
 “ 筒井 昭仁 (鈴鹿市から派遣)  
 “ 米山 浩之 (津市から派遣)

調査第1課

課長 山田 猛 (主幹兼務)  
 第1係  
 係長 前川 嘉宏  
 主事 木野本和之  
 “ 西出 孝  
 “ 筒井 正明  
 “ 竹田 憲治  
 技師 伊藤 裕偉  
 主事 船越 重伸  
 技師 日栄 智子  
 第2係  
 係長 杉谷 政樹  
 主事 伊藤 裕之  
 “ 服部 芳人  
 “ 越賀 弘幸  
 “ 中川 明  
 技師 野口 美幸  
 主事 宇河 雅之

管理指導課

課長 新田 洋  
 主事 本堂 弘之  
 “ 森川 常厚  
 “ 森川 幸雄  
 研修員 袖岡 直樹  
 “ 西澤 裕幸  
 “ 松葉 和也

〔施設〕

三重県埋蔵文化財センター

所在地 多気郡明和町竹川503番地

TEL 05965-2-1732・3800 FAX 05965-2-3724

面積 敷地面積 18,000 m<sup>2</sup>

建築面積 4,537 m<sup>2</sup>

延床面積 5,077 m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造 1階（1部2階）建

（建物は斎宮歴史博物館と共用）

遺物収納倉庫

桜橋収納倉庫 津市桜橋2丁目126 TEL 0592-27-2465

藤方収納倉庫 津市藤方2283-1 TEL 0592-24-4560

上野収納倉庫 上野市丸之内117 TEL 0595-24-0079

現場整理所

国道475号東海環状自動車道整理所 員弁郡北勢町阿下喜字覚正垣内532-3

TEL 0594-72-2106 FAX 0594-72-7906

国道42号松阪・多気バイパス整理所 松阪市射和町16-1

TEL 0598-29-4643 FAX 0598-29-4553

国道23号中勢道路整理所 津市納所町字西沢田481

TEL 0592-29-2770 FAX 0592-29-2771

## II. 平成7年度緊急発掘調査

### 1. 緊急発掘調査調査一覧

本年度、当埋蔵文化財センターが実施した発掘調査は137遺跡、88,086㎡（試掘調査を含む）、斎宮歴史博物館が3,425㎡、市町村教育委員会が実施した発掘調査は110遺跡、56,565㎡である。これらのほとんど開発事業に伴う事前の緊急発掘調査であるが、遺跡の解明あるいは、保存整備のための調査も、斎宮跡等で実施している。

#### 県埋蔵文化財センター担当の緊急発掘調査

事業名		件数	調査面積 (㎡)
直 営	農業基盤整備事業関係	58	26,117
	国・県道路関係	45	11,849
	その他	20	8,249
受 託	国道475号東海環状自動車道建設関係	7	14,187
	一般国道23号中勢道路建設関係	5	18,932
	一般国道42号松阪・多気バイパス建設関係	5	6,096
	伊勢志摩リゾート関係	1	2,000
	その他	1	656
計		142	88,086

※ 同一遺跡を調査した場合でも、調査期間・原因が異なる場合には別件とした。

#### 県（埋蔵文化財センター）担当分発掘調査

（※は国・県費補助事業）

No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
1	東村城跡	員弁郡北勢町東村	東海環状道路建設	建設省
2-1	上惣作遺跡	員弁郡北勢町阿下喜字上惣作	東海環状道路建設	建設省
3-1	宮山遺跡	員弁郡大安町字宮山	東海環状道路建設	建設省
4	下之宮遺跡	四日市市下之宮町	工業用水道建設	県企業庁
5-1	石薬師東遺跡・古墳群	鈴鹿市石薬師町字寺東	消防学校建設	県総務部
6-1	居敷遺跡	鈴鹿市津賀町字居敷	道路改良	県土木部
7	中富田西浦遺跡	鈴鹿市中富田町字西浦	県営ほ場整備	県農林水産部 県教育委員会※
8-1	長者屋敷遺跡	鈴鹿市広瀬町字仲土居	開拓整備	県農林水産部
9	高井A遺跡	鈴鹿市徳田町字高井	中勢道路建設	建設省
10	敷伝遺跡	鈴鹿市徳居町字別所	道路整備	県土木部
11	峯城跡八幡地区	亀山市川崎町柴崎字八幡	農道整備	県農林水産部
12	六大A遺跡	津市大里窪田町字六大院	中勢道路建設	建設省
13	長遺跡	津市河辺町字池尻ほか	中勢道路建設	建設省
14-1	蔵田遺跡	津市納所町・北河路町	中勢道路建設	建設省
15-1	堀田遺跡	一志郡嬉野町宮古字堀田	道路改良	県土木部
16-1	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡	一志郡嬉野町天花寺字赤坂	道路整備	県土木部
17-1	多気北畠氏遺跡上村地区	一志郡美杉村下多気字上村	道路改良	県土木部
17-2	多気北畠氏遺跡伝本願寺跡・伝誉永寺跡	一志郡美杉村下多気字上村	道路災害復旧	県土木部
18	山ノ花遺跡	松阪市古井町山ノ花	松多バイパス建設	建設省
19	堀町遺跡	松阪市朝田町字斎宮ほか	松多バイパス建設	建設省
20	松阪城五曲口遺跡	松阪市殿町	松阪工業寄宿舍建築	県教育委員会

21	山口遺跡	松阪市井口中町字山口	県営ほ場整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
22	大蓮寺遺跡	松阪市櫛田町字粟田	県営ほ場整備	
23	柳辻遺跡	松阪市櫛田町字柳辻	県営ほ場整備	
24	瀬干遺跡	松阪市櫛田町字瀬干・一ノ坪	県営ほ場整備	
25	北ノ垣内遺跡	松阪市櫛田町字北ノ垣内	県営ほ場整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
26	綾垣内遺跡	松阪市櫛田町字綾垣内・極原	県営ほ場整備	
27	廿チ遺跡	松阪市上川町字廿チ	松多バイパス建設	建設省
28	古川遺跡	松阪市稲木町字古川	県営ほ場整備	
29	溝端遺跡	飯南郡飯南町粥見字溝端・桜東新田	道路改良	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
30	奈可切遺跡	飯南郡飯南町本郷字奈可切	道路整備	
31	曾祢崎遺跡	多気郡明和町上野字曾祢崎	県営ほ場整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
32	北野遺跡	多気郡明和町蓑村字東へべら	県営ほ場整備	
33	高皿遺跡	多気郡多気町四疋田字高皿・池ノ下	県営ほ場整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
34	相可出張遺跡	多気郡多気町相可字出張	相可高校武道場建築	
35	井尻遺跡	多気郡勢和村波多瀬字井尻	県営畜産環境整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
36	次郎六郎東遺跡	志摩郡大王町舟越字次郎六郎	伊勢志摩リゾート	
37	良福寺跡	阿山郡伊賀町下柘植字寺後	県営ほ場整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
38	火山遺跡	上野市山神字火山	県営ほ場整備	
39	山神遺跡	上野市沖字山神	農道整備	( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※ ( 県農林水産部 県教育委員会※
40	高寺南遺跡	名賀郡青山町伊勢路字高寺	県営ほ場整備	

県（斎宮歴史博物館）担当分発掘調査

No.	41	斎宮跡	重要遺跡確認調査	斎宮歴史博物館	H7. 5.19~H8. 2.29	2,835㎡
調査回数	調査面積 (㎡)	調査期間	地番・地籍		備考	
109	1,070	H7. 5.19~ 9.25	明和町斎宮鍛冶山2762-1他		計画発掘調査	
111	1,740	H7. 7.14~H8. 2.29	明和町斎宮字内山・上園・宮ノ前		〃	
112	25	H7.12.12~H8. 1.31	明和町斎宮字塚山3276-15他		〃	

No.	41	斎宮跡	史跡現状変更	明和町	H7. 7.26~H7.11.30	590㎡
調査回数	調査面積 (㎡)	調査期間	地番・地籍	調査原因	調査機関	
110-1	110	H7. 7.26~ 8.21	明和町竹川262-3	土地改良区事務所立替	〃	
110-2	480	H7.10.11~11.30	明和町斎宮2345-3	盛土	〃	



No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
42	桑部城跡	桑名市桑部字城下	市道建設	桑名市
43-1	赤堀城跡	四日市市城西町	共同住宅建築	事業者
44-1	史跡伊勢国分寺跡	鈴鹿市国分町字西高木	博物館建設	鈴鹿市土地開発公社
44-2	史跡伊勢国分寺跡	鈴鹿市国分町字西高木	博物館建設	鈴鹿市土地開発公社
45	国府A遺跡	鈴鹿市国府町字西之条	個人住宅建設	鈴鹿市
46-1	狐塚遺跡	鈴鹿市国分町字人足道	学術	鈴鹿市※
46-2	狐塚遺跡	鈴鹿市国分町字念佛山・人足	博物館建設	鈴鹿市土地開発公社
47	木田坂上遺跡	鈴鹿市木田町	土砂採集	個人・鈴鹿市
48	津賀平遺跡	鈴鹿市津賀町字東条	農業関連施設建設	鈴鹿農業協同組合
5-2	石薬師東遺跡	鈴鹿市石薬師字寺東	道路改良	鈴鹿市
8-2	長者屋敷遺跡	鈴鹿市広瀬町字矢下ほか	学術	鈴鹿市※
49	上箕田遺跡	鈴鹿市中箕田町上月	出張所用地造成	鈴鹿市土地開発公社
50	南山遺跡	鈴鹿市河田町字南山	個人住宅建設	鈴鹿市
51	岸岡山22号墳	鈴鹿市岸岡山字岩ヶ谷	学術	鈴鹿市※
52	亀山城跡	亀山市東丸町東丸	市道拡幅	亀山市
53	小野遺跡	鈴鹿郡関町小野字末藤	町道新設	関町
54	山王遺跡	安芸郡河芸町南黒田字山王	中勢北部サイエンス	津市土地開発公社
55	宮の裏遺跡	安芸郡安濃町内多字宮の裏	無線基地局建設	(株)ソーカーセルラー 東海
56	大塚西山A遺跡	安芸郡安濃町大塚字西山	町道改良	安濃町
57	倉谷方形台状墓	安芸郡安濃町太田字倉谷	団地造成	(有)日企不動産
58	ゆふけ遺跡	安芸郡安濃町連部字ゆふけ	集道建設	安濃町
59	高畑遺跡	一志郡一志町井生字高畑	工場拡張	(株)豊田照明
60-1	片部遺跡	一志郡嬉野町中川字五反田	土地区画整理	中川駅周辺土地区整 理理組合
60-2	片部遺跡	一志郡嬉野町中川字五反田	土地区画整理	中川駅周辺土地区整 理理組合
61	六反田遺跡	一志郡嬉野町中川字六反田	土地区画整理	中川駅周辺土地区整 理理組合
62	野田遺跡	一志郡嬉野町野田	団地造成	(株)グリーンズ
63	貝蔵遺跡	一志郡嬉野町中川字五反田	土地区画整理	中川駅周辺土地区整 理理組合
17-3	多気北畠氏遺跡	一志郡美杉村下多気	消防団詰所建設	美杉村
64	皆鍋遺跡	松阪市射和町	宅地造成	(株)北栄開発
65-1	新田町遺跡	松阪市大黒田町・新田町	都市計画道建設	松阪市
66	掛橋C遺跡	度会郡小俣町本町	アパート建設	個人
67	カリコ遺跡	度会郡玉城町世古字カリコ	中古車展示場建設	事業者
68	史跡田丸城跡	度会郡玉城町田丸	玉城中体育館建設	玉城町
69	上ノ山遺跡	度会郡玉城町勝田字上ノ山	倉庫建設	事業者
70	小社遺跡ウエ松地区	度会郡玉城町小社曾根	小学校プール建設	玉城町
71-1	史跡赤木城跡	南牟婁郡紀和町赤木	赤木城保存整備	紀和町※
71-2	史跡赤木城跡	南牟婁郡紀和町赤木	赤木城保存整備	紀和町
72-1	伊賀国府跡	上野市外山字追越	市道改良	上野市
72-2	伊賀国府跡	上野市外山字追越	農業集落排水	上野市ほか
73	森田遺跡	上野市三田字森田	保育園園舎改築	(社福)上野市社会事 業協会
74	小芝遺跡	上野市服部町字小芝	道路建設・土取り	(株)大栄工業
75	下川原遺跡	名張市夏見字下川原	店舗用地造成	(株)オークワ名張ショ ッピング共同組合

県（埋蔵文化財センター）担当分試掘調査

No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
2-2	上惣作遺跡	員弁郡北勢町阿下喜字上惣作	東海環状道路建設	建設省
76	覚正垣内遺跡	員弁郡北勢町阿下喜字覚正垣内	東海環状道路建設	建設省
77	権現坂遺跡	員弁郡北勢町宇治田外面	東海環状道路建設	建設省
78	今村遺跡	員弁郡北勢町東村字今村	公害防除特別土地改良	県農林水産部
3-2	宮山遺跡	員弁郡大安町丹生川久下字野添 ・片樋字宮山	東海環状道路建設	建設省
79	富田城跡	四日市市富田4丁目	四日市高運動場改修	県教育委員会
80	岩の谷遺跡	四日市市河原田町	四日市農芸温室建築	県教育委員会
81	岡山遺跡・日永城跡	四日市市日永町岡山	四日市南高体育館解	県教育委員会
81	岡山遺跡・日永城跡	四日市市日永町岡山	四日市南高渡廊下建築	県教育委員会
82	(石塔)	四日市市桜西町	道路改良	県土木部
5-3	石薬師東古墳群・遺跡	鈴鹿市石薬師町字寺東	県消防学校施設整備	県環境安全部
83	津賀2号墳ほか	鈴鹿市津賀町	道路改良	県土木部
84	仮称門山遺跡	鈴鹿市平野町	道路改良	県土木部
85	沖屋敷遺跡	亀山市安坂山町	道路交安工事	県土木部
86	西尾B遺跡	亀山市辺法寺町字高津場	農道整備	県農林水産部
87	白木城跡	亀山市下白木	特定道路整備	県土木部
88	高塚遺跡	亀山市布気町	仮設道路建設	県土木部
89	砂原野遺跡	亀山市天神町	交通安全対策	県土木部
90	関宿関連遺跡	鈴鹿郡関町新所	交安1種	県土木部
91	今堀遺跡	鈴鹿郡関町白木一色	道路改良	県土木部
92	北山端遺跡	津市上浜町六丁目	博物館建設	
93	ヲノ坪遺跡	津市一身田上津部田字ヲノ坪	博物館建設	
14-2	蔵田遺跡	津市北河路町	中勢道路建設	建設省
94	安濃津都市遺跡	津市柳山津興	津実業総合実習棟・ 体育館造成	県教育委員会
95	雲林院城跡	安芸郡芸濃町雲林院	通常荒廃砂防	県土木部
96	市場・尺ヶ寺遺跡	久居市榑原町市場	災害復旧助成	県土木部
97	谷杣A遺跡	久居市榑原町字上山	県営ほ場整備	県農林水産部
98	寺野遺跡	久居市榑原町字寺野	県営ほ場整備	県農林水産部
99	佐田遺跡	一志郡白山町佐田	道路改良	県土木部
100	上野遺跡	一志郡一志町高野	中勢水道事務所築造	県企業庁
15-2	堀田遺跡	一志郡嬉野町宮古字堀田	県営土地改良総合整備	県農林水産部
101	天花寺廃寺	一志郡嬉野町宮古字堀田	県営土地改良総合整備	県農林水産部
102	里前遺跡	一志郡嬉野町宮古字堀田	県営土地改良総合整備	県農林水産部
103	島田遺跡	一志郡嬉野町島田字横道	県営土地改良総合整備	県農林水産部
104	上野垣内遺跡	一志郡嬉野町島田字上野垣内	県営土地改良総合整備	県農林水産部
105	清水谷遺跡	一志郡嬉野町天花寺字清水谷	特定道路整備	県土木部
106	北瀬古遺跡	一志郡嬉野町天花寺	特定道路整備	県土木部
16-2	天花寺城跡	一志郡嬉野町天花寺字堀田	特定道路整備	県土木部
107	薬師寺北裏遺	一志郡嬉野町一志	特定道路整備	県土木部
108	松本遺跡	一志郡嬉野町川北字松本	中勢沿岸流域下水道	県土木部
109	八田遺跡	一志郡嬉野町八田	県営ほ場整備	県農林水産部
110	大垣内遺跡	一志郡嬉野町森本字大垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
111	前田町屋遺跡	一志郡三雲町星合	県道改良	県土木部
112	大明神遺跡	一志郡三雲町星合	県道改良	県土木部
113	筋違遺跡	一志郡三雲町西肥留	中勢流域下水道	県土木部
114	宮ノ腰遺跡	一志郡三雲町上之庄	緊急地方道路整備	県土木部
115	北出遺跡	一志郡三雲町上之庄	緊急地方道路整備	県土木部
116	前垣内遺跡	一志郡美杉村竹原	県道改良	県土木部
117	中ノ川原遺跡	松阪市八重田町字中ノ川原	小規模河川改修	県土木部
118	石碑・常夜燈	松阪市井村町	道路改良	県土木部
119	北浦遺跡	松阪市清水町字北浦	県営ほ場整備	県農林水産部

120	東浦遺跡	松阪市清水町字東浦	県営ほ場整備	県農林水産部
121	銭掛松遺跡	松阪市清水町字銭掛松	県営ほ場整備	県農林水産部
122	雨寺遺跡	松阪市櫛田町字雨寺	県営ほ場整備	県農林水産部
123	奥ノ垣内遺跡	松阪市櫛田町字奥ノ垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
124	西垣内遺跡	松阪市櫛田町字西垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
125	中の坊遺跡	松阪市目田町字中の坊	県営ほ場整備	県農林水産部
126	池ノ田遺跡	松阪市稲木町字池ノ垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
127	保山垣外遺跡	松阪市稲木町字保山垣外	県営ほ場整備	県農林水産部
128	田垣外遺跡	松阪市稲木町字田垣外	県営ほ場整備	県農林水産部
129	外揚遺跡	松阪市稲木町字外揚	県営ほ場整備	県農林水産部
130	安田遺跡	松阪市稲木町字安田	県営ほ場整備	県農林水産部
131	風呂屋垣外	松阪市稲木町字風呂屋垣外	県営ほ場整備	県農林水産部
132	古垣内遺跡	松阪市稲木町字古垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
133	忽作遺跡	松阪市稲木町	県営ほ場整備	県農林水産部
134	植ノ山遺跡	松阪市稲木町・伊勢場町	県営ほ場整備	県農林水産部
135	仮：宮東遺跡	松阪市伊勢場町字宮東	県営ほ場整備	県農林水産部
136	三昧後遺跡	松阪市伊勢場町字三昧後	県営ほ場整備	県農林水産部
137	折坂遺跡	松阪市伊勢場町字折坂	県営ほ場整備	県農林水産部
138	世間山遺跡	松阪市横地町字世間山	県営ほ場整備	県農林水産部
139	山添遺跡	松阪市山添町	農道整備	県農林水産部
140	須田遺跡	松阪市山添町	農道整備	県農林水産部
141	中島遺跡	松阪市山添町	農道整備	県農林水産部
142	小林遺跡	飯南郡飯南町粥見	道路改良	県土木部
143	井尻遺跡	飯南郡飯南町粥見	道路改良	県土木部
144	申山C遺跡	多気郡明和町山大淀	自転車道建設	県土木部
145	角垣内遺跡	多気郡明和町蓑村字角垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
146	上ノ垣外遺跡	多気郡多気町相可字梅ノ世古・東浦	松多バイパス建設	建設省
147	新徳寺遺跡	多気郡多気町荒蒔字前出・九十九戸	松多バイパス建設	建設省
148	二ノ久保遺跡	多気郡多気町四正田字二ノ久保	県営ほ場整備	県農林水産部
149	川ノ上遺跡	多気郡多気町牧字川ノ上	畜産経営環境整備	県農林水産部
150	宇治垣内遺跡	多気郡多気町相鹿瀬	地方特定道路整備	県土木部
151	茶屋ノ広遺跡	多気郡勢和村色太	道路改良	県土木部
152	大間広B遺跡	多気郡勢和村色太	道路改良	県土木部
153	森の上遺跡	多気郡大台町柳原	道路改良	県土木部
154	茂原遺跡	多気郡宮川村茂原	県学園運動場・テニスコート改修	県教育委員会
155	湯後遺跡	多気郡宮川村小滝	交安1種	県土木部
156	里中遺跡	度会郡御園村長屋字里中	ふるさと農道整備	県農林水産部
157	高向遺跡	度会郡御園町高向	道路改良	県土木部
158	シンゲ池遺跡	度会郡玉城町長更	公園施設工事	県土木部
159	研山遺跡	度会郡度会町長原	県営ほ場整備	県農林水産部
160	野田遺跡	度会郡度会町長原	県営ほ場整備	県農林水産部
161	森ノ前遺跡	度会郡大宮町野原	緊道(A)改良	県土木部
162	竹ノ鼻遺跡	度会郡大宮町永会	通常砂防	県土木部
163	上出遺跡	度会郡大宮町永会	道路改良	県土木部
164	畑坂遺跡	上野市高山	小規模生活ダム建設	県土木部
165-1	山神寄建神社古墳	上野市山神字東出	県営ほ場整備	県農林水産部
166	地藏川古墳群	上野市比自岐字地藏川	広域農道	県農林水産部
167	地藏川遺跡	上野市比自岐字地藏川	広域農道	県農林水産部
168	石原古墳群	上野市比自岐字石原	広域農道	県農林水産部
169	道垣内遺跡	阿山郡伊賀町下柘植字道垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
170	伊賀高校遺跡	阿山郡伊賀町川東	伊賀高校用地造成	県教育委員会
171	仮：浜井場遺	名賀郡青山町勝地字浜井場	県営ほ場整備事業	県農林水産部
172	仮・羽根遺跡	名賀郡青山町阿保字東出・花代ほか	川上ダム建設用工事 用道路建設	水資源開発公団

各市町村担当分試掘調査・工事立会

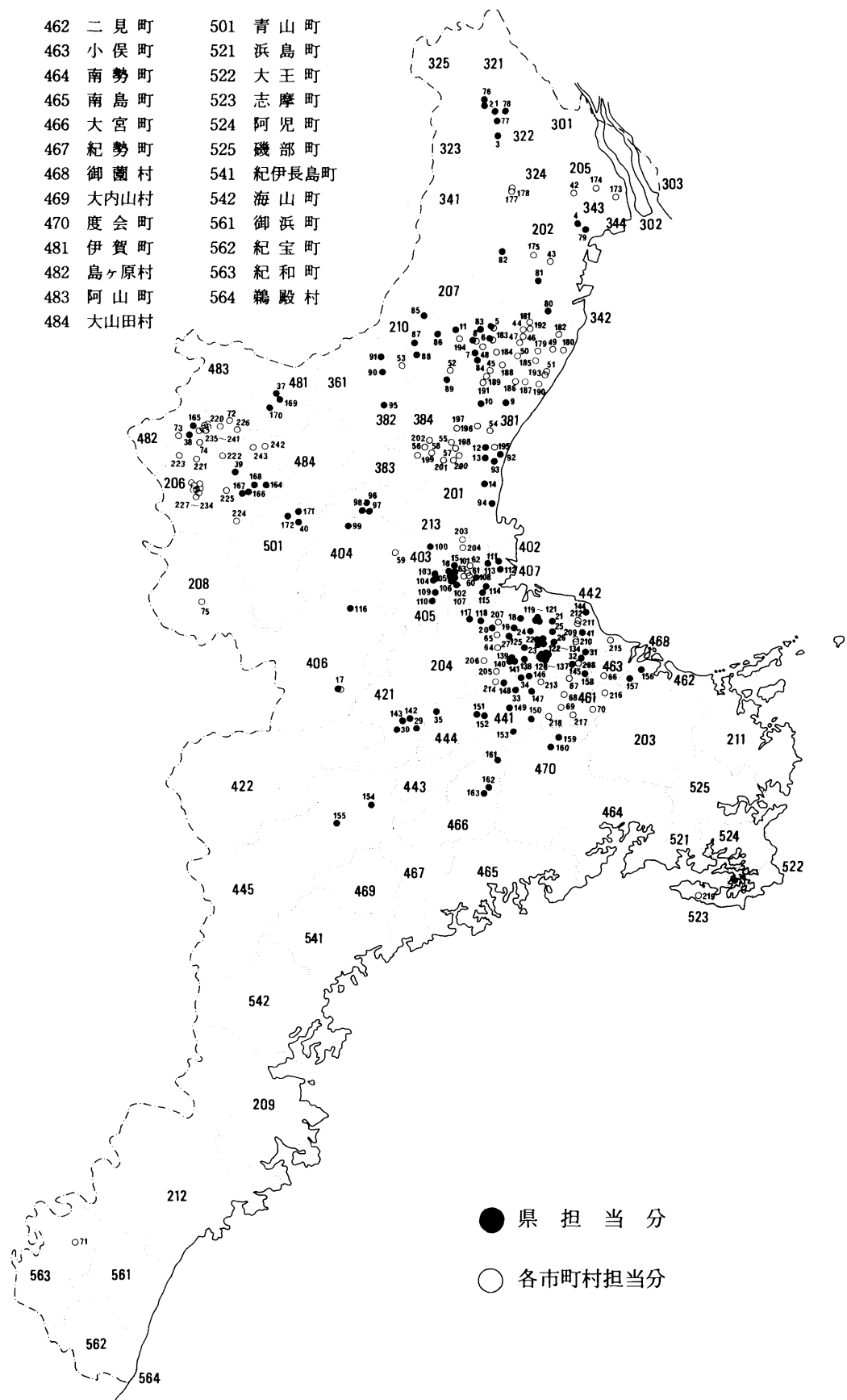
No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
173	中野遺跡	桑名市大字江場字中野	マンション建設	事業者
174	西谷遺跡	桑名市東金井字西谷	老人ホーム建設	事業者
175	照光寺遺跡	員弁郡大安町石樽南字前林	工業団地造成	大安町
176	前山遺跡	四日市市松本三丁目	共同住宅建設	事業者
43-2	赤堀城跡	四日市市城西町	共同住宅建設	事業者
177	公事出遺跡	四日市市西村町字東前・公事	ほ場整備	四日市市
178	公事出古墳	四日市市西村町字東浦	ほ場整備	四日市市
179-1	須賀遺跡	鈴鹿市須賀一丁目6-13	個人住宅	鈴鹿市※
179-2	須賀遺跡	鈴鹿市須賀一丁目1835・162	個人住宅	鈴鹿市※
180	仮・若松西5丁目遺跡	鈴鹿市若松西5丁目	宅地造成	鈴鹿市※
181-1	国分北遺跡	鈴鹿市国分町587-2	個人住宅	鈴鹿市※
181-2	国分北遺跡	鈴鹿市国分町587-2	個人住宅	鈴鹿市※
181-3	国分北遺跡	鈴鹿市国分町587-2	個人住宅	鈴鹿市※
181-4	国分北遺跡	鈴鹿市国分町広神戸462-3	個人住宅	鈴鹿市※
182	上箕田遺跡	鈴鹿市上箕田町	個人住宅	鈴鹿市※
183	仮・津賀二ツ辻遺跡	鈴鹿市津賀二ツ辻	土地改良	鈴鹿市※
184	山ノ原遺跡	鈴鹿市上田町桐棒	個人住宅	鈴鹿市※
185	起A遺跡	鈴鹿市飯野寺家町起	個人住宅	鈴鹿市※
186	山越知南遺跡	鈴鹿市郡山町谷端	農業用倉庫	鈴鹿市※
187	染野遺跡	鈴鹿市郡山町塚腰	住宅兼作業場	鈴鹿市※
188	岡田神社遺跡	鈴鹿市岡田一丁目	個人住宅	鈴鹿市※
189	岩ヶ谷遺跡	鈴鹿市平野町	個人住宅	鈴鹿市※
190	仮・江島高塚遺跡	鈴鹿市江島町高塚	宅地造成	鈴鹿市※
191	西ノ城戸A遺跡	鈴鹿市国府町番場	個人住宅	鈴鹿市※
192-1	国分遺跡	鈴鹿市国分町	消防倉庫	原因者
193	天王遺跡	鈴鹿市岸岡町	病院福利厚生施設	原因者
192-2	国分遺跡（尼寺跡）	鈴鹿市国分町	個人住宅	鈴鹿市※
194	仮・能褒野古墳群周辺遺跡	亀山市田村町女ヶ坂	公園整備	亀山市
195	専修寺庭園	津市一身田町字高田	納骨堂建設	事業者
196	下八知古墳	津市大里小野田町字下八知	中勢北部サイエンスシティ	津市土地開発公社
197	石切山遺跡	津市高野尾町字石切山ほか	農村基盤整備	津市
198	仮・下川原遺跡	安芸郡安濃町内多字下川原	宅地造成	県労働者住宅生活共同組合
199	仮・葉紅田遺跡	安芸郡安濃町草生字葉紅田	農村総合モデル	安濃町
200	宮城遺跡	安芸郡安濃町太田字宮城	農村総合モデル	安濃町
201	浄土寺南遺跡	安芸郡安濃町土寺・妙法寺	農業集落排水緊急整備	安濃町
202	小ブケ遺跡	安芸郡安濃町内多字小ブケ	町道改良	安濃町
203	初尾遺跡	久居市木造町字初尾	一般農道整備	県農林水産部
204	なめんだら遺跡	久居市木造町字なめんだら	一般農道整備	県農林水産部
205	旧射和寺境内	松阪市射和町	収蔵庫建設	
206	真福寺境内	松阪市下蛸路町	収蔵庫建設	
207	松阪城石垣	松阪市殿町	石垣修復	
208	鳥墓遺跡	多気郡明和町蓑村字鳥墓	ガソリンスタンド造成	事業者

209	金剛坂遺跡	多気郡明和町金剛坂坂垣外	宅地造成	明和町・事業者
210	山之庵跡	多気郡明和町金剛坂坂垣外	宅地造成	明和町・事業者
211	東垣外古墳群	多気郡明和町坂本	宅地造成	明和町・事業者
212	坂本1号墳	多気郡明和町坂本字西垣外	個人の開墾	明和町
213	明気古窯址	多気郡多気町相可字明気	土砂採取	事業者
214	遺跡隣接町道用地	多気郡多気町三疋田字太陽園	道路建設	多気町
215	東山遺跡	伊勢市東大淀町字東山	食品工場建設	事業者
216	仮・川西遺跡	伊勢市上地町字川西	大型スーパー建設	事業者
217	山神城跡	度会郡玉城町積良字一ノ木	送電線建設	事業者
218	風呂山遺跡	度会郡玉城町原字風呂山	老人健康施設建設	事業者
219	阿津里貝塚	志摩郡志摩町越賀	交差点工事	志摩町
220	新寺遺跡	上野市服部町字新寺	市道舗装新設工事	上野市
221	上野城跡	上野市丸之内	小学校新築	上野市
222	鳥ヶ峰遺跡	上野市下友生字鳥ヶ峰	宅地造成	事業者
223	雨田久保古窯	上野市朝屋字西浦	工場取付工事	事業者
224	城之越遺跡	上野市比土字城之越	市道舗装新設	上野市
165-2	山神寄建神社古墳	上野市山神字東出	墓地整備	事業者
225	才良遺跡	上野市才良	市道舗装新設	上野市
226	高野遺跡	上野市佐那具町	倉庫建設	事業者
227	山神遺跡	上野市菖蒲池	農業集落排水	上野市ほか
228	長福寺跡)	上野市菖蒲池	農業集落排水	上野市ほか
229	中原氏宅跡	上野市東谷字宝谷	農業集落排水	上野市ほか
230	慶生寺跡	上野市鍛冶屋字奥吉田	農業集落排水	上野市ほか
231	松田氏宅跡	上野市葦縄手・湯屋谷	農業集落排水	上野市ほか
232	高澤氏宅跡	上野市葦縄手・湯屋谷	農業集落排水	上野市ほか
233	田仏城跡	上野市葦縄手・湯屋谷	農業集落排水	上野市ほか
234	石原遺跡	上野市葦縄手・湯屋谷	農業集落排水	上野市ほか
235	綾之森遺跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
236	大坪遺跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
237	屋敷の下遺跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
238	倉田氏館跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
239	松本氏館跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
240	宮川氏館跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
241	林氏館跡	上野市外山・東条・西条	農業集落排水	上野市ほか
242	仮・八木遺跡	阿山郡大山田村平田字八木	土取り	事業者
243	仮・畑岡遺跡	阿山郡大山田村平田字畑岡	カントリーエレベーター建設	事業者

- 201 津市
- 202 四日市市
- 203 伊勢市
- 204 松阪市
- 205 桑名市
- 206 上野市
- 207 鈴鹿市
- 208 名張市
- 209 尾鷲市
- 210 龜山市
- 211 鳥羽市
- 212 熊野市
- 213 久居市
- 301 多度町
- 302 長島町
- 303 木曾岬町
- 321 北勢町
- 322 員弁町
- 323 大安町
- 324 東員町
- 325 藤原町
- 341 菰野町
- 342 桶町
- 343 朝日町
- 344 川越町
- 361 関町
- 381 河芸町
- 382 芸濃町
- 383 美里村
- 384 安濃町
- 402 香良洲町
- 403 一志町
- 404 白山町
- 405 嬉野町
- 406 美杉村
- 407 三雲町
- 421 飯南町
- 422 飯高町
- 441 多気町
- 442 明和町
- 443 大台町
- 444 勢和村
- 445 宮川村
- 461 玉城町

- 462 二見町
- 463 小俣町
- 464 南勢町
- 465 南島町
- 466 大宮町
- 467 紀勢町
- 468 御園村
- 469 大内山村
- 470 度会町
- 481 伊賀町
- 482 島ヶ原村
- 483 阿山町
- 484 大山田村

- 501 青山町
- 521 浜島町
- 522 大王町
- 523 志摩町
- 524 阿児町
- 525 磯部町
- 541 紀伊長島町
- 542 海山町
- 561 御浜町
- 562 紀宝町
- 563 紀和町
- 564 鵜殿村



● 県担当分  
○ 各市町村担当分

図1 平成7年度三重県内発掘調査遺跡位置図

## 2. 発掘調査の概要

注)

※1 保護法関係文書番号は、文化財保護法98条の2第1項または、第57条第1項に関する文書番号。

※2 ※は国・県費補助事業

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分 本調査

No.	1	遺跡名	東村城跡（第2次）		台帳番号	321-45	
所在地	員弁郡 北勢町 東村				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水 弘之 小菅 文裕		
調査期間	H7. 4. 20 ～H7. 6. 30		調査面積	1,130㎡	保護法関係 文書番号	7年3月20日付け 教理 第196号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
調査地は標高約103mの北に延びる丘陵部である。今年度、上部平坦面の調査を行った。明確な中世城館に伴う遺構の検出はみなかったが奈良時代の土塚墓や鎌倉時代の中世墓等が検出できた。遺物では、弥生土器も出土している。				○奈良時代 隅丸方形土塚墓1基 ○鎌倉時代 中世墓1基		弥生土器 ・前期遠賀川系1点 ・中期 (三河系も含む) 須恵器(横瓶等) 土師器 山茶碗 鉄小刀	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発掘調査概報II』1996						
No.	2-1	遺跡名	上惣作遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	員弁郡 北勢町 阿下喜 字 上惣作				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水 正明 小菅 文裕		
調査期間	H7. 3. 27 ～H8. 4. 5		調査面積	240㎡	保護法関係 文書番号	7年2月10日付け 教理 第151号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
排水路部分の先行緊急調査であり、当遺跡の性格等は、H8年度の調査結果と合わせて検討しなければならない。				柱穴多数		7～8世紀の須恵器・土師器	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発掘調査概報II』1996						
No.	3-1	遺跡名	宮山遺跡（第1次調査）		台帳番号	323-1	
所在地	員弁郡 大安町 片樋 字 宮山				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水 正明 竹内 英昭 小菅 文裕 清水 弘之		
調査期間	H7. 5. 8 ～H8. 1. 18		調査面積	12,260㎡	保護法関係 文書番号	7年4月4日付け 教文 第710号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
員弁川と青川の合流点付近の段丘状に立地する。縄文時代晩期頃の住居跡とみられる柱穴群や弥生時代中期の竪穴住居群、倉庫とみられる棟特柱をもつ掘立柱建物などがみつかったほか、後期末～古墳時代初頭の墳丘墓も確認された。出土遺物のうち、特筆すべきものとして、弥生時代中期に属する磨製石斧の未成品多数があり、石斧の生産遺跡である可能性が強い。				○縄文時代 住居跡16基 土器棺墓1基 ○弥生時代 竪穴住居13棟 掘立柱建物4棟 方形周溝墓1基 前方後方形墳丘墓1基		縄文土器（中期～晩期） 石鏃 弥生土器（中期～後期） 両刃石斧（未成品含む） 扁平片刃石斧（未成品含む） 柱状片刃石斧（未成品） 砥石 土師器 山茶碗	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発掘調査概報II』1996						

No.	4	遺跡名	下之宮遺跡			台帳番号	202-512	
所在地	四日市市下之宮町				事業主体	県企業庁		
調査原因	北伊勢工業用水道第4期事業				費用負担	県企業庁		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	杉谷 政樹			
調査期間	H7. 8. 21・28、 11. 9・29、12・1		調査面積	285㎡	保護法関係文 書番号	7年7月17日付け 教文 第1580号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
朝明川下流域左岸の沖積地に立地する弥生～室町時代の遺跡で、調査地点は遺跡の北東側縁辺部近くにあたる。推進工法部分の立孔と開削工法部分について工事施工時に立会調査を行った。沖積地であるため不安定な土層状況であるが、一部で鎌倉時代の遺構面が確認でき、土坑・溝を検出した。溝からやまとまって山茶碗が出土しており、それにはひらがな・数字の墨書がみられる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・土坑 2基</li> <li>・溝 7条</li> <li>・ピット</li> </ul>		弥生土器 土師器（鍋・皿） 山茶碗・青磁 陶器（鉢・甕） 墨書土器 曲物		
関連文献								
No.	5-1	遺跡名	石薬師東遺跡・石薬師東古墳群（第4次）			台帳番号	207-727・754～778	
所在地	鈴鹿市 石薬師町 字 寺東				事業主体	県環境安全部消防防災課		
調査原因	三重県消防学校施設・設備整備事業				費用負担	県環境安全部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	服部 芳人 筒井 正明 伊藤 裕之 日栄 智子 松葉 和也			
調査期間	H7. 4. 10 ～H7. 9. 1		調査面積	6,300㎡	保護法関係 文書番号	7年3月16日付け 教文 第173号		
遺跡の概要								
昨年度から継続して調査を行った古墳群で、新たに方墳15基を確認した。規模・位置など企画性をもって築造されていた可能性が考えられる。遺物には、須恵器の筒形器台をはじめ巫女・武人などの人物埴輪、鶏などの形象埴輪も含まれる。概ね5世紀後半から6世紀前半の築造である。								
古墳名	墳形	規模 (m)	主 な 出 土 遺 物				時 期	
41号墳	方墳	13.5×12.6	土師器（高杯）・須恵器（杯身、杯蓋、高杯、甕、器台、甕）				5世紀後半	
42号墳	方墳	9.3×6.5	土師器（壺）須恵器（杯身、杯蓋、甕）				5世紀末	
43号墳	方墳	10.0×11.8	須恵器（杯身、杯蓋、高杯、甕、器台、甕）・円筒埴輪					
44号墳	方墳	6.0×5.6	須恵器（杯身）				5世紀末	
45号墳	方墳	10.2×9.0	土師器（壺）・須恵器（杯蓋、筒形器台）				5世紀末	
46号墳	方墳	8.7×8.2	土師器（碗）・須恵器（甕）					
47号墳	方墳	9.0×9.6	須恵器（高杯、壺、甕）・円筒埴輪					
48号墳	方墳	—×—	須恵器（杯身、甕）・円筒埴輪・形象埴輪					
49号墳	方墳	13.4×13.0	須恵器（杯身、高杯、甕、器台、甕など）・円筒埴輪・形象埴輪				6世紀前半	
50号墳	方墳	—×5.1	なし					
51号墳	方墳	—×—	須恵器（杯蓋）					
52号墳	方墳	—×—	須恵器（杯蓋、甕）					
53号墳	方墳	7.0×—	土師器（壺）・須恵器（高杯、甕、壺、甕）・円筒埴輪					
54号墳	方墳	4.2×—	須恵器（杯蓋）					
55号墳	方墳	—×13.7	須恵器（杯身、杯蓋、甕、器台、甕）・円筒埴輪・形象埴輪					



No.	6	遺跡名	居敷遺跡	台帳番号	新発見
所在地	鈴鹿市津賀町字居敷			事業主体	県土木部道路建設課
調査原因	刃法寺加佐登停車場線国補道路改良工事			費用負担	県土木部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤 裕偉 西出 孝	
調査期間	H7. 6. 12 ～8. 9	調査面積	590㎡	保護法関係 文書番号	7年5月1日付け 教文 第834号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>鈴鹿川中流左岸の低台地上に立地。鈴鹿市教育委員会の調査で八稜鏡が出土した津賀平遺跡と同一丘陵上の南方約300mにある。縄文時代から中世までの遺構・遺物を確認。</p> <p>縄文晩期の土器棺墓2基、弥生中期の竪穴住居跡1棟、飛鳥前期の木棺墓1基の検出は特筆できる。また、9世紀頃の黒色土器類は、当該地域の土器編年を考えるうえで、重要である。</p>			<p>縄文晩期 土器棺墓2基 弥生中期 竪穴住居1棟 古墳前期 溝3条 古墳後期 土器棺墓1基 飛鳥前期 木棺墓1基 平安中期 土坑ほか 戦国後期 掘立柱建物1</p>	<p>縄文土器（晩期） 1条突帯文深鉢 ほか 古式土師器 「パレススタイル」壺 平安時代の土器類 灰釉陶器・土師器・黒色土器 ロクロ土師器</p>	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『居敷遺跡発掘調査報告』1996				
No.	7	遺跡名	中富田西浦遺跡（旧称 西浦遺跡）	台帳番号	未登録
所在地	鈴鹿市 中富田町 字 西浦			事業主体	県農林水産部農地整備課
調査原因	県営は場整備事業（芥川沿岸地区）			費用負担	県農林水産部・教育委員会
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	船越 重伸 西澤 裕幸	
調査期間	H7. 9. 18	調査面積	300㎡	保護法関係 文書番号	7年8月18日付け 教文 第1646号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>鈴鹿川中流左岸、支流の芥川右岸の平坦地に立地する。</p> <p>今回の調査では、若干の遺物が出土したのみで、遺構は全く認められなかった。調査区が芥川に最も近い部分であることから、遺跡の縁辺部にあたり、遺跡の中心は調査区の南側、鈴鹿川方向に存在すると考えられる。</p>			なし	なし	
関連文献					
No.	8-1	遺跡名	長者屋敷遺跡	台帳番号	207-363
所在地	鈴鹿市広瀬町字仲土居			事業主体	県農林水産部農村振興課
調査原因	平成7年度開拓地整備事業（能褒野地区）			費用負担	県農林水産部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	宇河 雅之 木野本和之	
調査期間	H7. 6. 5 ～H7. 7. 31	調査面積	1,600㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月19日付け 教文 第763号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>平成6年度からの継続事業で、農道の拡幅舗装に伴い調査を実施。</p> <p>昨年度検出した区画溝の延長を確認した他、一辺120mの方格地割の外側に、約12m幅の道路を想定。</p>			溝7条（方格地割を形成する溝は6条）	平瓦（SD14・16）	
関連文献					

No.	9	遺跡名	高井A遺跡		台帳番号	207-575	
所在地	鈴鹿市 徳田町 字 高井				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井 昭仁 宮田 勝功		
調査期間	H7. 9. 5 ～H8. 3. 6		調査面積	4,100㎡	保護法関係 文書番号	H 年 月 日付け 教文 第675号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
高井A遺跡は鈴鹿市徳田町の中ノ川左岸、標高8～12mの独立丘陵の西から南にかけての緩斜面に位置する。掘立柱建物の柱穴には柱根が残っているものも多く2条の溝からは「井於」などの墨書土器が多数出土し、水への祭祀が行われたと考えられよう。遺物は弥生から鎌倉と幅広いが中心は奈良時代から平安時代である。				溝2条（飛鳥～平安） 掘立柱建物 27棟（奈良～平安） 土坑数基		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘラ埴土器</li> <li>・墨書土器</li> <li>・円面硯</li> <li>・製塩土器</li> <li>・須恵器</li> <li>・土師器</li> <li>・緑釉陶器</li> <li>・灰釉陶器</li> <li>・山茶碗</li> <li>・白磁碗</li> </ul>	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ』1996						
No.	10	遺跡名	敷伝遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	鈴鹿市 徳居町 字 別所				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	一般地方道鈴鹿芸濃線地方特定道路整備工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	日栄 智子 竹田 憲治 西出 孝		
調査期間	H7. 5. 15 ～6. 9		調査面積	400㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月12日付け 教文 第828号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
亀山、鈴鹿市を流れる中ノ川下流域右岸の河岸段丘上に立地する。平成元年度にそのちょうど対岸にあたる1500㎡についてはすでに調査が行われている。 古墳時代前期の土器が集中していた調査区西端の落ち込みの他に、平安時代末から鎌倉時代初め頃の遺構を確認している。				<ul style="list-style-type: none"> <li>○古墳時代前期 性格不明遺構 (土器集中部)</li> <li>○平安時代末～ 鎌倉時代初め 掘立柱建物2棟 溝7条 土坑2基</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○古墳時代 土師器（高杯、甕、つぼ） 須恵器</li> <li>○平安時代末～ 鎌倉時代初め 灰釉陶器 土師器（皿、ナベ） 山茶碗 常滑産甕</li> </ul>	
関連文献							
No.	11	遺跡名	峯城跡八幡地区		台帳番号	210-136	
所在地	亀山市 川崎町 柴崎 字 八幡				事業主体	県農林水産部農村整備課	
調査原因	広域営農団地農道整備事業（北勢南部地区）				費用負担	県農林水産部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宇河 雅之 木野本和之		
調査期間	H7. 5. 8 ～5. 31		調査面積	1,400㎡	保護法関係 文書番号	7年4月7日付け 教文 第761号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
安楽川と八鳥川が合流する付近、県指定史跡峯城の立地する丘陵北端部の北東に派生する尾根の南斜面に位置する。同丘陵上には、峯城に付随すると考えられる土塁や堀切が点在し、丘陵全体が一つの要塞として機能していた可能性が窺われる。本遺跡は、それら遺構群の一部ではないかと考えられた。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西約24m南北約26mの平坦部</li> <li>・南東方向への幅10m×長さ8mの張り出し状の地形</li> </ul> ※建物跡等の遺構は確認できなかった。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺物出土は認められなかった。</li> </ul>	
関連文献	三重県教育委員会『三重の中世城館』1976 『日本城郭大系10』新人物往来社1980 中世城郭研究会『中世城郭研究8』1994						

No.	12	遺跡名	六大A遺跡		台帳番号	201-693	
所在地	津市 大里 窪田町 字 六大院				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	穂積 裕昌 山本 義浩		
調査期間	H7. 4. 17 ～H8. 3		調査面積	4,130㎡	保護法関係 文書番号	H7年3月16日付け 教理 第197号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
古墳時代を中心とする大溝祭祀遺構が主要な遺構である。大溝内には石組みの井泉や礎敷が付設されている。大溝からは大量の土器・木製品・石製品が出土している。中でも階脚硯の出土は注目される。大溝の南側には古代の掘立柱建物や井戸が広がっている。				大溝1 掘立柱建物5 井戸6 土坑数基		<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期弥生土器</li> <li>・土師器</li> <li>・須恵器（階脚硯有）</li> <li>・土馬</li> <li>・土管</li> <li>・木製品（ミニチュア六弦琴建築材、把頭、鞆口、椅子、案、弓、槽、スリット入ナスビ形楕、盾、下駄、キヌガサ状木製品）</li> </ul>	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ』1996						
No.	13	遺跡名	長遺跡		台帳番号	201-17	
所在地	津市 河辺町 字 池尻 他				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	池端 清行 筒井 昭仁		
調査期間	H7. 4. 17 ～10. 31		調査面積	3,700㎡	保護法関係 文書番号	H7年3月16日付け 教理 第203号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
安濃川左岸、標高43mの丘陵に立地する。津市教育委員会によって2次にわたる調査が行われており、弥生時代中期の竪穴住居151棟、掘立柱建物6棟などが検出されている。今回の調査においても同時期の集落跡を検出し、大規模な集落跡であることを再確認した。				○弥生時代 竪穴住居49棟 掘立柱建物2棟 柱列5		<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生土器（中期後葉）</li> <li>石鏃</li> <li>石斧</li> <li>硬玉製勾玉</li> <li>ガラス玉</li> </ul>	
関連文献	津市教育委員会『長遺跡』1989 三重県埋蔵文化財センター『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ』1996						

No.	14-1	遺跡名	蔵田遺跡		台帳番号	201-575	
所在地	津市 納所町・北河路町				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宮田 勝功 池端 清行 米山 浩之		
調査期間	H7. 4. 17 ～12. 21		調査面積	6,810㎡	保護法関係 文書番号	H7年3月16日付け 教理 第204号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>蔵田遺跡は、安濃川左岸の沖積地上にあり、現況は標高7～8mの水田である。遺跡は微高上にあり、中央は浅い谷状低地となっている。調査の結果、微高地からは弥生時代から古墳時代の集落・鎌倉時代の屋敷地が、低地部からは同時代の自然流路・溝等が検出された。</p> <p>集落の形成は弥生時代中期前半で、集落は掘立柱建物のみで構成される。その他には屋外炉が目される。土器は中期前半から後期にかけてが中心であるが、特に第Ⅱ様式の土器が土坑・屋外炉などから一括出土している。</p> <p>古墳時代の集落も掘立柱建物のみで構成され現在9棟確認されている。これらはその棟方向からはほぼ同時期の建物群と考えられる。また、集落の南端にある土坑からは樽形甕と韓式系土器模倣の鉢や在地の土師器（S字甕、壺）・臼玉などが一括出土しており、祭祀後の一括投棄と考えられる。集落の南には幅15m程の旧河道とその支流が東に向かって蛇行して流れ、旧河道内には杭を大量に打ち込んだ護岸施設・貯水施設などがあり、高杯を中心とした土器溜まりが2ヶ所ほどある。遺物として、土師器は高杯の出土が目立ち、須恵器はTK208からMT15型式のものが多く、木製品には建築部材（垂木・柱材）・農具（堅杵・ナスビ形農具・鋤先・鋤柄）・杭などがある。</p> <p>鎌倉時代の遺構は掘立柱建物3棟、溝4条等があり、いずれも安濃川流域に施工された条里制の方向とはほぼ一致する。</p>				掘立柱建物 井戸 土坑 溝 旧河道		縄文土器（後～晩期） 弥生土器（中期前半～後期） 土師器 須恵器 山茶碗 建築部材（柱、垂木） 農具（堅 杵、鋤、鋤） 玉類	
関連文献	津市教育委員会『三重産業振興センター埋蔵文化財発掘調査概報』1993.3 三重県埋蔵文化財センター『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅷ』1996						
No.	15-1	遺跡名	堀田遺跡（第3次）		台帳番号	405-224	
所在地	一志郡 嬉野町 宮古 字 堀田				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	主要地方道松阪一志線国補道路特殊改良第1種事業				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	中川 明 野口美幸 山田康博		
調査期間	H7. 10. 7～ H8. 2. 9		調査面積	1,500㎡	保護法関係 文書番号	H7年9月1日付け 教文 第1710号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中村川左岸の低位段丘上に位置しており、調査区は、天花寺丘陵の裾近くの後背湿地となっている。</p> <p>飛鳥～奈良時代の流路が調査区の大半を占めており、埋土から土馬、暗文土師器、須恵器杯身、甕が出土した。また下層検出の際、古墳時代の流路も確認している。自然木に混じって、櫂、弓、大型の槽、鋤柄、杭等の木製品も多数出土している。</p>				○古墳時代 流路3条  ○飛鳥～奈良時代 流路10条 土坑1基 P i t		○弥生時代 弥生土器（中期Ⅳ様式） ○古墳時代 円筒埴輪、台付甕、小型壺 須恵器杯身 弓、櫂、槽、鋤柄、把手 杭、自然木 ○飛鳥～奈良時代 土師器杯（暗文）、皿 須恵器杯身、杯蓋、壺、甕	
関連文献	三重県教育委員会『昭和56年度県営園場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1982.3						

No.	16-1	遺跡名	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡（第1次）			台帳番号	405-90
所在地	一志郡嬉野町天花寺字赤坂				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	（一）天花寺一志嬉野インター線緊急地道路整備（A）				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤 裕偉		
調査期間	H. 7. 9. 11 ～12. 18		調査面積	1,590㎡	保護法関係 文書番号	7年8月7日付け 教文 第1474号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
中村川下流左岸の丘陵平坦地部に位置する。縄文時代から近世までの遺構・遺物を確認。弥生後期を中心とした集落、古墳初頭～飛鳥前期までの墳墓群、奈良時代の集落、中世天花寺城関連遺構、中世墓群、近世の土壘と溝などが複合した遺跡。墳墓群中には、いわゆる「前方後方形」を呈するものも含まれる。				弥生後期 竪穴住居11棟 古墳初頭～飛鳥前期 墳墓6基 奈良時代 竪穴住居7棟 中世 溝3条 集石群、火葬墓など 近世 土壘・溝		・縄文 球状耳飾（後期） ・弥生 土器・石器類 ・古墳～飛鳥 土師器・須恵器 ・奈良 土師器・須恵器 銅鈿帯 ・中世 土師器・五輪塔 ・近世 陶磁器類	
関連文献	一志町・嬉野町遺跡調査会『天花寺山』1991						
No.	17-1	遺跡名	多気北畠氏遺跡上村地区（旧称 上村遺跡）			台帳番号	未登録
所在地	一志郡 美杉村 下多気 字上村				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	平成7年度主要地方道嬉野美杉線単道改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	越賀 弘幸 伊藤 裕偉		
調査期間	H7. 5. 15 ～H7. 6. 27		調査面積	520㎡	保護法関係 文書番号	7年4月12日付け 教文 第833号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
八手俣川水系によって形成された多気盆地の中央部に位置する。調査の結果、西面廂を持つ3間×2間以上の掘立柱建物が検出された。柱間は2.7mと広く、武家屋敷の可能性もある。また、半地下式で地面が赤く焼け締まった竈1基と地面に粘土を貼った窯状遺構が検出された。窯状遺構は土器を焼いていた可能性もあり、北畠氏と多気の関係を考える上で非常に興味深い。				平安末～鎌倉時代 溝 3条 室町時代 掘立柱建物 3棟以上 竈 1基 窯 1基 溝 2条 落ち込み 1基		土師器（皿・鍋・甕・碗） ロクロ土師器（皿・碗） 陶器（鉢・山茶碗・皿・壺） 磁器（青磁碗、皿・染付碗） 瓦器・瓦質土器 鉄製品（槍先・小刀） 銅製品（銅銭・金箔装製品） 石製品（硯・砥石・五輪塔） 犬形土製品	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『多気遺跡群発掘調査報告』1993						
No.	17-2	遺跡名	多気北畠氏遺跡伝本願寺跡（第1次）・伝誉永寺跡			台帳番号	新発見
所在地	一志郡美杉村上多気字小津				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	国道422号線道路災害復旧工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤 裕偉		
調査期間	H7. 8. 7 ～8. 10		調査面積	90㎡	保護法関係 文書番号	7年7月6日付け 教文 第1629号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
中世南北朝期に北畠氏が本拠を置いた多気（多気遺跡群）の最奥部に位置し、多気遺跡群の一角として把握される。縄文時代と中世の遺構・遺物を確認。縄文時代では、焼土と土坑を確認。竪穴住居があったと想定。中世では掘立柱建物や土坑を確認。土坑には14世紀前半頃と考えられる土師器皿廃棄土坑があり、多気空間の整備時期を考えるうえで重要。				縄文時代 焼土・土坑 鎌倉後期～南北朝期 土師器皿廃棄土坑 戦国後期 掘立柱建物・溝		・縄文 土器（後期） ・中世 土器類・鉄器類	
関連文献	三重県埋蔵文化財センター『多気遺跡群発掘調査報告Ⅲ』1996						

No.	18	遺跡名	山ノ花遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	松阪市 古井町 大字 山ノ花				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道42号松阪・多気バイパス建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松本 美先 西村 修久		
調査期間	H7. 5. 8 ～5. 25		調査面積	1,300㎡	保護法関係 文書番号	H 年 月 日付け 教文 第676号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
松阪市の北東部、金剛川東の松阪低地に位置する。出土した遺物から、中世(鎌倉)～近世(江戸)にかけての遺跡である。遺構は土坑、溝を検出したが時期は確定できなかった。				土坑3基 溝2条		土師器(鎌倉～) 陶器(近世) 青磁(明代) 土垂 加工円盤	
関係文献							
No.	19	遺跡名	堀町遺跡(第2次調査)		台帳番号	204-646	
所在地	松阪市 朝田町 字 斎宮 ほか				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道42号松阪・多気バイパス建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小濱 学 松本 美先		
調査期間	H7. 8. 7 ～H8. 1. 24		調査面積	3,100㎡	保護法関係 文書番号	H 年 月 日付け 教文 第678号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>榑田川下流の沖積低地上に立地している。平成6年度の第1次調査区から北へ300mのところを調査した。</p> <p>弥生～室町時代までの遺構を多く検出するとともに、榑田川の旧支流と考えられる大溝から土器とともに多量の祭祀木製品が出土した。特筆すべきものとしては、県内で4例目の出土となる人形があげられる。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○弥生時代 掘立柱建物2棟 土坑1基・溝2条</li> <li>○飛鳥時代 土坑1基</li> <li>○奈良～鎌倉時代 溝(旧河川)1条</li> <li>○平安時代 井戸2基</li> <li>○鎌倉時代 井戸7基、土坑6</li> <li>○室町時代 墓2基</li> <li>○時期不明 掘立柱建物16棟 など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○弥生土器(壺、鉢、甕など)</li> <li>○須恵器(杯、長頸壺、甕など)</li> <li>○土師器(杯、高杯、甕など)</li> <li>※杯には「卍」の線刻や墨書がされているものがある</li> <li>○山茶碗、山皿</li> <li>○緑釉陶器</li> <li>○近世陶器</li> <li>○祭祀遺物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形木製品(1点)</li> <li>・舟形木製品(3点)</li> <li>・斎串(多数)</li> </ul> </li> <li>など</li> </ul>	
関係文献 三重県埋蔵文化財センタ『一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報V』1995							
No.	20	遺跡名	松阪城三の丸五曲口跡		台帳番号	未登録	
所在地	松阪市 殿町				事業主体	県教育委員会総務課	
調査原因	松阪工業高校寄宿舎建築工事				費用負担	県教育委員会	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	木野本和之 伊藤 裕偉		
調査期間	H7. 8. 17 ～8. 23		調査面積	430㎡	保護法関係 文書番号	7年7月10日付け 教文 第410号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>阪内川右岸の独立丘陵を中心とする県史跡松阪城の南西端、五曲口門及び土壘・堀があったと推定される場所に立地する。寄宿舎建築予定地の建物部分を調査した。</p> <p>松阪城の堀の内側ライン及び土壘基底部と、下層からは弥生時代～築城時まで機能していたと考えられる流路を検出した。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○弥生時代～近世初期 流路1条</li> <li>○近世以降 堀 土壘基底部</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生土器(中期～後期)</li> <li>土師器(皿、鍋)</li> <li>陶器碗</li> <li>大甕</li> <li>瓦</li> </ul>	
関連文献 三重県教育委員会『三重の近世城郭』1984 松阪市教育委員会『松阪城本丸跡上段発掘調査報告書』1992 『日本城郭大系10』新人物往来社 1980							

No.	21	遺跡名	山口遺跡			台帳番号	新発見
所在地	松阪市 井口 中町 字 山口				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	山田 康博 前川 嘉宏		
調査期間	H7. 7. 10 ～7. 24		調査面積	340㎡	保護法関係 文書番号	H7年6月7日付け 教文 第1071号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
本遺跡は榊田川の支流祓川左岸に立地する。 調査の結果、遺跡から柱穴、溝を確認した。				ピット群 溝		○奈良時代 土師器（長胴甕） 須恵器（椀・長けい壺等） ○中世 山茶椀 ○近世 燈明皿	
関連文献							
No.	22	遺跡名	大蓮寺遺跡			台帳番号	未登録
所在地	松阪市榊田町字栗田				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備業（榊田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宇河 雅之 袖岡 直樹		
調査期間	H7. 10. 3 ～H7. 10. 5		調査面積	320㎡	保護法関係 文書番号	H7年9月1日付け 教文 第2009号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
高畑集落北西の水田に位置する。溝を10条検出したが、自然 流路の可能性が高い。出土遺物は、飛鳥から奈良時代にかけての ものを中心である。付近にその存在の伝承がのこる大雷寺との関 係も注目される。隣接地には「大蓮寺」「塔之本」の字名が残る。				溝10条		○飛鳥時代 土師器甕 ○奈良時代 須恵器台付長頸壺 土師器杯	
関連文献							
No.	23	遺跡名	柳辻遺跡			台帳番号	未登録
所在地	松阪市榊田町字柳辻				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備業（榊田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宇河 雅之 袖岡 直樹		
調査期間	H7. 9. 13 ～H7. 9. 14		調査面積	160㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月4日付け 教文 第1247号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
綾垣内遺跡の南側に隣接する遺跡で、時期不明の溝を2条検出。				溝2条		土師器片（包含層）	
関連文献							

No.	24	遺跡名	瀬干遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	松阪市榑田町字瀬干・一ノ坪				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備業（榑田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宇河 雅之 袖岡 直樹		
調査期間	H7. 8. 24 ～H7. 9. 12		調査面積	580㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月4日付け 教文 第1247号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
和屋集落の東方に位置し、河川の氾濫により形成されたと考えられる低台地に立地する。 全4基の方形周溝墓を検出。方形周溝墓2はいわゆるB2型の特徴を持つ。時期は廻間I式前半期に該当し、他の3基は、それにやや遅れるものと考えられる。				南北調査区 方形周溝墓4基 東西調査 溝1条		○古墳時代初頭 壺、S字甕、ヒサゴ壺	
関連文献							
No.	25	遺跡名	北ノ垣内遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	松阪市榑田町字北ノ垣内				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備業（榑田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宇河 雅之 袖岡 直樹		
調査期間	H7. 8. 3 ～H7. 8. 22		調査面積	770㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月4日付け 教文 第1247号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
清水集落の南西、榑田川旧河道南側に位置する。 A地区 遺構検出面は浅く、水田床土の直下で弥生中期の土坑を検出。水田耕作土には、中世の土器が多く含まれ、河川の氾濫による土地の削平が考えられる。 B地区 弥生中期から古墳時代後期にかけての溝を検出。溝は、そのほとんどが南北方向に延びるもので、自然流路の可能性が高い。				A地区 土坑3、旧河道 B地区 溝7条		○弥生中期 壺 ○古墳時代初頭 S字甕、小型台付甕、壺 ○古墳時代後期 須恵器杯身、土師器碗・甕	
関連文献							
No.	26	遺跡名	綾垣内遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	松阪市 榑田町 字 綾垣内 極原				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備事業（榑田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	袖岡 直樹 宇河 雅之		
調査期間	H7. 9. 13 ～9. 25		調査面積	300㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月13日付け 教理 第342号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
条里地割が残る、榑田川下流左岸の沖積平野に立地する。 削平を受ける水路部分の調査を行ったところ奈良時代後半～鎌倉時代初頭の溝を検出した。条里の方向に乗ると思われるものを数条含む。				溝19条		土師器（杯・皿・甕） 灰釉陶器（碗） 山茶碗 扁行唐草文軒平瓦 平瓦 須恵器片 陶器片	
関係文献							



No.	27	遺跡名	廿チ遺跡（旧称東牛込遺跡）・（北上遺跡 範囲確認調査）			台帳番号	未登録
所在地	松阪市 上川町 字 廿チ				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道42号松阪・多気バイパス建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小林 秀 下平 康弘		
調査期間	H7. 6. 7 ～7. 19		調査面積	1,600㎡	保護法関係 文書番号	H 年 月 日付け 教文 第677号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>県道松阪第2環状線の西の水田地帯に位置している。は場整備工事によって削平されていた。</p> <p>北上遺跡では旧河道を検出し、古墳時代後期から奈良時代の遺物が出土した。</p>				<p>○廿チ遺跡 溝 1条</p> <p>○北上遺跡 旧河道の右岸</p>		<p>○廿チ遺跡 古墳～現代の土器片</p> <p>○北上遺跡 須恵器杯・蓋 土師器碗・甕 刀形木製品</p>	
関係文献	三重県埋蔵文化財センター『一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報VI』1996						
No.	28	遺跡名	古川遺跡			台帳番号	204-654
所在地	松阪市 稲木町 字 古川				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営は場整備事業（漕代地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤 裕之 服部 芳人 西澤 裕幸		
調査期間	H7. 11. 1 ～12.22		調査面積	1,700㎡	保護法関係 文書番号	H7年9月29日付け 教文 第2013号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>出土遺物は、古墳、平安、鎌倉時代にわたるが中心は鎌倉時代である。石組井戸が4基検出されたが、うち1基は石を抜き取ってから廃棄されており、埋土からはきわめて多量の土師器の皿や鍋が出土している。</p>				<p>掘立柱建物1棟 井戸4基 溝 土坑</p>		<p>○古墳時代 杯身、杯蓋、高杯、壺、碗 S字台付ガメ</p> <p>○平安時代 土師器、灰釉土器、緑釉土器、壺、カメ、土鍾</p> <p>○鎌倉時代 土師器（皿）、山茶碗（墨書含む）、カメ、壺、土鍾 青磁</p>	
関連文献							
No.	29	遺跡名	溝端遺跡（旧称北出遺跡B地点）			台帳番号	未登録
所在地	飯南郡 飯南町 粥見 字 溝端・桜東新田				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	一般国道368号粥見バイパス国補道路特殊改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井 正明 西出 孝		
調査期間	H7. 8. 7 ～11. 20		調査面積	3,400㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月3日付け 教文 第1395号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>櫛田川左岸の河岸段丘状に位置する。12～13世紀中心の遺構が検出された。また若干の縄文時代の石器が出土する。</p>				<p>○中世 土坑3基 溝2条</p> <p>○他 自然流路</p>		<p>○縄文 尖頭器（チャート製） 石鏃、不明石器、剝片（サヌカイト製）</p> <p>○中世 山茶碗、土師器（鍋・皿） 青磁片、白磁片</p>	
関係文献							

No.	30	遺跡名	奈可切遺跡 (旧称中切遺跡)			台帳番号	未登録
所在地	飯南郡 飯南町 本郷 字 奈可切				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	一般地方道片野飯高線〔道新〕緊急地方整備 (A改良) 工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	西出 孝 宇河 雅之		
調査期間	H7. 11. 1 ～12. 5 追加調査H8.2.26～28		調査面積	890㎡	保護法関係 文書番号	H7年10月5日付け 教文 第1818号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>櫛田川右岸の河岸段丘中位面に立地する。付近には、縄文時代の遺跡が多く、本遺跡でも下層から縄文土器が出土した。</p> <p>上層からは、平安時代末～鎌倉時代の集落跡を検出した。「本郷」という地名との関連性も考えられる。</p>				<p>○縄文時代 土坑 4基</p> <p>○平安末～鎌倉時代 掘立柱建物 4棟 溝 5条 土坑群 配石遺構</p>		<p>縄文土器 (早期～後期) 山茶碗、山皿 土師器 (皿、鍋) 瓦器 青磁 宋銭 刀子</p>	
関連文献							
No.	31	遺跡名	首祢崎遺跡			台帳番号	442-525
所在地	多気郡 明和町 上野 字 首祢崎				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	平成7年度県営は場整備事業 (明星地区)				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	野口 美幸 袖岡 直樹 山田 康博		
調査期間	H7. 5. 8 ～6. 27		調査面積	1,100㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月7日付け 教文 第730号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>大仏山丘陵より延びる明野台地東端の中位段丘上に位置する。標高は4m程度である。</p> <p>古墳時代後期の土坑2基は長楕円形ではほぼ平行している。1基からはミニチュアの高杯・碗や手づくね土器も出土しており、古墳の周溝の可能性もある。</p> <p>土師器焼成坑は残りの悪いものであったが、甕片のほかに、粘土塊を焼いたものも出土している。</p>				<p>○弥生時代 ・土坑 1基</p> <p>○古墳時代後期 ・土坑 2基 ・掘立柱建物 1棟</p> <p>○飛鳥～奈良時代 ・土師器焼成坑 3基 ・竪穴住居 2棟 ・掘立柱建物 5棟 ほか</p>		<p>・ナイフ形石器 ・スクレイパー ・弥生土器 (壺・甕) ・土師器 (杯・甕・甌) ・須恵器 (杯・壺) ・ミニチュア土器 ・手づくね土器</p>	
関連文献							
No.	32	遺跡名	北野遺跡 (第5次調査)			台帳番号	442-228
所在地	多気郡 明和町 蓑村 字 東へべら				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営は場整備事業 (明星地区)				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	竹田 憲治 袖岡 直樹 日栄 智子 松葉 和也 越賀 弘幸 山田 康博		
調査期間	H7. 6. 29 ～H8. 1. 18		調査面積	5,750㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月7日付け 教文 第730号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>過年4次の調査と同様に弥生時代後期～古墳時代初頭の集落・基城、飛鳥～奈良時代の土師器生産地を検出した。</p> <p>過去の調査分とあわせ、検出された土師器焼成坑の数は225基となった。</p>				<p>・竪穴住居 61棟 ・掘立柱建物 49棟 ・方形周溝墓 3基 ・土師器焼成坑 12基 ・区画溝</p>		<p>チャート剥片 弥生土器・銅鐸形土製品 土師器 須恵器</p>	
関係文献							

No	33	遺跡名	高皿遺跡(旧池ノ下遺跡)			台帳番号	未登録
所在地	多気郡 多気町 四疋田 字 高皿・池ノ下				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営は場整備事業(四疋田地区)				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松葉 和也 日栄 智子 山田 康博		
調査期間	H7. 10. 2 ～11. 7		調査面積	560㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月24日付け 教文 第1603号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
縄文時代草創期の石器群がまとまって出土した。剥片も三千点に及びその大半が調整剥片であることから、石器制作趾的な性格が強い。 土器は隆線文土器は認められず、押型文中心であるが、数点の土器については草創期のものである可能性が高い。				古墳時代 溝一条		縄文土器(草創期～早期) 弥生土器 土師器(甕・高杯) 尖頭器(有舌・木葉形) スクレイパー 石斧 石鏃 剥片	
関連文献							
No	34	遺跡名	相可出張遺跡			台帳番号	新発見
所在地	多気郡 多気町 相可 字 出張				事業主体	県教育委員会総務課	
調査原因	相可高校武道場建築工事				費用負担	県教育委員会	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	日栄 智子 杉谷 政樹		
調査期間	H7. 9. 18 ～9. 28		調査面積	380㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月14日付け 教文 第1632号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
遺跡は櫛田川左岸の低段丘上に位置する。相可高校内の武道場新設のため調査を行った。 検出された遺構の時期は、奈良時代末から鎌倉時代初め頃までで、調査区東端で確認された深さ3m、幅8～9mの大溝は条里制との関係で特に注目される。				○大溝(奈良時代末～ 鎌倉時代初め) ○掘立柱建物(時期不明 平安時代か) ○土坑(鎌倉時代初め) 2基		土師器(皿、鍋) 灰釉陶器 山茶碗 瓦器	
関連文献							
No	35	遺跡名	井尻遺跡			台帳番号	未登録
所在地	多気郡 勢和村 波多瀬 字 井尻				事業主体	県農林水産部農村振興課	
調査原因	県営畜産環境整備事業(多気勢和地区)				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	野口 美幸 松葉 和也		
調査期間	H7. 7. 10 ～10. 5		調査面積	本調査 1,900㎡ 立会調査 900㎡	保護法関係 文書番号	H7年6月11日付け 教文 第1114号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
櫛田川中流南岸に位置する。標高は約80mである。 縄文時代後期前葉の遺構としては、配石土坑19基と埋設土器1基等を検出した。SK17は堀之内I式並行期の配石土坑であるが、口径40cm程の深鉢とともに堅果類が出土した。 このほかの遺構は中津I式から北白河上層I式にかけてのもので、縄文時代の他の時期の遺物はほとんど確認されなかった。				○縄文時代後期前葉 ・配石土坑 19基 ・埋設土器 1基 ○鎌倉時代末期 ・溝 1条 ・掘立柱建物 1棟 ・方形土坑 1基 ○中世以降 ・集石(浅くレンズ状に 窪めた穴の中に石を敷 きつめたもの)13基		○縄文時代後期前葉 ・深鉢・浅鉢・双耳壺 ・石鏃(50個以上) ・石鏃・石製ヤス・石錐 ・磨石・叩石・異形石製品 ○鎌倉時代末期 ・土師器(皿・鍋) ・山茶碗(墨書「三」他) ・棟鉢	
関連文献							

No.	36	遺跡名	次郎六郎東遺跡			台帳番号	522-36	
所在地	志摩郡 大王町 大字 船越 字 次郎六郎				事業主体	郵政省東海郵政局		
調査原因	郵政省伊勢志摩リゾート施設（仮称）建設				費用負担	郵政省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター				担当者	小林 秀		
調査期間	H7. 10. 16 ～H8. 1. 12		調査面積	2,000㎡	保護法関係 文書番号	H 年 月 日付け 教文 第663号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
英虞湾に面した小半島の丘陵斜面に立地する。斜面を掘削して建てた、鎌倉時代前期の礎石建物跡を3棟検出した。				○縄文時代 集石遺構 1基 ○鎌倉時代 礎石建物 3棟		敵石、磨石、磨製石斧、石錘 山茶碗、山皿、陶器鉢 土師器鍋、土師器皿		
関係文献	三重県埋蔵文化財センター『次郎六郎東遺跡発掘調査報告』1996							
No.	37	遺跡名	良福寺跡			台帳番号	481-129	
所在地	阿山郡 伊賀町 下柘植 字 寺後				事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	県営は場整備事業（柘植川沿岸地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター				担当者	服部 芳人 西澤 裕幸		
調査期間	H. 7. 10. 18 ～10. 25		調査面積	165㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月24日付け 教文 第1649号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
柘植川右岸の河岸の河岸段丘上に立地する。遺跡範囲のうち、削平を受ける排水路部分について発掘調査を実施した。本調査に先立って行った試掘調査では縄文土器片、奈良・平安時代の瓦が出土した。本調査では、溝2条が検出されたのみで良福寺跡と推定しうる遺構は検出されなかった。				○中世 溝 2条		縄文土器（後期中頃） 須恵器（奈良・平安時代） 平瓦・丸瓦 瓦器		
関連文献								
No.	38	遺跡名	火山遺跡			台帳番号	未登録	
所在地	上野市 山神 字 火山				事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	県営は場整備事業（上野北部地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター				担当者	船越 重伸 西澤 裕幸		
調査期間	H. 7. 6. 6 ～9. 26		調査面積	2,730㎡	保護法関係 文書番号	7年5月2日付け 教文 第838号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
柘植川右岸の丘陵に挟まれた開析谷に形成された小規模な扇状地の端部付近に位置する。試掘調査で、上野市の北部でしか出土しない「土符」が1点出土している。今回の調査で、県下で初めて室町期ころのものと思われる铸造土坑を検出した。この土坑と廃棄土坑と考えられる遺構から铸造関係の土製品や鉄滓が出土した。また、「土符」も新たに5点出土した。				○中世 铸造土坑 1基 廃棄土坑 3基 溝 14条 土坑 9基 ピット ○時期不明 掘立柱建物 1棟 井戸 1基		土師器 須恵器 瓦器 瓦 土符 铸型 フイゴ羽口 溶解炉片 三叉状土製品 五輪塔		
関連文献								

No.	39	遺跡名	山神遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	上野市 沖 字 山神				事業主体	県農林水産部農村振興課	
調査原因	揮発油税財源身替農道整備事業（上野依那古2期地区）				費用負担	県農林水産部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	船越 重伸 西澤 裕幸		
調査期間	H. 7. 5. 18 ～ 6. 2		調査面積	300㎡	保護法関係 文書番号	7年4月14日付け 教文 第876号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>木津川右岸、上野盆地と比自岐小盆地をわける丘陵の西側端部に位置する。</p> <p>弥生土器が多く出土した自然の落ち込みと古墳時代と思われる竪穴住居を検出した。</p> <p>木津川流域には、縄文時代から弥生時代の遺跡が多く存在することから、山神遺跡を含めたこの地域に弥生時代の集落が存在すると思われる。</p>				<p>○古墳時代 竪穴住居 2棟</p> <p>○時期不明 自然の落ち込み ピット</p>		<p>弥生土器 小型丸底壺 古式土師器 須恵器</p>	
関連文献							
No.	40	遺跡名	高寺南遺跡		台帳番号	未登録	
所在地	名賀郡 青山町 伊勢路 字 高寺				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営ほ場整備事業				費用負担	県農林水産部・教育委員会※	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	服 部 芳 人 西澤 裕幸		
調査期間	H. 7. 10. 11 ～ H. 7. 10. 13		調査面積	130㎡	保護法関係 文書番号	7年9月7日付け 教文 第1733号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>木津川の支流、青山川の南岸に位置し、標高は約223mである。現況は水田および畑で、北に向かって緩やかに傾斜する。当遺跡のすぐ南には、初瀬街道が東西に走る。</p> <p>調査区は、排水路部分に限られたためL字状に設定された。柱穴10数個を検出したが、調査区内では並ばず、掘立柱建物の柱穴とは断定しがたい。柱穴の1個から土師器の小皿が完形品で出土しており、何らかの地鎮の可能性も考えられる。</p>				<p>柱穴10数個 土坑数基</p>		<p>瓦器碗片（12～13世紀） 土師器小皿 土師器皿片 須恵器片</p>	
関連文献							

県（斎宮歴史博物館）担当分本調査

No.	41-1	遺跡名	史跡斎宮跡 第109次調査（6AFL-D・E）			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮字鍛冶山2762-1、2763-1				事業主体	県教育委員会	
調査原因	計画調査				費用負担	県教育委員会※	
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	赤岩 操		
調査期間	H. 7. 5. 19 ～H. 7. 9. 25		調査面積	1,070㎡	保護法関係 文書番号	7年3月16日付け 教斎 第31-6号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>史跡東部には奈良時代後期から平安時代前期の方格地割が存在したと考えられるが、今回は斎宮内院と推定された方形区画（鍛冶山西ブロック）内で調査を実施した。</p> <p>調査の結果、区画全体を囲む外郭柵列の内側でさらに内郭を構成する柵列を2条確認した。区画内に存在する大型掘立柱建物の規則的配置からこの区画全体の様相がより明確となり、中心施設が調査区の東・南側に予想されることとなった。</p>				<p>○奈良時代後期～平安時代前期</p> <p>柵列 4条</p> <p>掘立柱建物 8棟</p> <p>土坑</p> <p>溝</p>		<p>土師器</p> <p>須恵器</p> <p>緑釉陶器（唾壺・香炉）</p> <p>灰釉陶器</p> <p>黒色土器風字硯</p> <p>仮名墨書土器</p> <p>朱付着陶器</p>	
関連文献							
No.	41-2	遺跡名	史跡斎宮跡 第111次調査（6ADL他）			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮字内山、上園、宮ノ前地区				事業主体	県教育委員会	
調査原因	計画調査				費用負担	県教育委員会※	
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	大川 勝宏		
調査期間	H. 7. 7. 14 ～H. 8. 2. 29		調査面積	1740㎡	保護法関係 文書番号	7年6月15日付け 教斎 第31-12号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>近い将来に計画している近鉄斎宮駅北側一帯の史跡整備に対する地下遺構のデータを取得するために、10本のトレンチを設定した。</p> <p>内山地区の現況畑地で奈良時代の竪穴住居や平安時代の掘立柱建物が検出されたが、以北の水田地帯は大部分が近世以降の瓦粘土採り土坑に遺構面が破壊されており、部分的に竪穴住居や溝などを検出したに止まった。</p>				<p>○奈良時代</p> <p>竪穴住居 2棟</p> <p>土坑</p> <p>○平安時代</p> <p>掘立柱建物 1棟</p> <p>溝</p> <p>土坑</p>		<p>土師器</p> <p>須恵器</p> <p>灰釉陶器</p> <p>緑釉陶器</p> <p>輸入陶磁器</p>	
関連文献							

No.	41-3	遺跡名	史跡齋宮跡 第112次調査(6ACB-B)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字塚山3276-15他				事業主体	県教育委員会	
調査原因	計画調査				費用負担	県教育委員会※	
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	野原 宏司		
調査期間	H. 7. 12. 12 ～H. 8. 1. 31		調査面積	25㎡	保護法関係 文書番号	7年12月4日付け 教齋 第31-34号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>今回の調査は、史跡環境整備に関わって史跡北西部、塚山地区内に存在する塚山3号墳と鎌倉時代大溝の規模・形状・時期等を確認することを目的としてトレンチ調査を実施した。</p> <p>塚山3号墳は墳丘裾部で直径約16m、周溝を含めると直径約18mの円墳と考えられる。墳丘の流出土からは円筒埴輪片が多量に出土し、少なくとも5世紀代に遡るものである。調査地内で検出した鎌倉時代大溝は溝幅約3mを測る。</p>				<p>○古墳時代 塚山3号墳周溝 1条</p> <p>○鎌倉時代 鎌倉時代大溝 1条</p>		<p>形象埴輪片 円筒埴輪片 須恵器片 土師器片 山茶碗片</p>	
関連文献							
No.	41-4	遺跡名	史跡齋宮跡 第110-1次調査(6ACM-J)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町大字竹川262-3				事業主体	明和町教育委員会	
調査原因	土地改良区事務所撤去及び建て替え				費用負担	明和町教育委員会※	
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	大川 勝宏		
調査期間	H. 7. 7. 26 ～H. 7. 8. 21		調査面積	110㎡	保護法関係 文書番号	7年6月15日付け 教齋 第31-12号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>史跡中央部南寄りの東裏地区での現状変更に先立つ緊急発掘調査である。近世参宮街道沿いに位置するため盛土層が厚く、地表から80cm～90cmで遺構地山面に達する。</p> <p>遺構は少なく、飛鳥時代の2基の周溝遺構と近世の土器を大量に包含する土坑を検出した。</p>				<p>○飛鳥時代 周溝遺構 2基</p> <p>江戸時代～明治時代 土坑 1基</p>		<p>土師器 須恵器 近世陶磁器</p>	
関連文献							
No.	41-5	遺跡名	史跡齋宮跡 第110-2次調査(6AGR-O)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町大字齋宮2345-3				事業主体	明和町教育委員会	
調査原因	盛土				費用負担	明和町教育委員会※	
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	大川 勝宏		
調査期間	H. 7. 10. 11 ～H. 7. 11. 30		調査面積	480㎡	保護法関係 文書番号	7年6月5日付け 教齋 第31-10号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>史跡東端部のエンマ川沿いで近鉄山田線の南に位置する畑地への盛土に先立つ緊急発掘調査である。</p> <p>平安時代前半の方格地割の東端付近にもあたり、区画道路の側溝等が検出される事が予想されたが、東西道路の大規模な南側溝が検出されたに止まった。当調査区を通る区画道路は予想より幅員の広いものである可能性がある。</p> <p>他に平安時代の掘立柱建物や室町時代の井戸などがある。</p>				<p>○平安時代 掘立柱建物 1棟以上 道路側溝 数条 井戸 1基</p> <p>○鎌倉時代～室町時代 井戸 3基 土坑 3基</p>		<p>土師器 須恵器 灰釉陶器 緑釉陶器 輸入陶磁器 須恵器猿面硯</p>	
関連文献							

各市町村担当分本調査

No.	42	遺跡名	桑部城跡			台帳番号	205-122
所在地	桑名市 大字 桑部 字 城下				事業主体	桑名市	
調査原因	市道桑部播磨線建設				費用負担	桑名市	
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理 水谷 芳春		
調査期間	H7. 7. 31 ～H8. 3. 31		調査面積	3,000㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月15日付け 教文 第1244号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
桑名市の南部、員弁川右岸の標高40～50mの丘陵上に位置する。平成7年度は最北の郭を中心に約3000㎡を調査した。遺構に伴う遺物の出土はごくわずかであるが、包含層中より約5000点ほどの遺物が出土している。そのほとんどが土師皿、もしくは瀬戸美濃大窯製品である。				土坑 溝 土塁 堀		瀬戸美濃大窯製品 土師皿、常滑甕 白磁、青磁 朝鮮陶器 弥生土器 近世陶磁器	
関連文献							
No.	43-1	遺跡名	赤堀城跡（第4次）			台帳番号	202-290
所在地	四日市市 城西町311-1				事業主体	個人	
調査原因	共同住宅建築				費用負担	事業者	
調査機関	四日市市遺跡調査会			担当者	川崎 正幸		
調査期間	H7. 4. 3 ～5. 2		調査面積	250㎡	保護法関係 文書番号	H7年3月1日付け 第 号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
三滝川と鹿化川に挟まれた海岸低地上に立地する。調査場所は、中世以前は微高地をなしていたが、近世には沼沢地化し、水田として利用されていたと推定される。顕著な遺構は確認されなかったが、遺物から、周辺には古墳が所在し、中世以前から集落が営まれていたと推定される。				溝 水田跡（近世～近代）		須恵器（蓋杯(TK47～TK43) 杯(高蔵寺2,折戸10) 甕、高杯、甕） 土師器（甕、伊勢型鍋、 清郷甕） 緑釉陶器 灰釉陶器 山茶碗 陶器甕（常滑） 土錘 朝顔形埴輪片 昆虫遺体 等	
関連文献 四日市市教育委員会『赤堀城跡』1986 四日市市遺跡調査会『赤堀城跡2』1989 四日市市遺跡調査会『赤堀城跡 3』1993							
No.	44-1	遺跡名	史跡国分寺跡（進入道路）6BIC-A地区			台帳番号	207-361
所在地	鈴鹿市 国分町 字 西高木220・222				事業主体	鈴鹿市	
調査原因	博物館建設				費用負担	鈴鹿市土地開発公社	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	岡田 雅幸 藤原 秀樹		
調査期間	H7. 8. 1 ～8. 19		調査面積	270㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月3日付け 教文 第1430号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
考古博物館建設のための進入道路予定地である。竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑などが検出された。竪穴住居に伴う土坑からカマドの土製支脚と甕が出土した。ピットは多数検出されたが、調査区が東西に細長く狭いため、建物としてはまとまらなかった。				竪穴住居 掘立柱建物 土坑 溝 ピット		土師器 須恵器 瓦類	
関連文献							



No.	44-2	遺跡名	伊勢国分寺跡（博物館）6BIB-A・E・F地区			台帳番号	207-361
所在地	鈴鹿市 国分町 字 西高木 224・225				事業主体	鈴鹿市	
調査原因	博物館建設				費用負担	鈴鹿市土地開発公社	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	岡田 雅幸 杉立 正徳 藤原 秀樹		
調査期間	H7. 5. 10 ～7. 28		調査面積	1,430㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月7日付け 鈴教遺 第1号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
E区の北西隅に三面庇を持つ掘立柱建物が検出されており、いわゆる東南隅土坑を伴っている。灰釉陶器が出土されたことから11世紀代に営まれたと考えられる。A区の土坑からは奈良～平安時代初頭にかけての土師器皿や須恵器杯蓋などがまとめて出土した。				竪穴住居 掘立柱建物 土坑 溝 ピット		土師器 須恵器 瓦類 灰釉陶器 緑釉陶器	
関連文献							
No.	45	遺跡名	国府A遺跡			台帳番号	207-504
所在地	鈴鹿市 国府町 字 西之条				事業主体	個人	
調査原因	個人住宅建設				費用負担	鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛 杉立 正徳		
調査期間	H7. 5. 30 ～6. 1		調査面積	51.8㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月21日付け 教文 第1041号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川右岸の台地上に広がる古墳時代から奈良時代にかけての遺跡である。調査の結果、奈良時代の竪穴住居が1棟検出された。2.7×3.7mの方形プランを呈し、4本の主柱穴を有するが、竈は検出されなかった。土師器甕・甗・須恵器杯・蓋などが出土した。				○奈良時代 竪穴住居1		○奈良時代 土師器甕・甗 須恵器杯・蓋	
関連文献							
No.	46-1	遺跡名	狐塚遺跡（国庫）			台帳番号	207-734
所在地	鈴鹿市 国分町 字 人足道150、151-1、151-2				事業主体	鈴鹿市教育委員会	
調査原因	学術				費用負担	鈴鹿市教育委員会※	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	岡田 雅幸 藤原 秀樹		
調査期間	H7. 8. 3 ～10. 16		調査面積	880㎡	保護法関係 文書番号	H7年6月30日付け 教文 第1355号 H7年8月1日付け 教文 第1670号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
昨年度の調査で見つかった7世紀末～8世紀初頭の正倉とみられる倉庫群と同時期の倉庫跡7棟が検出された。倉庫は全て3間×3間の建物で、微妙に大きさは違いが南北にはほぼ等間隔（約10m）に並んでいる。昨年度検出の3棟と合わせ10棟の倉庫が整然と「□」字状に配置されている。倉庫の建て替えが見られないためこの場所で正倉が営まれたのは短期間だったと考えられる。 この他に7世紀前半の古墳周溝が検出され、須恵器杯と平瓶がほぼ完形で出土した。				竪穴住居 掘立柱建物 土坑 溝 古墳周溝 ピット		土師器 須恵器 瓦類	
関連文献							

No.	46-2	遺跡名	狐塚遺跡（進入道路）			台帳番号	207-734
所在地	鈴鹿市 国分町 字 念佛山・字 人足道				事業主体	鈴鹿市	
調査原因	博物館建設				費用負担	鈴鹿市土地開発公社	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	岡田 雅幸 杉立 正徳 藤原 秀樹		
調査期間	H7. 6. 26 ～H8. 1. 11		調査面積	1,900㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月29日付け 教文 第1039号 H7年7月25日付け 教文 第1417号 H7年11月1日付け 教文 第2110号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
考古博物館建設のための進入道路予定地である。全体として水田の床上げによる削平が著しく遺構の残りは良くない。遺物も非常に少ないが、平安時代前半から鎌倉時代にかけての掘立柱建物が8棟検出された。このうち平安時代の建物群は、ほぼ正方位にそろえられた建物が多く、官衙的性格を持つとみられる。				掘立柱建物 土坑 溝 ピット		土師器 須恵器 瓦類 山茶碗 白磁碗	
関連文献							
No.	47	遺跡名	木田坂上遺跡			台帳番号	207-537
所在地	鈴鹿市 木田町 2150他				事業主体	個人	
調査原因	土砂採取				費用負担	個人・鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛		
調査期間	H7. 7. 21 ～8. 15		調査面積	221㎡	保護法関係 文書番号	H7年6月19日付け 教文 第1599号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川左岸の台地上に位置する遺跡。調査対象地約4,000㎡のうち第1期分の調査である。3×4mの竪穴住居4棟と掘立柱建物1棟が検出された。いずれも奈良時代のものである。竪穴住居2棟は非常に近接するため、時期的な差が認められ、掘立柱建物は竪穴を切る。				○奈良時代 竪穴住居4 掘立柱建物1		○奈良時代 土師器皿・甕 須恵器杯・甕	
関連文献							
No.	48	遺跡名	津賀平遺跡（第3次調査）			台帳番号	207-522
所在地	鈴鹿市 津賀町 字 東条 730				事業主体	鈴鹿農業協同組合	
調査原因	農業関連施設建設				費用負担	鈴鹿農業協同組合	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	新田 剛 杉立 正徳		
調査期間	H7. 8. 2 ～10. 4		調査面積	1,700㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月15日付け 教文 第1413号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川左岸の段丘上に位置する。過去の調査により遺構分布が密なことが知られるが、調査前に削平されており、遺構の残りは極めて悪かった。弥生時代後期の土坑、古墳前期の方墳、古墳後期の竪穴住居・土坑の他平安時代から鎌倉時代までの掘立柱建物が検出された。				○弥生時代（後期） 土坑1基 ○古墳時代 方墳1基（前期） 竪穴住居（後期）4棟 土坑（後期）多数 ○平安時代～鎌倉時代 掘立柱建物3棟 土坑 多数 溝 1条 柱穴 多数		弥生土器（壺・台付甕） 土師器（壺・甕） 須恵器（杯・鉢・高杯） 灰釉陶器 山茶碗、山皿 石製品	
関連文献							

No.	5-2	遺跡名	石薬師東遺跡		台帳番号	207-727	
所在地	鈴鹿市 石薬師町 字 寺東 452-1				事業主体	鈴鹿市	
調査原因	道路改良				費用負担	鈴鹿市（原因者）	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	藤原 秀樹 杉立 正徳		
調査期間	H7. 10. 16 ～11. 2		調査面積	300㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月10日付け 教文 第1350号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>県埋文センターが発掘調査を継続し30基あまりの小方墳が検出されている県消防学校の隣接地である。道路拡幅に伴うトレンチ状の調査区であるが周溝と考えられる溝のセットが6基分検出された。周溝からは据えられた甕が3ヶ所で発見され祭祀行為の一端がうかがわれる。</p>				<p>○古墳時代 方墳6基 37、56～60号墳 大溝1 土墳2 ○近代 塹壕1</p>		<p>須恵器（甕・杯・壺） 土師器（壺・杯） 円筒埴輪</p>	
関連文献							
No.	8-2	遺跡名	長者屋敷遺跡（第4次調査）		台帳番号	207-363	
所在地	鈴鹿市 広瀬町 字 矢下1132・1133 仲起1227-1 荒子1135				事業主体	鈴鹿市教育委員会	
調査原因	学術調査				費用負担	鈴鹿市教育委員会※	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛 藤原 秀樹 岡田 雅幸 杉立 正徳		
調査期間	H7. 9. 20 ～12. 19		調査面積	254㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月11日付け 教文 第1671号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>国庁跡の西隅楼・西築地塀・後殿・北限溝の調査を実施した。隅楼では建物の痕跡が認められず、そのかわりに瓦・土器・轆羽口・鉄滓を含む土壇状の遺構が検出された。北築地外溝の検出と後殿の調査によって、政庁内郭の北限と後殿の南北規模が明らかとなった。</p>				<p>○奈良時代 後殿 西隅楼南溝 土壇 西築地塀 西内外溝 北外溝</p>		<p>軒丸瓦 軒平瓦 平瓦 丸瓦 須恵器杯 甕 土師器甕 轆羽口 鉄滓</p>	
関連文献							
No.	49	遺跡名	上箕田遺跡		台帳番号	207-164	
所在地	鈴鹿市 中箕田町 上月1131-1				事業主体	鈴鹿市土地開発公社	
調査原因	出張所用地造成				費用負担	鈴鹿市土地開発公社	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	杉立 正徳 藤原 秀樹		
調査期間	H7. 12. 4 ～H8. 1. 14		調査面積	600㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月7日付け 教文 第1672号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>調査区は遺跡の東端に位置する。下層の旧河道は腐葉を多く含む加工木が出土した。上層遺構は中世のものが大半をしめ特にはほぼ正方位に走る溝はいく度も掘り直され、条里地割に関するものと考えられ、井戸もこれに沿って掘られている。</p>				<p>○中世 溝 井戸 土坑 ピット ○弥生時代前期～ 縄文時代晩期？ 旧河道</p>		<p>弥生土器 須恵器 土師器 土錘 山茶碗 常滑焼 加工木</p>	
関連文献							

No.	50	遺跡名	南山遺跡(第2次調査)		台帳番号	207-737	
所在地	鈴鹿市 河田町 字 南山			事業主体	個人		
調査原因	個人住宅建設			費用負担	鈴鹿市		
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	新田 剛 藤原 秀樹 岡田 雅幸 杉立 正徳			
調査期間	H7. 12. 18 ～H8. 1. 5		調査面積	83.7㎡	保護法関係 文書番号	H7年11月13日付け 教文 第2303号	
遺 構 の 概 要				主な遺構		主な遺物	
第1次調査地点から東へ約70mの地点を調査した。竪穴住居は 一辺約5mの方形プランをなし、他に2棟切られている。中央に 炉を有し、東辺中央に貯蔵穴を有する。方形周溝墓は住居の南約 10mで北辺と西辺の一部が検出され、他に周溝墓の一部が検出さ れている。				○弥生後期 竪穴住居 3 方形周溝墓2		弥生土器(壺・甕・高杯) 磨石 砥石	
関連文献	鈴鹿市教育委員会『南山遺跡・南山6号墳』1991						
No.	51	遺跡名	岸岡山2号墳		台帳番号	207-264	
所在地	鈴鹿市 岸岡山 字 岩ヶ谷2574-3			事業主体	鈴鹿市教育委員会		
調査原因	学術調査			費用負担	鈴鹿市教育委員会※		
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	藤原 秀樹 岡田 雅幸 新田 剛 杉立 正徳			
調査期間	H8. 1. 16 ～H8. 3. 31		調査面積	1,400㎡	保護法関係 文書番号	H7年12月1日付け 教文 第2180号	
遺 跡 の 概 要				主な遺構		主な遺物	
伊勢湾に面する丘陵上に位置する前方後円墳の範囲確認調査。 前方部を海側に向け、全長55mを測る。葺き石はなく、墳丘の遺 存状況も悪い。くびれ部分を中心に円筒埴輪・形象埴輪・須恵器 片が出土した。6世期初頭の築造が考えられる。主体部について は調査中。				○古墳時代 前方後円墳		○古墳時代 円筒埴輪 形象埴輪 須恵器片	
関連文献							
No.	52	遺跡名	亀山城跡		台帳番号	210-200	
所在地	亀山市 東丸町 東丸			事業主体	亀山市		
調査原因	市道拡幅工事			費用負担	亀山市		
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	山口 昌直			
調査期間	H7. 5. 9 ～6. 16		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	H7年1月20日付け 亀教社 第394号	
遺 跡 の 概 要				主な遺構		主な遺物	
棕川右岸の標高約74mの段丘上に位置し、現況は宅地である。 調査区は亀山城北東部の外堀にあたり、平成5年度調査区の西側 隣地に位置する。 調査区内は、戦後の外堀埋め立て時にかなりの攪乱を受けてい たが、調査の結果、亀山城北東部外堀の範囲が確認された。また、 江ヶ室門へ通じるものと思われる土橋状の遺構を確認した。				・外堀 ・土橋状遺構		・瓦 ・近世陶器 ・銭(文久永宝)	
関連文献	亀山市教育委員会『亀山城本丸跡』1992.3						

No.	53	遺跡名	小野遺跡		台帳番号	361-17	
所在地	鈴鹿郡 関町 大字 小野 字 末藤				事業主体	関町	
調査原因	町道小野末藤線新設工事				費用負担	関町	
調査機関	関町教育委員会			担当者	望月 和光		
調査期間	H7. 11. 22 ～12. 7		調査面積	250㎡	保護法関係 文書番号	H8年11月16日付け 第1215号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
関町の東部、小野川と鈴鹿川にはさまれた段丘上に位置する遺物包含地。				年代不明 溝 2条		中世施釉陶器 山茶碗 土師器鍋	
関連文献							
No.	54	遺跡名	山王遺跡（第1次調査）		台帳番号	381-45	
所在地	安芸郡 河芸町 南黒田 字 山王				事業主体	津市土地開発公社	
調査原因	中勢北部サイエンスシティ第1期事業				費用負担	津市土地開発公社	
調査機関	津市教育委員会			担当者	村木 一弥		
調査期間	H7. 11. 21 ～H8. 2. 19		調査面積	1,434㎡	保護法関係 文書番号	H7年10月6日付け 教文 第1859号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
津市との境界に近い丘陵地に立地している。今回の調査区は、もともと小さな谷であったところで、古墳時代から中世の遺物を含む大量の土が堆積していた。今年度はこのうちの上半部の調査を行った。				ピット		庄内式土器（高杯） 土師器 須恵器 灰釉陶器 山茶碗、山皿	
関連文献							
No.	55	遺跡名	宮の裏遺跡		台帳番号	384-575	
所在地	安芸郡 安濃町 大字 内多 字 宮の裏				事業主体	株式会社ツーカーセルラー東海	
調査原因	第1種電気通信事業に供する無線基地局建設事業				費用負担	株式会社ツーカーセルラー東海	
調査機関	安濃町教育委員会			担当者	田中 秀和		
調査期間	H8. 2. 26 ～調査中		調査面積	180㎡	保護法関係 文書番号	H8年1月16日付け 教文 第103号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
安濃川左岸の標高約30mの丘陵上に立地する遺跡である。平成4年に調査した個所の町道を狭んで北西約100mの山林中である。試掘調査の段階で焼土の入った土坑や柱穴などが発見された。						瓦 土師器 須恵器	
関連文献 三重県埋蔵文化財センター『平成4年度三重県埋蔵文化財年報3』1993							

No.	56	遺跡名	大塚西山A遺跡		台帳番号	384-526	
所在地	安芸郡 安濃町 大字 大塚 字 西山				事業主体	安濃町役場建設課	
調査原因	町道戸島栗加線改良工事事業				費用負担	安濃町役場建設課	
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中 秀和		
調査期間	H7. 6. 21 ～8. 3		調査面積	440㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月19日付け 教文 第1109号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>標高55mの径ヶ峰から派生する台地上に立地した遺跡で、周辺には著名な大塚古墳群が近接して存在している。現状は、畑である。</p> <p>町道の予定路線内の遺跡のかかる部分について調査を実施した。調査の結果、弥生時代・江戸時代の遺構を検出した。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○弥生時代 住居跡3棟 溝1条</li> <li>○江戸時代 土坑1基 溝1条</li> <li>○時期不明遺構 土坑・柱穴など</li> </ul>		弥生土器 土師器 瓦 石器剥片 陶器 磁器	
関連文献							
No.	57	遺跡名	倉谷方形台状墓		台帳番号	384-743	
所在地	安芸郡 安濃町 大字 太田 字 倉谷				事業主体	日企不動産有限公司	
調査原因	花の木台団地造成事業				費用負担	日企不動産有限公司	
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中 秀和		
調査期間	H7. 9. 18 ～10. 21		調査面積	620㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月11日付け 教文 第1679号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>安濃川左岸の標高35mの丘陵上に立地する。</p> <p>弥生時代中期ごろの方形台状墓1基、古墳跡1基が検出された。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○弥生時代 方形台状墓1基 木棺直葬14基 土壇墓2基 土器棺5基 溝1条</li> <li>○古墳時代 古墳跡1基</li> </ul>		弥生土器 壺・甕・高杯 勾玉1個 管玉21個 鉄鏃1個 ガラス玉1個 石鏃 石鏃 石鏃 須恵器杯身 円筒埴輪 冴込み形埴輪	
関連文献							
No.	58	遺跡名	ゆふけ遺跡		台帳番号	384-542	
所在地	安芸郡 安濃町 大字 連部 字 ゆふけ				事業主体	安濃町役場農林課	
調査原因	集道20号建設工事事業				費用負担	安濃町役場農林課	
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中 秀和		
調査期間	H7. 11. 6 ～H8. 2. 22		調査面積	1,100㎡	保護法関係 文書番号	H7年10月6日付け 教文 第2002号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>安濃川右岸の標高15mの微高地上にあり、近接して浄土寺米買遺跡、中井・藤が森遺跡・岡南古墳群・浄土寺城・藤が森城などが存在する。</p> <p>縄文時代後期・弥生時代中期後半・古墳時代前期・平安時代・鎌倉時代の複合遺跡であることが判明した。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○縄文時代 竪穴住居2棟 土坑 58基 溝 6条</li> <li>○弥生時代～飛鳥時代 旧河道 1条 古墳時代前期溝1条</li> <li>○平安時代 掘立柱建物跡2棟 溝 10条</li> </ul>		縄文土器深鉢・浅鉢 石皿・すり石・石鏃・石棒 弥生土器壺 土師器碗・高杯 須恵器杯身 瓦器碗 山茶碗・皿	
関連文献 鈴木敏雄『村主村考古誌 考』1929							

No.	59	遺跡名	高畑遺跡（第3次調査）		台帳番号	403-142	
所在地	一志郡 一志町 大字 井生字 高畑				事業主体	株式会社豊田照明	
調査原因	株式会社豊田照明三重工場拡張工事				費用負担	株式会社豊田照明	
調査機関	一志町教育委員会			担当者	伊勢野 久好		
調査期間	H7. 5. 8 ～8. 11		調査面積	1,200㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月20日付け 教文 第824-1号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>当遺跡は、雲出川に沿った段丘縁辺部に位置している。今回の調査地は豊田照明三重工場のすぐ西側にあたる。調査の結果、弥生時代や古墳時代の住居や墓が確認され、集落構造を探る貴重な資料となった。</p> <p>中でも特筆すべきは、横穴式石室の石材を再利用した中世の集石墓が2箇所認められた。これは古墳の外周に一边約1mの大きさの集石墓が10基程連続して築かれたもので、県内で初めての検出例になろう。</p>				<p>○弥生時代            竪穴住居 9棟            方形周溝墓 4基            ○古墳時代            竪穴住居 4棟            横穴式石室 3基            ○中世            集石墓 約20基</p>		<p>縄文土器            弥生土器（壺・甕・高杯）            砥石、スクレーパー            土師器（壺・高杯）            須恵器            鉄製品            山茶碗</p>	
関連文献	<p>一志町教育委員会『高畑古墳発掘調査報告』1982            一志町教育委員会『高畑遺跡発掘調査報告』1987</p>						
No.	60-1	遺跡名	片部遺跡2次調査		台帳番号	405-325	
所在地	一志郡 嬉野町 中川 字 五反田				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気 清章		
調査期間	H6. 11. 21 ～H7. 5. 8		調査面積	6,800㎡	保護法関係 文書番号	H6年10月26日付け 嬉教 第2190号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中川駅東に広がる水田地帯の標高4.5m前後の水田地帯に所在する遺跡である。</p> <p>今回の発掘調査区では、南側調査区で流水路1と導水施設1が確認され、北側調査区と西側調査区では最大10×10m、最小2×4mの小型水田が100面以上確認された。特に、流水路南に伸びる水田跡は五角形を呈するものも存在し水田形態などからみればやや古い要素を持つものである。</p>				<p>導水路1            流水路1            水田約100面            近世土坑1            ビット</p>		<p>古墳時代            ・S字口縁台付き甕            ・ヒサゴ壺            ・大型壺            木製品            溝            杭多数            板材多数            建築材</p>	
関連文献							
No.	60-2	遺跡名	片部遺跡3次調査		台帳番号	405-385	
所在地	一志郡 嬉野町 中川 字 五反田				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気 清章 中西 美賀		
調査期間	H7. 9. 1 ～12. 25		調査面積	2,800㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月10日付け 嬉教 第1611号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>平成5年度に調査を実施した、1次調査の南側に位置する地点の調査区である。</p> <p>前回調査の流水路に連なる水路が1条と東に付属する水路が1条確認された。溝の肩には大型の柱穴が確認されたことから橋が掛けられていたものである。溝内からは弥生後期から古墳時代前期の土器が確認された中に墨書土器が確認された。</p>				<p>大溝4条            溝2条            掘立柱建物1            柱穴            橋状遺構3</p>		<p>古墳時代            ・S字口縁台付き甕            ・ヒサゴ壺            ・大型壺            ・墨書土器            木製品            杭多数            板材多数            建築材</p>	
関連文献							

No.	61	遺跡名	六反田遺跡2次調査			台帳番号	405-386
所在地	一志郡 嬉野町 中川 字 六反田				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気 清章 山口 順也 中西 美賀		
調査期間	H7. 5. 19 ～ 6. 1		調査面積	650㎡	保護法関係 文書番号	H6年10月26日付け 嬉教 第2189号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中川駅西側の低地に所在する遺跡である。平成6年度に実施した1次調査の末調査分であった地域の調査である。</p> <p>北側調査区では、中世（鎌倉時代）の溝跡や柱穴が確認された。調査区の北側で確認された大溝からは縄文時代中期と考えられる土器と大型丸太材が確認された。</p> <p>南側調査区では一色垣内遺跡の前面に広がる湿地帯が確認された。湿地帯からは古墳時代前期の土器から鎌倉時代の山茶碗などが多数出土した。</p>				<p>流水路1（縄文） 流水路1（鎌倉） 溝2（鎌倉） ピット（鎌倉） 湿地帯（古墳～鎌倉）</p>		<p>○古墳時代 S字口縁台付甕 壺 ○奈良時代 土師器杯 ○鎌倉時代 山茶碗 土師器鍋</p>	
関連文献							
No.	62	遺跡名	野田遺跡2次調査			台帳番号	405-181
所在地	一志郡 嬉野町 野田				事業主体	株式会社 グリノーズ	
調査原因	団地造成				費用負担	株式会社 グリノーズ	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気 清章 山口 順也 中西 美賀		
調査期間	H7. 5. 31 ～ 7. 14		調査面積	1,000㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月15日付け 教文 第1029号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>平成3年度に調査した野田遺跡の南に接する部分での調査である。</p> <p>遺跡は標高5m程度の水田地帯に広がる遺跡であり、上層と中層、下層の3層に分けて調査を実施した。</p> <p>上層では古墳時代後期から鎌倉時代の遺構が確認され、調査区の北東部分では奈良時代の竪穴住居が1棟確認された。</p> <p>中層においては、中世の深い遺構の切り込みが存在するものの、古墳時代前期の遺構がわずかに確認された。</p> <p>下層では時期不明の流水が1条確認されたが平成3年度調査結果を考えるならば、弥生時代前期の遺構であろう。</p>				<p>溝3条（鎌倉） 柱穴（奈良～鎌倉） 土坑 竪穴住居1</p>		<p>○弥生時代中期 長頸壺 ○古墳時代 S字口縁台付甕 壺 ○奈良時代 土師器杯 須恵器 ○鎌倉時代 山茶碗 土師器鍋</p>	
関連文献							
No.	63	遺跡名	貝蔵遺跡			台帳番号	405-387
所在地	一志郡 嬉野町 中川 字 五反田				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気 清章 山口 順也		
調査期間	H8. 1. 10 ～		調査面積	6,800㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月10日付け 教文 第1501号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>片部遺跡の西に所在する遺跡で、中世、古墳時代の遺構、遺物が確認されている。</p> <p>東側調査区では、片部遺跡の水路跡の延長が確認され、中央部の調査区では、古墳時代前期の流水路と古墳時代後期の周溝墓が確認されている。</p> <p>現在調査中ではあるが、片部遺跡の流水造営期の集落跡であると考えられる。</p>				<p>大溝2 溝多数 周溝2 掘立柱建物 土坑 中世墓</p>		<p>○古墳時代 受口甕 土師器 ○鎌倉時代 山茶碗 瓦器</p>	
関連文献							



No.	17-3	遺跡名	多気北畠氏遺跡 小田地区			台帳番号	未登録
所在地	一志郡 美杉村 下多気 2777				事業主体	美杉村	
調査原因	消防団詰所兼格納庫建設				費用負担	美杉村	
調査機関	美杉村教育委員会			担当者	宮崎 洋史		
調査期間	H7. 12. 20 ～12. 26		調査面積	80 m <sup>2</sup>	保護法関係 文書番号	H7年11月17日付け 教文 第2258-2号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
掘立柱建物跡と見られる柱跡が10数本確認された。遺物は少量であった。 掘立柱建物1棟と数基の土坑を検出した。土坑は鎌倉時代、建物は室町時代と考えられる。				土坑 掘立柱建物		遺物は少量であるが、中世の頃と思われる土器片が数点見つかった。 土師器(皿・鍋) 山茶碗	
関連文献							
No.	64	遺跡名	皆鍋遺跡			台帳番号	新発見
所在地	松阪市 射和町				事業主体	北栄開発株式会社	
調査原因	宅地造成				費用負担	北栄開発株式会社	
調査機関	松阪市教育委員会 文化スポーツ課			担当者	福田 昭 福田 哲也		
調査期間	H7. 10. 11 ～11. 22		調査面積	2,000m <sup>2</sup>	保護法関係 文書番号	H7年8月10日付け 教文 第1484号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
櫛田川中流左岸の射和集落の外れ、阿波曾町の境の射和池の下に立地しています。試掘調査で土師器等が出土し、本調査を実施したところ溝3条、土坑1を検出し、縄文時代後期の土器片・打製石斧・石匙・石鏃・石錘、弥生時代の土器片・石庖丁・磨製石斧・石槍、古墳時代以降の須恵器・土師器も出土した。				○弥生時代 溝 1条 ○古墳時代 土坑 1基 溝 1条 ○時期不明 暗渠排水溝 1条		縄文土器(後期) 石錘 打製石斧、石匙、石鏃 弥生土器(後期) 石包丁、磨製石斧、石槍 土師器(S字甕、壺) 山茶碗	
関連文献							
No.	65	遺跡名	新田町遺跡			台帳番号	204-320
所在地	松阪市 大黒田町 新田町				事業主体	松阪市建設部都市計画課	
調査原因	都市計画道路松阪駅下徳田線				費用負担	松阪市建設部都市計画課	
調査機関	松阪市教育委員会 文化スポーツ課			担当者	福田 哲也 福田 昭		
調査期間	H7. 5. 17 ～7. 14		調査面積	2,400m <sup>2</sup>	保護法関係 文書番号	H7年4月13日付け 教文 第667号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
阪内川が北流する右岸の自然堤防上の畑地一帯に広がっている。縄文時代前期から鎌倉時代までの集落跡(古墳時代前期の竪穴住居3棟)を検出し、出土遺物としては縄文時代前期の土坑から縄文土器片竪穴住居から土師器、奈良時代の土器焼成坑から土師器がある。				○縄文時代 土坑 4基 ○古墳時代 竪穴住居 3基 土坑 1基 ○奈良時代 土器焼成坑 1基		縄文土器(前期) 石鏃、サスカイト剥片 土師器(古墳時代) 高杯、碗、S字甕 手握ね土器、壺 土師器(奈良時代) 甕	
関連文献 松阪市教育委員会『松阪市史 第2巻』1978							

No.	66	遺跡名	掛橋遺跡 C地区			台帳番号	463-4
所在地	度会郡 小俣町 本町				事業主体	地主	
調査原因	アパート建設				費用負担	地主	
調査機関	小俣町教育委員会			担当者	河瀬 信幸		
調査期間	H7. 7. 25 ～8. 11		調査面積	510㎡	保護法関係 文書番号	H7年6月23日付け 教文 第1372号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
宮川下流右岸の段丘上に位置し、現況は田地である。本町内に 広い範囲で存在する掛橋遺跡の中心部と考えられる箇所を調査した。 弥生時代後期の竪穴住居等が検出され、同時期の土器が相当数 出土した。				○弥生時代 竪穴住居10棟 溝1条		弥生土器 (後期主に寄道期・欠山期)	
関連文献							
No.	67	遺跡名	カリコ遺跡			台帳番号	461-232
所在地	度会郡 玉城町 世古 字 カリコ				事業主体	民間業者	
調査原因	中古車展示場建設				費用負担	同上	
調査機関	玉城町教育委員会			担当者	中世古 憲司		
調査期間	H7. 10. 25 ～12. 27		調査面積	1,050㎡	保護法関係 文書番号	H7年10月19日付け 教文 第1909号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
旧国道23号線沿いの低丘陵上斜面に立地する。9月から10月ま での試掘調査の結果に基づき、約2か月間、本調査を実施した。 奈良時代の土器焼成坑、竪穴住居が検出しさらに旧石器時代の 遺物を検出した。				○奈良時代 土器焼成坑 11基 掘立て柱跡 竪穴住居 5		石器500数点 土器壺など	
関連文献							
No.	68	遺跡名	史跡 田丸城跡			台帳番号	461-414
所在地	度会郡 玉城町 田丸 114-1				事業主体	玉城町教育委員会	
調査原因	玉城中学校体育館建設事業				費用負担	玉城町	
調査機関	玉城町教育委員会			担当者	中世古 憲司		
調査期間	H7. 8. 7 ～8. 23		調査面積	320㎡	保護法関係 文書番号	H7年6月1日付け 教文 第1131-1号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
塀跡と考えられる石列を検出。				塀		赤もの壺 瓦	
関連文献							

No.	69	遺跡名	上ノ山遺跡			台帳番号	461-163
所在地	度会郡 玉城町 勝田 字 上ノ山				事業主体	民間業者	
調査原因	倉庫建設				費用負担	同上	
調査機関	玉城町教育委員会			担当者	中世古 憲司		
調査期間	H7. 5. 10 ～6. 2		調査面積	888㎡	保護法関係 文書番号	H7年4月10日付け 教文 第1022号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>国東山系から北へ派生する標高約35㎡前後のの低丘陵上に立地する。平成3年度にサニー道路建設に先立ち県埋蔵文化財センターが実施した同遺跡の西側を調査した。</p> <p>弥生時代の方形周溝墓、古墳時代の土坑を検出し、出土遺物は、古墳時代の長胴甕が特筆される。</p>				<p>○弥生時代 方形周溝墓 2基 溝 1条</p> <p>○古墳時代 溝(周溝?) 2条 土坑 2</p> <p>○時期不明 溝 3条 土坑 2</p>		<p>土師器 壺、碗、甕 須恵器 杯蓋、杯身、壺 陶器 碗</p>	
関連文献	玉城町教育委員会『上ノ山遺跡発掘調査報告』1995						
No.	70	遺跡名	小社遺跡ウエ松地区			台帳番号	461-272
所在地	度会郡 玉城町 小社曽根 776				事業主体	玉城町	
調査原因	小学校プール建設				費用負担	玉城町	
調査機関	玉城町教育委員会			担当者	中世古 憲司		
調査期間	H8. 1. 25 ～3. 31		調査面積	1,200㎡	保護法関係 文書番号	H7年12月25日付け 教文 第2316号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>小社遺跡は汁谷川左岸の標高約18mの中位段丘上にあり、下外城田小学校を南端にして北へ広がり、約60,000㎡に及ぶ弥生時代後期の大規模な集落があることが予想されてきた遺跡である。</p> <p>当遺跡のウエ松地区は、下外城田小学校周辺にある。昭和30年代に建築されたプールによって多少の遺構の攪乱はあるものの、弥生時代の竪穴住居、鎌倉時代の溝を検出している。</p>				<p>○弥生時代 竪穴住居 4</p> <p>○鎌倉時代 掘立柱跡 溝 4</p>		<p>土師器高杯 土師器壺など 土師器片 山茶碗</p>	
関連文献	玉城町史編纂委員会『三重県 玉城町史 上巻』平成7年3月31日						
No.	71-1	遺跡名	史跡 赤木城跡			台帳番号	563-3
所在地	南牟婁郡 紀和町 赤木				事業主体	紀和町教育委員会	
調査原因	赤木城跡保存整備事業				費用負担	紀和町教育委員会※	
調査機関	紀和町教育委員会			担当者	岩本 直樹		
調査期間	H7. 8. 1 ～12. 19		調査面積	50㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月20日付け 紀和教 第247号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>標高約238mの丘陵頂部に主郭を築き、南東及び南西にのびる尾根上に付属する郭群を配置している。</p> <p>石垣は野面積みで、隅には「横矢掛かり」算木積の工法を用いており、主郭入口は、樹形虎口の形態を成している。</p> <p>調査は、主郭入口の石垣復元を目的としたもので、転落石を残した状態で空中写真測量を行い、その後転落石を除去し実施した。</p> <p>その過程で入口最下部で5段の石段を、中段部で1間×2間の門と考えられる礎石を検出した。</p>				<p>石段 5段 門礎石 1間×2間</p>			
関連文献							

No.	71-2	遺跡名	史跡 赤木城跡 (西村屋敷跡)			台帳番号	563-3
所在地	南牟婁郡 紀和町 赤木				事業主体	紀和町教育委員会	
調査原因	赤木城跡保存整備事業				費用負担	紀和町	
調査機関	紀和町教育委員会			担当者	岩本 直樹		
調査期間	H7. 8. 1 ～10. 19		調査面積	146㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月20日付け 紀和教 第247号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
赤木城への登り口に位置し、上下2段の平坦面で形成される。上段で多数のピットや焼けた土坑を検出した。下段では、遺構、遺物なし。				焼けた土坑5基 土坑2基		施釉陶器 永楽通宝	
関連文献							
No.	72-1	遺跡名	伊賀国府跡 (追越遺跡)			台帳番号	206-938
所在地	上野市 外山 字 追越				事業主体	上野市	
調査原因	市道道路改良工事				費用負担	上野市	
調査機関	上野市遺跡調査会			担当者	福田 典明 増田 博 前川 友秀		
調査期間	H7. 10. 3 ～11.13		調査面積	450㎡	保護法関係 文書番号	H7年8月25日付け 教文 第1806-2号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
柘植川右岸の段丘上に立地する集落跡で、西に接する坂之下地区には伊賀国府が設置されていたことが判明している。外山地区には外山・鷲棚古墳群や勘定塚古墳などの古代豪族の墓が存在するが、調査ではそういった豪族の生活域の遺構と考えられる掘立柱建物群が検出された。				○縄文時代 住居跡 1棟 ○古墳～奈良時代 掘立柱建物 10棟 柱列 7列 溝 4条		縄文土器 土師器 須恵器	
関連文献 三重県埋蔵文化財センター『伊賀国府跡 箕升氏館跡ほか』1993							
No.	72-2	遺跡名	伊賀国府跡 (追越遺跡)			台帳番号	206-938
所在地	上野市 外山 字 追越				事業主体	上野市	
調査原因	農業集落排水事業				費用負担	上野市ほか	
調査機関	上野市遺跡調査会			担当者	福田 典明		
調査期間	H8. 2. 9 ～3. 18		調査面積	210㎡	保護法関係 文書番号	H8年1月5日付け 教文 第238号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
調査区西側で多数のピットを検出するものの時期、性格は不明。調査区中央で幅1mほどの溝を検出し、木製品や完形土師器高杯が出土した。				溝		○古墳時代 高杯 板材	
関連文献							

No.	73	遺跡名	森田遺跡	台帳番号	206-957
所在地	上野市 三田 字 森田			事業主体	社会福祉法人 上野市社会事業協会
調査原因	保育園園舎改築工事			費用負担	事業主
調査機関	上野市遺跡調査会		担当者	増田 博 笠井 賢治 前川 友秀	
調査期間	H7. 8. 24 ~9. 5	調査面積	140㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月19日付け 教文 第1422号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
調査地は柘植川右岸の段丘上に位置する。遺構の時期は、奈良時代と鎌倉時代である。遺物は古墳時代から室町時代のものが出土したが、奈良時代と鎌倉時代が中心である。			掘立柱建物 2棟 柵列 1条 溝 5条 土坑 4基	土師器 須恵器 瓦器 瓦質土器	
関連文献					
No.	74	遺跡名	小芝遺跡	台帳番号	206-963
所在地	上野市 服部町 字 小芝			事業主体	株式会社大栄工業
調査原因	は場整備に伴う道路建設及び砂利採取			費用負担	事業主
調査機関	上野市遺跡調査会		担当者	笠井 賢治 増田 博 前川 友秀	
調査期間	H7. 6. 26 ~8. 8	調査面積	400㎡	保護法関係 文書番号	H7年5月19日付け 教文 第1062号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
調査地は柘植川左岸段丘上に位置する。検出された竪穴住居は5世紀後半のもので、その内3棟からはカマドが検出された。また自然流路からは弥生時代後期の遺物が出土した。遺跡の中心は調査地の南側に広がるものと考えられる。			竪穴住居9棟 溝2条 自然流路	弥生土器(壺・甕) 古墳時代 土師器、壺、甕、高杯、椀 須恵器、杯身	
関連文献 上野市遺跡調査会『小芝遺跡発掘調査報告』1993 上野市遺跡調査会『小芝遺跡発掘調査報告(2次)』1995					
No.	75	遺跡名	下川原遺跡(5次調査)	台帳番号	208-142
所在地	名張市 夏見 字 下川原			事業主体	(株)チェーンストアオークワ 名張ショッピングデパート協同組合
調査原因	店舗用地造成			費用負担	同上
調査機関	名張市遺跡調査会		担当者	門田 了三 橋本 普吉	
調査期間	H9.7~9.13 H7.10.30~H8.1.5 H8.3.1~1ヶ月(予定)	調査面積	3,000㎡	保護法関係 文書番号	H7年7月28日付け 教文 第1424号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
名張川南岸の自然堤防上に位置する縄文時代後期から鎌倉時代までの集落跡。 時代により場所を隔てて作られる。 今回は、自然堤防の最高所に一直線に並ぶ縄文後期の竪穴住居と埋設土器群や拡張した自然堤防に沿って拡大し、群を分けて作られる弥生中期の竪穴住居群や方形周溝墓を検出した。弥生中期の土器は、東海・伊勢湾の特徴の土器が多数見られ伊賀における弥生土器の変遷を考える上で重要である。3月末に調査終了を予定。			○縄文後期 竪穴住居5棟以上 石囲炉をもつ 埋設土器10基以上 ○弥生中期 竪穴住居30棟以上 方形周溝墓2基以上 土坑 溝 ○鎌倉 掘立柱建物	縄文後期の土器 多数 弥生中期の土器 石鏃 石包丁 石斧  注) 遺構遺物の数量については 現在調査中のため、概数である。	
関連文献					

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分試掘調査・工事立会

No.	遺跡名 (台帳番号)	所在地	調査原因 (保護法関係文書番号)	調査面積 (㎡)	調査概要
2 -2	上惣作遺跡 (未登録)	員弁郡北勢町阿下喜 字上惣作	一般国道475号東海環状自 動車道建設 (7.11.1 - 教文2015) 建設省	202	遺構-ピット、溝検出 遺物-飛鳥・奈良時代を中心に須 恵器、土師器数多数出土
76	覚正垣内遺跡 (321-41)	員弁郡北勢町阿下喜 字覚正垣内	一般国道475号東海環状自 動車道建設 (7.11.1 - 教文2037) 建設省	80	遺構-ピット検出 遺物-山茶碗、縄文土器出土
77	権現坂遺跡 (321-43)	員弁郡北勢町宇治田 外面	一般国道475号東海環状自 動車道建設 (7.11.1 - 教文2038) 建設省	128	遺構-ピット検出 遺物-奈良時代中心の須恵器・土 師器
78	今村遺跡 (新発見)	員弁郡北勢町東村字 今村	公害防除特別土地改良事業 (7.10.13 - 教文2063) 県農林水産部	78	土坑・溝・柱穴を検出。土坑から は縄文土器が出土した。その他は 遺物なし。
3 -2	宮山遺跡 (323-1)	員弁郡大安町丹生川 久下 字野添片樋・宮山	一般国道475号東海環状自 動車道建設 (7.4.4 - 教文710) 建設省	147	遺構-溝検出 遺物-土師器片出土
79	富田城跡 (202-322)	四日市市富田4丁目 1-43	四日市高校運動場改修 (7.9.14 - 教文1227) 県教育委員会	15	遺構・遺物なし。 (工事立会)
80	岩の谷遺跡 (202-194)	四日市市河原田町	四日市農芸高校温室建築 (7.5.15 - 教文1409) 県教育委員会	16	遺構・遺物なし。
81	岡山遺跡 日永城跡 (202-182・293)	四日市市日永町岡山	四日市南高校体育館解体 (7.5.15 - 教文1408) 県教育委員会	15	遺構・遺物なし。 (工事立会)
			四日市南高校渡り廊下建築 工事 (7.5.15 - 教文1408) 県教育委員会	32	ピットを検出。遺物なし。
82	(石塔) (登録不要)	四日市市桜西町	国道306号町(四日市菰野B P)国補道路改良事業 ( ) 県土木部	153	遺構・遺構なし。

5 -3	石薬師東遺跡 石薬師東古墳群 (207-727・ 754~778)	鈴鹿市石薬師町字寺 東	三重県消防学校施設・設備 整備事業 (7.3.16 - 教埋173) 県環境安全部	12	柱穴2個、溝1条検出。 円筒埴輪出土。 (工事立会)
				8	柱穴2個検出。 (工事立会)
				5	遺構なし。 埴輪・須恵器・染付陶器出土。 (工事立会)
				100	古墳周溝2基検出。 円筒埴輪・須恵器出土。 (工事立会)
				80	古墳周溝1基・耕作溝検出円筒埴 輪出土。 (工事立会)
				40	柱穴1個・溝1条検出。 土師器出土。 (工事立会)
				10	溝数条検出。遺物なし。 (工事立会)
83	津賀2号墳ほか (207-420)	鈴鹿市津賀町南山	一般地方道刃法寺加佐登停 車場国補道路改良事業 (7.6.12 - 教文1457) 県土木部	220	津賀2号墳は径約20mnの円墳。 土坑・溝・ピットを確認。ピット は掘立柱建物の可能性がある。土 師器鍋等出土。事業地内遺跡範囲 約2900㎡。要試掘部分あり。
84	仮・門山遺跡 ( ) (登録不要)	鈴鹿市平野町	一般地方道平野亀山線県単 道路改良事業 ( ) 県土木部	184	土師器・陶器片が若干出土したが、 遺構なし。
85	沖屋敷遺跡 (210-217)	亀山市安坂山町	一般地方道亀山停車場石水 浜線国補交安工事 (7.11.9 - 教文2216) 県土木部	24	山茶碗小片が若干出土したが、遺 構なし。
86	西尾B遺跡 (210-193)	亀山市刃法寺町字高 津場	広域営農団地農道整備事業 (北勢南部地区) (7.11.7 - 教埋520) 県農林水産部	28	遺構・遺物なし。
87	白木城跡 (210-122)	亀山市下白木	主要地方道四日市関線地方 特定道路整備事業 ( ) 県土木部	36	城跡対岸の段丘上。遺構・遺構な し。

88	高塚遺跡 (新発見)	亀山市布気町	総合公園亀山サンシャイン パーク仮設道路建設 ( ) 県土木部	20	遺跡近接地の仮設道路建設の立会い。遺構・遺物なし。遺跡は緑地保存。 (工事立会)
89	砂原野遺跡 (210-257)	亀山市天神町	主要地方道亀山白山線国補 交通安全対策事業 (7.12.25 - 教文2331) 県土木部	18	須恵器等の小片が若干出土したが、 遺構なし。
90	関宿関連遺跡 (登録不要)	鈴鹿郡関町新所	主要地方道四日市関線県単 交安1種事業 ( ) 県土木部	24	遺構・遺構なし。
91	今堀遺跡 (新発見)	鈴鹿郡関町白木一色	主要地方道四日市関線県単 道路改良事業 ( ) 県土木部	35	土師器等の小片が若干出土したが、 遺構なし。要試掘部分あり。
92	北山端遺跡 (旧称上浜町 六丁目遺跡)	津市上浜町六丁目	博物館建設事業 ( . . -759)	85	人工と思われる土壇、平垣面あり。
93	ヲノ坪遺跡 (旧称オノ坪 遺跡)	津市一身田上津部田 字ヲノ坪	博物館建設事業 ( . . -759)		土塁、溝を確認。 弥生土器、須恵器、埴輪。
14 -2	蔵田遺跡 (201-575)	津市北河路町	一般国道23号中勢道路建設 事業 (7.3.16 - 教埋204) 建設省	192	本年度調査区南側を試掘調査。ピット、溝等を検出、遺跡の広がりを確認。 約3,600㎡の調査が必要である。
94	安濃津都市遺跡 ( )	津市柳山津興1239	津実業高校総合実習棟・体 育館造成 ( . . ) 県教育委員会	48	中世のピット・土坑 土師器・陶器
95	雲林院城跡 (382-23)	安芸郡芸濃町雲林院	安濃川水系風呂の谷川国補 通常荒廃砂防工事 (7.4.28 - 教文1152) 県土木部	84	遺構・遺構なし。
96	市場遺跡 尺ヶ寺遺跡 (213-20)	久居市榊原町市場	災長野川災害復旧助成事業 ほか (8.1.4 - 教文37) 県土木部	112	土坑・溝・ピットを検出。 中世の土師器・陶器片が出土。事業地内遺跡範囲1100㎡。
97	谷杣A遺跡 (登録不要)	久居市榊原町字上山	県営ほ場整備事業 ( . . - ) 県農林水産部	約 60	遺構なし近世の陶磁器



98	寺野遺跡 (登録不要)	久居市榑原町字寺野	県営ほ場整備事業 (榑原地区) ( . . . ) 県農林水産部	240	遺構なし。土器少量出土。
99	佐田遺跡 (旧称永田前 遺跡) (未登録)	一志郡白山町佐田字 垣外・永田前	主要地方道亀山白山線県営 道路改良事業 (8.1.12 - 教文338) 県土木部	117	ピット、土坑を確認。 土師器片、瓦片出土
100	上野遺跡 (403-7)	一志郡一志町高野	中勢水道事務所築造工事 (7.9.22 - 教文2011) 県企業庁	309	全面的に削平・攪乱される。溝状 遺構あり。土器小片が出土。事業 地内の要立会範囲400㎡。
15 -2	堀田遺跡 (405-224)	一志郡嬉野町宮古字 堀田	県営土地改良総合整備事業 (7.10.20 - 教文2215) 県農林水産部	301.5	中世の包含層を確認 飛鳥～奈良時代の瓦が出土
101	天花寺廃寺 (405-6)	一志郡嬉野町天花寺 字堀田			
102	里前遺跡 (405-298)	一志郡嬉野町天花寺 字里前			
103	島田遺跡 (405-19)	一志郡嬉野町島田字 横道	県営土地改良総合整備事業 (7.11.17 - 教文2310) 県農林水産部	200	若干の中世遺物が確認されたもの の、遺構は確認できなかった。
104	上野垣内遺跡 (405-235)	一志郡嬉野町島田字 上野垣内			
105	清水谷遺跡 (405-280)	一志郡嬉野町天花寺 字清水谷	主要地方道松阪一志地方 特定道路整備事業 (8.11.16 - 教文2341) 県土木部	約 32	古墳周溝を検出
106	北瀬古遺跡 (405-93)	一志郡嬉野町天花寺	主要地方道松阪一志地方 特定道路整備事業 (7.9.14 - 教文2010) 県土木部	160	溝・土坑・ピットを検出。 弥生土器・古墳～奈良時代の須恵 器・土師器、中世の土師器・山茶 碗が出土。さらに、下層で古墳時 代の旧流路を確認。事業地内遺跡 範囲10000㎡。要試掘部分あり
16 -2	天花寺廃寺 (405-90)	一志郡嬉野町天花寺 字堀田		300	五輪塔 下層:弥生
107	薬師寺北裏遺跡 (405-10)	一志郡嬉野町一志	主要地方道松阪一志地方 特定道路整備事業 (7.11.17 - 教文2318) 県土木部	80	土坑・溝・ピットを検出。 古墳～奈良時代の須恵器・瓦、中 世の土師器・陶器片が出土。事業 地内遺跡範囲500㎡。
108	松本遺跡 ( )	一志郡嬉野町川北字 松本	中勢沿岸流域下水道(松阪 処理区)白山幹線中川ポン プ場建設事業 (8.1.4 - 教文242) 県土木部	63	ピット、流路を確認

109	八田遺跡 (405-20)	一志郡嬉野町八田	県営土地改良総合整備事業 (7.11.17 - 教文2335) 県農林水産部	約 36	遺構なし13世紀の山茶碗
110	大垣内遺跡 (405-378)	一志郡嬉野町森本字 大垣内	県営ほ場整備事業 (7.12.27 - 教文2337) 県農林水産部	約 36	時期不明のピット、焼土 縄文土器、中世土師器
111	前田町屋遺跡 (新発見)	一志郡三雲町星合	県道改良 (8.2.7 - 教埋120) 県土木部	約 60	15世紀を中心とした中世集落 遺 物多量
112	大明神遺跡 (新発見)			約42	奈良時代の遺構・遺物 中世も若干含む
113	筋違遺跡 (407-285)	一志郡三雲町西肥留	中勢流域下水道白山幹線 (10・11工区) ( . . . ) 県土木部	56	遺跡近接地の下水道縦孔掘削の立 会い。須恵器・土師器片が若干出 土したが、遺構なし。 (工事立会)
114	宮ノ腰遺跡 (新発見)	一志郡三雲町上之庄	主要地方道松阪久居線緊急 地方道路整備事業 (7.10.12 - 教文2260) 県土木部	218	掘立柱建物・溝を検出。弥生土器・ 中世の土師器・陶器片が出土。事 業地内遺跡範囲2300㎡。周知の文 殊遺跡に該当するか。
115	北出遺跡 (新発見)			土坑・溝・ピットを検出。 中世の土師器・山茶碗・青磁片が 出土。事業地内遺跡範囲2300㎡。	
116	前垣内遺跡 ( )	一志郡美杉村竹原	県道改良 (8.2.2 - 教文2340) 県土木部	約 12	遺構なし
117	中ノ川原遺跡 (旧称茶屋前遺 跡)	松阪市八重田町字中 ノ川原	堀坂川小規模河川改修事業 (8.2.13 - 教埋-123) 県土木部	32	土坑・ピットを検出し、包含層か ら古墳時代の須恵器杯蓋片や奈良 時代の土師器片が出土した。
118	石碑・常夜燈	松阪市井村町	県道辻原西町線県単道路改 良 ( ) 県土木部	3	「大日」銘の石碑2基・常夜燈1 基の移設。石碑等の下に遺構・遺 物なし。 (工事立会い)
119	北浦遺跡 (登録不要)	松阪市清水町字北浦	県営ほ場整備事業 (櫛田地区) ( ) 県農林水産部	284	遺構なし。旧河道の自然堤防に立 地。氾濫による短期間の堆積に遺 物混入。
120	東浦遺跡 (登録不要)	松阪市清水町字東浦	県営ほ場整備事業 (櫛田地区) ( ) 県農林水産部	32	遺構なし。旧河道の自然堤防に立 地。氾濫による短期間の堆積に遺 物混入。

121	銭掛松遺跡 (登録不要)	松阪市清水町字銭掛松	県営ほ場整備事業 (櫛田地区) ( ) 県農林水産部	88	遺構なし。旧河道の自然堤防に立地。氾濫による短期間の堆積に遺物混入。
122	雨寺遺跡 (新発見)	松阪市櫛田町字雨寺	県営ほ場整備事業 (櫛田地区) (7.9.22 - 教文2308) 県農林水産部	216	溝、土坑、旧河道を検出。土師器甕・土錘・須恵器甕・白磁・山茶碗出土。平安末から鎌倉時代。
123	奥ノ垣内遺跡 (新発見)	松阪市櫛田町字奥ノ垣内		304	溝、土坑、旧河道を検出。弥生中期の甕の他、土師器の甕・鍋、山茶碗等、中世を中心とした遺物出土。
124	西垣内遺跡 (新発見)	松阪市櫛田町字西垣内		24	溝、土坑を検出。土師器甕出土(中世)
125	中の坊遺跡 (204-346)	松阪市目田町字中の坊	県営ほ場整備事業 (漕代地区) (8.2.1 - 教埋112) 県農林水産部	64	6世紀中頃と中世の遺構、弥生～古墳前期の包含層を確認
126	池ノ田遺跡 (登録不要)	松阪市稲木町字池ノ垣内	県営ほ場整備事業 (漕代地区) (8.10.27 - 教文2264) 県農林水産部	64	遺構なし。土器少量出土。
127	保山垣外遺跡 (登録不要)	松阪市稲木町字保山垣外		120	遺構なし。土器少量出土。
128	田垣外遺跡 (新発見)	松阪市稲木町字田垣外		40	ピット・土坑。室町時代の土師器出土。事業地内800㎡が遺跡。
129	外揚遺跡 (新発見)	松阪市稲木町字外揚		464	ピット・土坑。平安時代の土師器出土。事業地内2,800㎡が遺跡。
130	安田遺跡 (新発見)	松阪市稲木町字安田			土坑。平安時代末～鎌倉時代の土師器出土。事業地内1,200㎡が遺跡。
131	風呂屋垣外遺跡 (新発見)	松阪市稲木町字風呂屋垣外			古墳時代・平安時代末～鎌倉時代の土器出土。事業地内2,300㎡が遺跡。
132	古垣内遺跡 (新発見)	松阪市稲木町字古垣内		208	土坑。飛鳥時代・中世の土器出土。事業地内3,300㎡が遺跡。
133	忽作遺跡 (登録不要)	松阪市稲木町字忽作	県営ほ場整備事業 (漕代地区) ( . . - ) 県農林水産部	48	若干の遺物は出土したが流れ込みと判断する。遺構はなし。
134	植ノ山遺跡 (登録不要)	松阪市伊勢場・稲木町	県営ほ場整備事業 (漕代地区) ( . . - ) 県農林水産部	176	遺構なし。土器少量出土。
135	仮：宮東遺跡 (登録不要)	松阪市伊勢場町字宮東	県営ほ場整備事業 (漕代地区) ( . . - ) 県農林水産部	64	包含層より、土師器片が出土したが2次堆積とみる。遺構はなし。

136	三昧後遺跡 (204-658)	松阪市伊勢場町字三昧後	県営ほ場整備事業 (漕代地区) (8.2.1 - 教埋103) 県農林水産部	248	試掘坑No.1からは中世土師器碗、鉄製品等が出土。他に炭化材等も出土した。その周辺500㎡を遺跡と判断した。
137	折坂遺跡 (登録不要)	松阪市伊勢場町字折坂	県営ほ場整備事業 (漕代地区) ( . . . ) 農林水産部	256	遺構・遺物なし
138	世間山遺跡 (登録不要)	松阪市横地町字世間山	県営ほ場整備事業 (漕代地区) ( . . . ) 県農林水産部	176	遺構・遺物なし
139	山添遺跡 (204-352)	松阪市山添町	県営ふるさと農道整備事業 (上川地区) (7.10.23 - 教文2261) 県農林水産部	24	ピット。平安時代と中世の土師器出土。事業地内300㎡が遺跡。
140	須田遺跡 (204-241)	松阪市山添町	県営ふるさと農道整備事業 (松阪明和地区) (7.11.20 - 教埋654) 県農林水産部	20	遺跡の縁辺部が事業地。遺構なし。土器少量出土。
141	中島遺跡 (登録不要)	松阪市山添町		44	遺構・遺物なし。
142	小林遺跡 (新発見)	飯南郡飯南町粥見 (旧・北出遺跡A地区)	一般国道368号粥見バイパス国補道路改良事業 (7.5.12 - 教文1394) 県土木部	232	溝・ピットを検出。中世の土師器・陶器が出土。事業地内遺跡範囲650㎡。
143	井尻遺跡 (新発見)				土坑・ピットを検出。楔形石器・チャート剥片等出土。事業地内遺跡範囲1900㎡
144	申山C遺跡 (442-309)	多気郡明和町山大淀	松阪伊勢自転車道建設 ( . . . - 教埋) 県土木部	24	遺構・遺物なし。要試掘部分あり。
145	角垣内遺跡 (新発見)	多気郡明和町蓑村字角垣内	県営ほ場整備事業 (明星地区) (7.10.20 - 教文2262) 県農林水産部	28	ピット・土坑・溝。平安時代・中世の土師器出土。事業地内2,700㎡が遺跡。
146	上ノ垣外遺跡 (441-276)	多気郡多気町相可字 梅ノ世古・東浦	国道42号松阪・多気バイパス建設 (8.1.31 - 教文-300) 建設省	48	中世の溝を検出。弥生土器中世陶器出土。
147	新徳寺遺跡 (441-145)	多気郡多気町荒蒔字 前出・九十九戸	国道42号松阪・多気バイパス建設 (8.1.31 - 教文299) 建設省	48	遺構なし。中世の土師器細片出土。
148	二ノ久保遺跡 (登録不要)	多気郡多気町四疋田 字二ノ久保	県営ほ場整備事業 (四疋田地区) ( . . . ) 県農林水産部	256	遺構なし。土器少量出土。

149	川ノ上遺跡 (441-119)	多気郡多気町牧字川ノ上	畜産経営環境整備事業 (多気勢和地区) (7.10.26 - 教文2263) 県農林水産部	44㎡	ピット。遺物なし。事業地内1,500㎡が遺跡。
150	宇治垣内遺跡 (新発見)	多気郡多気町相鹿瀬	一般地方道相鹿瀬大台線地方特定道路整備事業 (7.9.1 - 教文1873) 県土木部	64	土坑・ピットを検出。中世の土師器片が出土。事業地内遺跡範囲1200㎡。
151	茶屋ノ広遺跡 (444-45)	多気郡勢和村色太	一般国道368号国補道路改良事業 (7.10.5 - 教文2127) 県土木部	17	遺構・遺構なし。近接地の事業地内の要立会範囲400㎡。
152	大間広B遺跡 (444-46)	多気郡勢和村色太	一般国道368号国補道路改良事業 (7.9.29 - 教文2133) 県土木部	52	土師器等の小片が若干出土したが、遺構なし。
153	森の上遺跡 (新発見)	多気郡大台町柳原	一般県道相鹿瀬大台線県単道路改良工事 (7.12.27 - 教文2332) 県土木部	40	中世の遺構・遺物を確認した。
154	茂原遺跡 (445-5)	多気郡宮川村茂原	県学園高校運動場・テニスコート改修工事 県教育委員会	23	改修工事の立会い。遺構・遺物なし。 (工事立会)
155	湯後遺跡 (旧・小滝遺跡) (445-17)	多気郡宮川村小滝	国道422号国補交安1種事業 (7.10.5 - 教文2157) 県土木部	31	ピットを検出。チャート剥片・土師器片が出土。事業地内遺跡範囲350㎡。
156	里中遺跡 (2次調査)	度会郡御園村長屋字里中	県営ふるさと農道事業 (御園地区) ( ) 県農林水産部	24	遺構・遺物なし
157	高向遺跡 (468-1)	度会郡御園町高向	県道大湊宮町停車場国補道路改良事業 ( ) 県土木部	88	土師器等の小片が若干出土したが、遺構なし。
158	シンゲ池遺跡 (442-649)	度会郡玉城町長更	大仏山施設国補公園施設工事 (7.4.20 - 教埋334) 県土木部	104	山茶碗小片が若干出土したが、遺構なし。
159	研山遺跡 (470-55)	度会郡度会町長原	県営ほ場整備事業 (中川地区) (8.1.4 - 教文275) 県農林水産部	約 310	ピット・土坑を検出。土師器皿・甕、青磁碗、山茶碗等が出土。
160	野田遺跡 (新発見)				
161	森ノ前遺跡 (旧仮称野原遺跡)	度会郡大宮町野原	伊勢大宮線緊道(A)改良工事 ( ) 県土木部	36	遺構・遺物なし

162	竹ノ鼻遺跡 (新発見)	度会郡大宮町永会	国補通常砂防 (杉谷川) ( ) 県土木部	20	遺物・遺構なし
163	上出遺跡 (新発見)	度会郡大宮町永会	南島大宮大台線県単道路改 良工事 ( ) 県土木部	20	遺構・遺物なし
164	畑坂遺跡 (登録不要)	上野市高山	滝川ダム小規模生活ダム建 設工事 ( ) 県土木部	56	土師器小片が若干出土したが、遺 構なし。
165 -1	山神寄建神社古 墳 (206-41)	上野市山神字東出	県営ほ場整備事業 (上野北部地区) (7.11.17 - 教文2309) 県農林水産部	32	周溝は確認できず。
166	地藏川古墳群 (新発見)	上野市比自岐字地藏 川	広域農道事業 (伊賀第3期地区) ( . . . ) 県農林水産部	11	円墳2基確認。 1号墳直径約14m、高さ 0.7~1.5m 幅約1mの周溝 2号墳直径約15m、高さ 0.7~2.0m
167	地藏川遺跡 (登録不要)	上野市比自岐字地藏 川		40	遺構なし。耕作土に中世土師器片 の混入が認められる
168	石原古墳群 (登録不要)	上野市比自岐字石原		7	1・2号墳を調査。ともに自然地 形と確認。石原1号墳は、『上野 市南部都市開発区域埋蔵文化財第 一次調査報告』上野市昭和53年 におけるb 869で、名称は〔比4-760 303-5〕である。
169	道垣内遺跡 (登録不要)	阿山郡伊賀町下柘植 字道垣内	県営ほ場整備事業 (柘植川沿岸) (7.11.17教埋655) 県農林水産部	344	遺構なし。耕作土に中世陶器、土 師器、須恵器が見られる。
170	伊賀高校遺跡 (481-207)	阿山郡伊賀町川東	伊賀高校用地造成工事 (7.5.23 - 教文1456) 県教育委員会	56	溝・ピットを検出。古墳時代の土 師器・須恵器・木製品、中世の土 師器・瓦器・陶器が出土。事業地 内遺跡範囲3200㎡。
171	仮：浜井場遺跡 (登録不要)	名賀郡青山町勝地字 浜井場	県営ほ場整備事業 (7.11.2 - 教埋553) 県農林水産部	72	土師器片、瓦器片、近世陶器片出 土。遺構なし。
172	仮・羽根遺跡	名賀郡青山町阿保字 東出、花代ほか	川上ダム建設用工事用道路 建設 (8.1.31 - 教文339) 水資源開発公団	656	広大な遺物散布地を調査。 本調査の必要な面積は7遺跡6,45 0㎡と判明。

各市町村担当分試掘調査・工事立会

No.	遺跡名 (台帳番号)	所在地	調査原因 (保護法関係文書番号)	調査面積 (㎡)	調査概要
173	中野遺跡 (205-133)	桑名市大字江場字中野	マンション建設 (7.12.28 - 教文2334) 事業者	90	遺構検出されず。 近世陶磁出土。
174	西谷遺跡 (205-124)	桑名市東金井字西谷	老人ホーム建設 (7.12.28 - 教文2330-2) 事業者	100	遺構検出されず。 弥生土器・山茶碗等少量出土。
175	照光寺遺跡 (323-29)	員弁郡大安町石樽南 字前林	工業団地造成 ( . . . ) 大安町	216	遺構なし。縄文土器少量出土
176	前山遺跡 (202-139)	四日市市松本三丁目 396・397	共同住宅建設 (7.7.17 - 教文1674) 開発者	約 20	遺構・遺物ともに確認されなかつた。
43 -2	赤堀城跡 (202-290)	四日市市城西町309-1	共同住宅建設 (7.10.11 - 教文1925) 開発者	約 80	遺構・遺物とも確認されなかつた。
177	公事出遺跡 (202-502)	四日市市西村町 字東前 字公事出 字東浦	ほ場整備事業 (8.2.28 - 教文365) 四日市市	約 400	奈良時代後期～中世の集落竪穴住居・掘立柱建物・溝土坑等検出。 土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・陶器等出土。
178	公事出古墳 (202-546)	四日市市西村町字東浦	ほ場整備事業 (8.2.28 - 教文362) 四日市市	約 50	墳丘はかなり削平されていた。周溝?から土師器・須恵器(フラスコ形壺)出土7世紀前半か。
179	須賀遺跡 (207-166)	鈴鹿市須賀一丁目	個人住宅 (7.3.22-鈴教文352) 鈴鹿市※	11.8	奈良時代。 土壌、ピットを検出。
		鈴鹿市須賀一丁目	個人住宅 (8.1.8 - 教文267) 鈴鹿市※	5.5	遺構・遺物なし。
180	仮・若松西5丁目遺跡 (登録不要)	鈴鹿市若松西 5丁目481-1	宅地造成 ( . . . ) 鈴鹿市※	10	遺構・遺物なし。
181	国分北遺跡 (207-536)	鈴鹿市国分町	個人住宅 (7.4.12-鈴教文72) 鈴鹿市※	9.7	近世溝検出。
			個人住宅 (7.5.12 - 教文1165) 鈴鹿市※	8.8	遺構・遺物なし。
			個人住宅 (7.5.12 - 教文1351) 鈴鹿市※	3.4	遺構・遺物なし。
		鈴鹿市国分町広神戸	個人住宅 (8.2.20-鈴教文534) 鈴鹿市※	8.6	遺構・遺物なし。

182	上箕田遺跡 (207-164)	鈴鹿市上箕田町	個人住宅 (7.6.12 - 教文1167) 鈴鹿市※	42.6	弥生土器。 遺構なし。
183	仮・津賀ニツ辻 遺跡 (登録不要)	鈴鹿市津賀町 ニツ辻69	土地改良 ( . . . - ) 鈴鹿市※	21.0	遺構・遺物なし。
184	山ノ原遺跡 (207-532)	鈴鹿市上田町桐棒	個人住宅 (7.5.10 - 教文1164) 鈴鹿市※	18.4	遺構・遺物なし。
185	起A遺跡 (207-713)	鈴鹿市飯野寺家町 起	個人住宅 (7.6.6 - 教文1354) 鈴鹿市※	19	土坑。遺物なし。
186	山越知南遺跡 (207-587)	鈴鹿市郡山町谷端	農業用倉庫 (7.9.29 - 教文2017) 鈴鹿市※	11	遺構・遺物なし。
187	染野遺跡 (207-593)	鈴鹿市郡山町塚腰	住宅兼作業場 (7.9.4 - 教文1901) 鈴鹿市※	4.8	溝。須恵器、土師器出土。
188	岡田神社遺跡 (未登録)	鈴鹿市岡田	個人住宅 (7.10.2 - 教文2116) 鈴鹿市※	9	遺構・遺物なし。
189	岩ヶ谷遺跡 (207-810)	鈴鹿市平野町	個人住宅 (7.12.4 - 教文2324) 鈴鹿市※	7.8	遺構・遺物なし。
190	仮・江島高塚遺 跡 (登録不要)	鈴鹿市江島町高塚 528-1	宅地造成 ( . . . - ) 鈴鹿市※	15	遺構・遺物なし。
191	西ノ城戸A遺跡 (207-922)	鈴鹿市国府町番場	個人住宅 (7.4.14 - 教文702) 鈴鹿市	7	須恵器。遺構なし。
192	国分遺跡 -1 (207-838)	鈴鹿市国分町1319-1	消防倉庫 (7.5.10 - 教文1166) 原因者	15.1	土坑。
193	天王遺跡 (207-873)	鈴鹿市岸岡町589-2	病院福利厚生施設 (7.9.14 - 教文1902) 原因者	19.1	溝。土師器出土。
192	国分遺跡 -2 (尼寺跡)	鈴鹿市国分町	個人住宅 (7.4.25 - 教文1093) 鈴鹿市※	14	土坑、溝、ピット 瓦、須恵器出土
194	仮・能褒野古墳 群周辺遺跡 (登録不要)	亀山市田村町女ヶ坂	公園整備事業 (7.6.29 - 教文1262-2) 亀山市	48	遺構・遺物なし。
195	専修寺庭園	津市一身田町字高田 2840	納骨堂建設 (7.7.18 - 教文1314) 事業者	315	庭園の池とみられる落ち込みのほ か多数の溝を確認した。



196	下八知古墳 (201-673)	津市大里小野田町字 下八知922-1	中勢北部サイエンスシティ 第1期事業 (7.10.6 - 教文1859) 津市土地開発公社	8	自然地形
197	石切山遺跡 (未登録)	津市高野尾町字石切 山ほか	農村基盤整備 (7.10.31 - 教文1969) 津市	270	ピット、土坑、溝、中世墳墓状遺構、陥し穴状遺構を検出。 土師器、須恵器等少量出土
198	仮・下川原遺跡	安芸郡安濃町内多字 下川原	宅地造成 ( . . . - ) 三重県労働者住宅生活共同組合	160	土師器、瓦破片 近世～近代井戸1基。 その他遺構なし。
199	仮・葉紅田遺跡	安芸郡安濃町草生字 葉紅田	農村総合モデル事業 ( . . . - ) 安濃町	16	山茶碗、土師器破片が出土するも 明確な遺構なし。
200	宮城遺跡 (384-513)	安芸郡安濃町太田字 宮城	農村総合モデル(集落排水) ( . . . - ) 安濃町	12	縄文土器片が出土するも明確な遺構なし。 遺跡の範囲外
201	浄土寺南遺跡 (384-543)  遺跡の範囲外	安芸郡安濃町大字土 寺・妙法寺	農業集落排水緊急整備事業 ( . . . - ) 安濃町	18	土師器、須恵器、山茶碗破片出土 するも明確な遺構なし。
202	小ブケ遺跡 (384-618)	安芸郡安濃町大字内 多字小ブケ	町道内多・清水線改良工事 (8.3.12 - 教文409) 安濃町	8	杭、土師器出土するも明確な遺構 なし。
203	初尾遺跡 (213-219)	久居市木造町字初尾	県営一般農道整備事業 ( . . . - ) 県農林水産部	2,000	6ヶ所のトレンチを設定いづれも 遺構・遺物は発見されなかった。
204	なめんだら遺跡 (213-220)	久居市木造町 字なめんだら			
205	旧射和寺境内 (『射和寺文書』 に記載)	松阪市射和町	収蔵庫建設 ( . . . - )	25	・一部に整地層らしいものを確認 ・礎石は検出されず ・近世以降の攪乱
206	真福寺境内	松阪市下蛸路町	収蔵庫建設 ( . . . - )	25	遺構・遺物なし。
207	松阪城石垣	松阪市殿町	石垣修復 ( . . . - )		戦後修復された石垣を復元するた めきたい丸付近の立会をし隅櫓に 続く階段を検出。
208	鳥墓遺跡 (442-339)	多気郡明和町大字蓑 村字鳥墓807外12筆	ガソリンスタンド敷地造成 工事 ( . . . - 明教斎172) 明和町・事業者	83	事業地内においては後世の開墾に より削平を受けていた。遺物は薄 い包含層から若干出土したが遺構 は特に確認されなかった。
209	金剛坂遺跡 (442-36)	多気郡明和町 大字金剛坂坂垣外 909外4筆	宅地造成工事 ( . . . - 明教斎173) 明和町・事業者	80	昭和40年ごろまで建っていた病院。 解体の際にかなり全面的に攪乱を 受けていた。 土師器、須恵器、陶器が出土。
210	山之庵跡 (442-504)		( . . . - 明教斎174)		

211	東垣外古墳群	多気郡明和町 大字坂本1225の4 外4筆	宅地造成工事 ( . . - 明教斎176 ) 明和町・事業者	96	周溝と考えられる溝を検出現在調査中。
212	坂本1号墳 (442-3)	多気郡明和町 大字坂本字西垣外	個人の開墾 ( . . - ) 明和町	596	現在調査中。(測量)
213	明気古窯址 (441-196)	多気郡多気町大字相 可字明気1508-1他	土砂採取 (8.2.13 - 教文334) 事業者	約 160	平成4年度県埋蔵文化財センター により発掘調査。 (今回は上部を調査) H8.3.15～試掘予定。
214	遺跡隣接町道用地	多気郡多気町 大字三疋田 字太陽園他	道路建設 (8.2.17 - 教文335) 多気町	約 112	表採調査により須恵器、山茶碗片 数点を確認。 H8.3.17～試掘予定。
215	東山遺跡 (203-139)	伊勢市東大淀町 字東山33-1	食品工場建設 ( . . - ) 事業者	80	遺構・出土遺物なし
216	仮・川西遺跡 (登録不要)	伊勢市上地町字川西 3113-1他	大型スーパー建設 ( . . - ) 事業者	240	遺構・出土遺物なし
217	山神城跡 (461-209)	度会郡玉城町積良字 一ノ木1001ほか 6筆	送電線建設 (7.11.25 - 教文2315) 事業者	96	遺構・遺物なし。
218	風呂山遺跡 (461-205)	度会郡玉城町原字風 呂山2835ほか	老人健康施設建設 (7.12.8 - 教文2273) 事業者	24	遺構・遺物なし。
219	阿津里貝塚 (523-21)	志摩郡志摩町越賀 2249-4	国道260号線と町道阿津里 線交差点工事 (7.7.25 - 教文1522) 事業者	357.54	弥生土器片、土師器片、須恵器片、 獣骨片、魚骨片貝殻類出土。
220	新寺遺跡 (206-356)	上野市服部町字新寺	市道舗装新設工事 (7.2.20-上遺12-1) 上野市	32	瓦器を含む溝を検出
221	上野城跡 (206-358)	上野市丸之内	小学校新築 (7.4.25 - 教文821-2) 上野市	255	内堀の石垣を検出。 8年発掘調査。
222	鳥ヶ峰遺跡 (206-387)	上野市下友生 字鳥ヶ峰	宅地造成 (7.5.18 - 教文1104-2) 事業者	20	構と柱穴を検出。遺跡の中心は前 回の調査地。
223	雨田久保古窯 (206-5)	上野市朝屋字西浦	工場取付工事 (7.6.28 - 教文1421) 事業者	9	灰原のとぎれたところあるいは削 平済か。法面には土器の散布あり。
224	城之越遺跡 (206-1130)	上野市比土字城之越	市道舗装新設 (7.8.25 - 教文1806-1) 上野市	40.5	遺構なし。
165 -2	山神寄建神社古 墳 (206-41)	上野市山神字東出	墓地整備 (7.9.28 - 教文1918) 事業者	36	古墳の墳丘裾部および周溝の一部 を検出。円墳については墓地整備 から除外する

225	才良遺跡 (206-152)	上野市才良	市道舗装新設 (7.11.6 - 教文2138) 上野市	27	溝1条。瓦器出土。
226	高野遺跡 (206-941)	上野市佐那具町	倉庫建設 (8.1.19 - 教文286) 事業者	80	遺構・遺物なし。
227	山神遺跡 (206-244)	上野市菖蒲池	農業集落排水事業 (8.2.8 - 教文237) 上野市ほか	100	遺構・遺物なし。 (工事立会)
228	長福寺跡 (206-245)				
229	中原氏宅跡 (206-261)	上野市東谷字宝谷	農業集落排水事業 (7.10.26 - 教文2005) 上野市ほか	160	遺構・遺物なし。 (工事立会)
230	慶生寺跡 (206-256)	上野市鍛冶屋字奥吉田			
231	松田氏宅跡 (206-258)	上野市蔵縄手湯屋谷	農業集落排水事業 (7.7.19 - 教文1343) 上野市ほか	156	遺構・遺物なし。 (工事立会)
232	高澤氏宅跡 (206-259)				
233	田仏城跡 (206-490)				
234	石原遺跡 (206-824)				
235	綾之森遺跡 (206-638)	上野市外山・東条 ・西条	農業集落排水事業 (7.12.22 - 教文2313) 上野市ほか	800	遺構・遺物なし。 (工事立会)
236	大坪遺跡 (206-927)				
237	屋敷の下遺跡 (206-939)				
238	倉田氏館跡 (206-513)				
239	松本氏館跡 (206-510)				
240	宮川氏館跡 (206-509)				
241	林氏館跡 (206-511)				
242	仮・八木遺跡 (登録不要)	阿山郡大山田村 大字平田字八木 133・134・135	土取り (7.9.18 - 教文2046)	24	遺構・遺物なし。
243	仮・畑岡遺跡 (登録不要)	阿山郡大山田村 大字平田字畑岡 105・107・108 ・113・114	カントリーエレベーター建 設 (8.2.5-大山教148)	120	遺構・遺物なし。

### III. 埋蔵文化財保護体制の充実

#### 1. 各種会議

##### 〔三重県埋蔵文化財担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県文化振興課・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財担当者による技術研修や情報交換を目的として、本年度は次の3回を開催した。

	開催日	場 所	内 容
第1回	平成7年4月27日	斎宮歴史博物館講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年度の事業予定について</li> <li>講演 「山茶碗の生産と流通」 瀬戸市埋蔵文化財センター 藤澤良祐氏</li> </ul>
第2回	平成7年10月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>三重県総合文化センター内 生涯学習センター中研修室・津リージョンプラザ3F 生活文化情報センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村及び県の現状と課題</li> <li>三重県総合文化センター施設見学</li> <li>調査報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>①長者屋敷遺跡 三重県埋蔵文化財センター 主事 宇河雅之</li> <li>②石薬師東古墳群 三重県埋蔵文化財センター 主事 服部芳人</li> </ul> </li> <li>第15回三重県埋蔵文化財展（三重県埋蔵文化財センター・津市教育委員会主催）見学</li> </ul>
第3回	平成8年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>桑名市コミュニティプラザ1F 中会議室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村及び県の現状と課題（平成8年度の展望）</li> <li>調査報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>①宮山遺跡 三重県埋蔵文化財センター 技師 竹内英昭</li> <li>②倉谷弥生墳丘墓 安濃町教育委員会 田中秀和</li> </ul> </li> <li>講演 「弥生時代末～古墳時代初の墳墓および土器の動向について」 愛知県埋蔵文化財センター 赤塚次郎氏</li> </ul>

##### 〔三重県埋蔵文化財連絡調整会議〕

目的 県及び市町村の埋蔵文化財保護行政における諸問題について協議・情報交換を行うとともに長期計画・展望について意見交換を行う。

日時 第1回 平成7年7月27日（木） 午前10時～午後4時

第2回 平成7年12月12日（火） 午前10時～午後4時

場所 斎宮歴史博物館 2階 研修室

内容

- 埋蔵文化財保護行政における諸問題についての協議及び情報交換を行う。
- 遺物の収蔵問題、また公開・普及としての資料館、博物館構想等について情報交換等を行う。
- 三重県及び市町村の埋蔵文化財行政の長期計画、展望についての意見交換を行う。
- その他

〔その他の会議〕

全国公立埋文協などが主催する会議・研修会に職員を派遣し、県外他機関との交流や技術研修を行っている。  
今年度は次の会議等に参加した。

名 称	内 容	期 日	場 所	出 席 者
平成7年度全国公立埋文協 総会・役員会	平成7年度事業計画 その他	5月25・26日	鹿児島県指宿市	山沢 義貴 山田 猛 新田 洋 橋川 功
平成7年度第2回全国公立 埋文協役員会	平成8年度事業計画 その他	10月5・6日	京都市東山区清水	山沢 義貴
全国公立埋文協第8回全国 研修会	自然災害と考古学	10月25・26日	長野市岡田町	田村 陽一 森川 幸雄
平成7年度東海四県文化財 担当者会議	発掘調査基準につい て	2月8・9日	静岡市緑町	新田 洋
平成7年度全国公立埋文協 中部・北陸ブロック会議	発掘調査基準の実施 状況について	3月14・15日	福井市	山田 猛 森川幸雄

2. 埋蔵文化財発掘技術者研修

〔職員研修〕

職員の技術的向上を目的に、奈良国立文化財研究所が実施する埋蔵文化財発掘調査技術者研修と奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘技術専門研修を随時受講させている。

内 容	実 施 機 関	期 間	受 講 者
埋蔵文化財発掘技術者研修	奈良国立文化財研究所	平成7年7月1日～9月30日	伊藤裕之
埋蔵文化財発掘技術者研修	奈良国立文化財研究所	〃 9月1日～11月30日	越賀弘幸
専門研修『寺院官衙遺跡調 査課程』	奈文研埋蔵文化財センター	平成8年1月10日～1月25日	宇河雅之

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和42年度以来県下の学校教員を対象として埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。昭和54年度以降期間1カ年の研修となり、本年度は次の3名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。これまで昭和54年度から本年度までに65名が研修を終了した。

平成7年度研修生

袖岡 直樹 県立宮川高等学校  
西澤 裕幸 上野市立神戸小学校  
松葉 和也 松阪市立漕代小学校

平成7年度研修内容

月	研 修 内 容
4	・研修ガイダンス ・2次整理研修Ⅰ・Ⅱ ・室内講義Ⅱ・Ⅱ ・自主研修
5	・発掘調査実習(曾祢崎遺跡 山神遺跡 石薬師東古墳群 ほか) ・試掘調査実習
6	・ // (曾祢崎遺跡 火山遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
7	・ // (北野遺跡 火山遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
8	・ // (北ノ垣内遺跡 火山遺跡 井尻遺跡 ほか)
9	・ // (瀬干遺跡 火山遺跡 井尻遺跡 ほか)
10	・ // (北野遺跡 良福寺跡 池ノ下遺跡 ほか)
11	・ // (北野遺跡 古川遺跡 高皿遺跡 ほか)
12	・ // (北野遺跡 古川遺跡 ほか) ・分布調査実習
1	・分布調査実習 ・試掘調査実習 ・室内講義Ⅲ
2	・報告書作成実習 ・分布調査実習 ・試掘調査実習
3	・報告書作成実習 ・試掘調査実習

室内講義内容

月 日	内 容	担 当 者
〔室内講義Ⅰ〕		
4. 5	埋文センターの組織と機能 遺跡の調査と方法 埋蔵文化財の保護行政と発掘調査 遺物の整理と報告書	山沢義貴(埋蔵文化財センター) 山田 猛( // ) 伊藤克之( // ) 新田 洋( // )
〔室内講義Ⅱ〕		
4. 12	文献と考古学 博物館業務 斎宮 遺跡からみた伊賀地方の歴史	小林 秀(埋蔵文化財センター) 上村安生(斎宮歴史博物館) 野原宏司( // ) 森川常厚(埋蔵文化財センター)
4. 13	遺跡からみた中勢地方の歴史	宮田勝功( // )
4. 14	遺跡からみた南勢地方の歴史	田村陽一( // )
4. 18	遺跡からみた北勢地方の歴史	小菅文裕( // )
〔室内講義Ⅲ〕		
1. 22	建物 土器様式・型式 縄文土器 弥生土器	赤岩 操(斎宮歴史博物館) 穂積裕昌(埋蔵文化財センター) 森川幸雄( // ) 池端清行( // )
1. 23	古墳時代の土師器 須恵器 飛鳥～平安時代の土師器 緑釉陶器・灰釉陶器	米山浩之( // ) 西村修久( // ) 森川常厚( // ) 杉谷政樹( // )
1. 24	中世の土師器 山茶碗 瓦器 中近世陶磁器	伊藤裕偉( // ) 前川嘉宏( // ) 竹内英昭( // ) 本堂弘之( // )
1. 25	瓦 古墳 中世墓 遺跡の保護と活用	河北秀実( // ) 服部芳人( // ) 清水正明( // ) 野口美幸( // )

〔埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修〕

町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘調査技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。本年度は次の2件を実施した。

所属・氏名	種別	内 容	期 間
玉城町教育委員会 中世古憲司	講座 III	発掘調査資料の整理実習等 (玉城町上ノ山遺跡)	平成7年5月1日～6月30日
紀和町教育委員会 岩本 直樹	講座 II	発掘調査の立案と実習、遺構の実測 と写真撮影の実習 (紀和町赤木城跡)	平成7年8月1日～9月30日

〔埋蔵文化財発掘調査にかかる外国人研修〕

趣旨・目的

奈良国立文化財研究所が主催する平成7年度埋蔵文化財発掘技術者研修課程「外国人研修」の現地研修の一環として本県に現地研修の依頼があったので、検討の結果、本研修によって他国の考古学技術等の知識・情報を得ながら広く技術者を養成し、今後の国際交流のさらなる促進をはかることができるため、外国人研修を実施する。

研修期間

平成7年6月6日～6月27日

研修場所

埋蔵文化財センター中勢道路関係発掘調査現場ほか  
(三重県津市納所町・中勢道路整理所 ☎0592-29-2770)

研修者

Eric Chen (エリック チェン 男性・21才) ……カナダ国  
マックギル大学(考古学専攻生)

研修内容

時 期	内 容 ・ 場 所
6月上旬	・ガイダンス・博物館見学(斎宮歴史博物館、四日市市立博物館、海の博物館ほか) ・現場研修(長遺跡)
中旬	・現場研修(長遺跡)、室内研修(遺物実測、拓本)・室内講義
下旬	・現場研修(六大A遺跡)・室内講義・文化財見学(法隆寺ほか)

3. 埋蔵文化財保護等に関する指導・協力

依 頼 者	内 容	期 日
国立歴史民俗博物館	文部省科学研究費試験研究の研究協力	4月1日～3月31日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	4月15日
帝塚山考古学研究所	古墳文化研究会の講師	5月7日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	5月13日
鈴鹿市教育委員会	長者屋敷遺跡ほか発掘調査事業の指導	6月6日
安濃町教育委員会	歴史講座の講師	6月7日
三重県総合教育センター	研修講座の講師	6月8日
嬉野町教育委員会	文化財保護委員会に出席	6月14日
同志社大学	公開講座の講師	6月16日
上野市立神戸小学校	児童社会科学習の講師	6月17日
松阪市立中央公民館	講師	6月23日
三重県教育委員会	三重県センター博物館（仮称）資料委員の就任	
三重県立博物館	三重県センター博物館（仮称）資料委員説明会に出席	6月30日
松阪市教育委員会	新田町遺跡の発掘調査に係わる指導	6月30日
津の文化財と自然を守る会	記念講演の講師	7月2日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	7月15日
大安町教育委員会	照光寺遺跡の試掘調査に係わる指導	7月25日～8月31日随時
上野市教育委員会	城之越遺跡保存整備事業に係る指導委員会に出席	7月31日
桑名市教育委員会	養成講座の講師	8月5日
玉城町教育委員会	田丸城跡試掘調査に係る指導	8月7日～8月31日随時
玉城町教育委員会	田丸城跡整備検討委員会に出席	9月11日
玉城町教育委員会	カリコ遺跡試掘調査に係る指導	9月12日～9月29日随時
玉城町教育委員会	歴史講座の講師	9月22日
嬉野町教育委員会	展示委員会に出席	9月25日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	9月30日
安濃町教育委員会	歴史講座の講師	10月4日
三重県教育委員会	三重県祭り行事調査に係る会議に出席	10月11日
嬉野町教育委員会	文化財保護委員会に出席	10月12日
玉城町教育委員会	歴史講座の講師	10月15日
関町教育委員会	埋蔵文化財の試掘調査に係る指導	10月16日・17日
嬉野町教育委員会	歴史講演会の講師	10月22日
勢和村教育委員会	公民館講座の講師	10月27日
玉城町教育委員会	歴史講座の講師	10月29日
関町教育委員会	埋蔵文化財の発掘調査に係る指導	11月22日～12月28日随時
美杉村教育委員会	報告書作成に係る指導など	11月24日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	11月25日
美杉村教育委員会	調査指導委員会に出席	11月29日
上野市教育委員会	城之越遺跡発掘調査指導委員会に出席	12月6日
三重県教育委員会	三重県祭り行事調査に係る会議に出席	12月7日
多度町教育委員会	埋蔵文化財詳細分布調査に係る指導	1月13日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	1月20日
松阪市漕代公民館	古川遺跡学習会の講師	1月24日
三重県土木部出先機関技術課長協議会	講師	1月25日
斎宮歴史博物館	斎宮跡調査研究指導委員会に出席	1月26日
玉城町教育委員会	歴史講座の講師	1月26日・27日
多度町教育委員会	埋蔵文化財詳細分布調査に係る指導	1月26日～3月31日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集委員会議に出席	2月17日
志摩文化財調査保護委員協議会	講師	2月19日
勢和村史編集委員会	勢和村史編集に係る資料収集調査	3月11・12・13日
玉城町教育委員会	埋蔵文化財の発掘調査に係る指導	2月13日～3月29日随時
三重県生活文化部学事課	県史編纂に係る資料調査	3月11日～13日
四日市市立博物館	資料委員会に出席	3月18日
明和町教育委員会	埋蔵文化財の発掘調査に係る指導	随時
阿児町教育委員会	指導委員会（史跡整備）に出席	3月14日
御園村教育委員会	御園村文化財調査委員会に出席	3月22日



## 平成7年度埋蔵文化財発掘技術者研修実施要項

### 1. 目的

発掘調査および保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施し、埋蔵文化財の保護体制の強化に資することを目的とする。

### 2. 主催

三重県教育委員会

### 3. 担当

三重県埋蔵文化財センター

### 4. 期間

平成7年4月1日～翌年3月31日までの12か月間

### 5. 場所

- ・多気郡明和町大字竹川 三重県埋蔵文化財センター
- ・県内各発掘調査現場

### 6. 人員

若干名

### 7. 参加資格

- (1) 県内の公立小学校・中学校・高等学校の教員のうちで、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験を有する者。
- (2) 健康で現場作業に従事することのできる者で、原則として昭和35年4月以降生まれである者。

### 8. 研修内容

#### (1) 講義

- 総論 ・文化財の保護
- 各論 ・文化財保護法
  - ・史跡および埋蔵文化財保護の現状
  - ・発掘調査方法
    - 調査計画、墳墓・集落・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査
  - ・遺物調査方法
    - 実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理、人骨・動植物遺体の調査
  - ・関係学概説
    - 建築構造、測量、保存科学、文献史学
  - ・報告書作成方法 等

- (2) 実習 ・発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習等

### 9. 講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

### 10. その他

- (1) 研修者の出張旅費は、県の旅費規程にしたがって支給する。
- (2) 研修期間中は、当該学校に対し常勤講師の補充がなされる予定である。
- (3) 研修を修了した者には、修了証書を交付する。

平成7年度 研修年間計画概要

内 容	月											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内講義 I	—											
室内講義 II	—											
基本実習	—	—										
発掘調査	調査計立案法 (実習)	—										
	調査準備法 (実習)	—										
	遺構検出法 (実習)		—									
	遺構写真法 (実習)		—									
遺構実測法 (実習)		—										
分布調査									—			
試掘調査										—		
室内講義 III											—	
報告書作成	遺物整理法 (実習)									—		
	遺構整理法 (実習)									—		
	記述原理 報告書編集法 (実習)									—		
施設・主要遺跡見学	—		—		—				—			
研修場所	埋蔵文化財センター他	埋蔵文化財センター・県下各発掘調査現場他										
		埋蔵文化財センター他										

## 埋蔵文化財発掘技術町村職員研修実施要項

### 1. 目的

この要項は、各町村において文化財保護行政を担当する者に対して、埋蔵文化財の発掘調査に関する専門的知識と技術について研修（以下「研修」という。）を行うことにつき、必要な事項を定めるものとする。

### 2. 研修の主体

研修は、三重県埋蔵文化財センターが行う。

### 3. 研修の場所

研修の場所は、三重県埋蔵文化財センターおよび県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等とする。

### 4. 研修の対象

研修の対象者（以下「研修員」という。）は、町村教育委員会文化財保護行政担当職員、もしくはこれに準ずる者とする。

### 5. 研修員の決定

- (1) 町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という。）に提出するものとする。
- (2) 所長は、研修希望調書をもとに選考のうえ研修員を決定し、町村教育委員会教育長に通知するものとする。

### 6. 研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

### 7. 修了証書の交付

所長は、研修員が全研修課程を修了したと認めるときは、修了証書を交付する。

### 8. 研修に要する経費

- (1) 研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。
- (2) 所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

### 9. その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

#### （ 附 則 ）

この要項は、平成7年4月1日から施行する。

#### （別 表） 埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修 研修内容

講座名	期 間	研 修 内 容		
講座Ⅰ	1 か月間	○文化財保護法の概要	○埋蔵文化財の判定	○試掘調査の立案と実習
講座Ⅱ	2 か月間	○発掘調査の立案と実習	○遺構の実測と写真撮影実習	
講座Ⅲ	2 か月間	○発掘調査資料の整理実習	遺構図面・写真の整理	出土遺物の整理 遺物実測
講座Ⅳ	2 か月間	○報告書作成に関する実習	遺物写真撮影	遺物・遺構図版の作成

[ 注 ]

- (1) 講座Ⅰについては、講座修了者と同等の技術を有すると所長が認めた場合は省略することができる。
- (2) 各講座の取得方法および実施時期は研修員派遣期間と協議の上決定する。

( 参 考 )

受 講 例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
例	.-----·-----·-----·-----·																	
1		I		II		III		IV										
例	.-----·-----·-----·-----·												·-----·-----·-----·					
2		I						II							III		IV	

(別紙様式)

第 \_\_\_\_\_ 号  
平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

三重県埋蔵文化財センター所長 様

町村教育委員会教育長 印

研 修 希 望 調 書

埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修を次のとおり希望します。

希望する講座名			
研修派遣期間	— 年 月 日 から 年 月 日まで		
研 修 希 望 職 員	職 氏 名		性別 男・女
	生年月日(年齢)	( 歳 )	
	現 職 年 数	年 ( 年 月 以来 )	
	最 終 学 歴	学校名 ( )	学部 学科 )
	発掘調査経験 (参加遺跡名)	有 無 ( )	
その他希望事項			

## IV. 資料の整理・保管・公開

### 1. 資料の整理・保管

本年度の各事業別遺物出土量の概数は下表のとおりであり、その整理は埋蔵文化財センター及び受託事業現場整理所で行っている。出土遺物の保管については、原則として再検討・貸出等利用頻度の高いもの埋蔵文化財センター収蔵庫に、その他のものは各収納倉庫に保管している。

一方、実測図面・写真フィルム類についても出土遺物と同様に整理保管し、必要に応じて貸出等に対応している。また、受贈図書は約 1,600冊あり、図書室に分類保管して職員の利用に供している。

〔平成7年度出土品量（概数）〕

事業	平成7年度出土量	
公共事業	1,369	
受託事業	東海環状	107
	中勢道路	2,385
	松多バイパス	232
	伊勢・志摩リ	21
斎宮跡	390	
合計	4,504	

※数量はコンテナ（55cm×35cm×15cm）による。

〔出土遺物保管状況〕

施設	遺物保管量	
埋文センター	センター	9,416
収蔵庫 2	斎宮	10,423
	桜橋	19,470
収納倉庫	桜橋（仮設）	2,775
	藤方	7,019
	上野	3,200
受託現場整理所（一時保管）	東海環状	216
	中勢道路	7,477
	松多バイパス	1,988
合計	61,984	

### 2. 科学的保存処理

埋蔵文化財センターには、出土遺物の保存処理を実施するため保存科学室1（木製品保存処理）にPEG樹脂含浸装置2基、保存科学室2（金属製品保存処理）に減圧樹脂含浸装置1基ほかが設置されている。また、中勢道路整理所にPEG含浸装置1基が設置されている。現在のところ専任の担当職員は配置していないが、保存処理技術を研修した職員等が保存処理にあっている。

### 3. 資料の公開

#### ○ 出版物の発行

発掘調査報告書・概報・埋蔵文化財展図録のほか、『三重県埋蔵文化財センター研究紀要5』『三重県埋蔵文化財センター通信みえ』NO.16~18等を発行し、関係機関等へ配布している。

#### ○ 現地説明会

発掘調査の途中、あるいは終了時には地域の人々に対し文化財保護への理解を深めていただくため、現地説明会を開催しその調査結果について報告を行っている。当埋蔵文化財センターが調査主体となった発掘調査にかかる現地説明会は下表のとおりであり、毎回多数の人々の参加を得ている。

〔現地説明会一覧〕

遺跡名	所在地	担当課	開催日	参加人数
多気遺跡群上村地区	一志郡美杉村下多気	調査第1課	H7. 6.10	150名
曾祢崎遺跡	多気郡明和町上野	調査第1課	H7. 6.17	120名
石薬師東古墳群	鈴鹿市石薬師町	調査第1課	H7. 7.15	130名
宮山遺跡	員弁郡北勢町大字片樋	調査第2課	H7. 8.26	120名
火山遺跡	上野市山神	調査第1課	H7. 9.23	110名
長遺跡	津市河辺町	調査第2課	H7.10. 7	300名
天花寺城跡・小谷赤坂遺跡	一志郡嬉野町天花寺	調査第1課	H7.11.11	130名
宮山遺跡	員弁郡北勢町大字片樋	調査第2課	H7.11.25	180名
蔵田遺跡	津市納所町	調査第2課	H7.12. 2	50名
北野遺跡	多気郡明和町明星	調査第1課	H7.12.23	120名
堀町遺跡（第2次）	松阪市朝田町	調査第2課	H8. 1.20	120名
高井A遺跡	鈴鹿市徳田町	調査第2課	H8. 2.10	150名
六大A遺跡	津市大里窪田町	調査第2課	H8. 3. 2	300名
合計	計	13 件		1,980名

○ 斎宮歴史博物館速報コーナーでの展示

斎宮歴史博物館映像展示室の速報コーナーで、埋蔵文化財センターが実施している発掘調査の成果の一部を速報的に随時展示している。本年度は次の資料を展示した。

- 4月～3月 堀町遺跡（弥生土器・銅鐸形土製品）  
3月～ 浦ノ山中世墓（陶器壺・甕・鉢）

○ 県庁1階ロビーでの展示

埋蔵文化財の情報等を流し、埋蔵文化財に対する理解と保護思想等の普及・啓蒙をはかるために、県が実施した昨年度の発掘調査の中から、全国的にも脚光をあびた六大A遺跡（津市大里窪田町）の調査と出土品等を県庁1階ロビーにて紹介した。

「最近の発掘調査から－六大A遺跡－」展・開催要項

1. 開催趣旨及び目的

昨今、県民の文化ニーズは高揚しながらも多岐にわたっている。埋蔵文化財センターでは、日頃より発掘調査された遺跡、遺物等をできるだけ多くの人々に見ていただけるように現地説明会、速報展、埋蔵文化財展を開催しているところである。

さらに一層、埋蔵文化財の情報等を流し、埋蔵文化財に対する理解と保護思想等の普及・啓蒙をはかるために、当展示会を催す。

そして、本展では県が実施した昨年度の発掘調査の中から、全国的にも脚光をあびた六大A遺跡（津市大里窪田町）の調査と出土品等を紹介する。

2. 主催

三重県埋蔵文化財センター

3. 開催期間・日時

平成7年7月10日（月）～7月14日（金） 8：30～17：15

4. 開催場所

三重県庁1F・県民ホール

5. 展示テーマ

- ・最近の注目される遺跡から六大A遺跡
- ・'94発掘三重（速報展）への誘い

6. 展示資料等

- （1）発掘調査と整理作業の普及啓蒙用の絵パネル一式
- （2）六大A遺跡出土の主要遺物、及び関連写真パネル、説明パネル等

○ 三重県埋蔵文化財発掘調査速報展

前年度の三重県下の発掘調査の結果を展示し、広く県民に公開するために、三重県埋蔵文化財発掘調査速報展を行うことになった。第4回目である本年度は、関係各機関のご協力を得、斎宮歴史博物館特別展示室を会場として、平成7年7月20日（木）～8月13日（日）までの会期で実施した。会期中の入場者数は、約2,875人であった。

第4回 三重県埋蔵文化財発掘調査速報展開催要項

1. 目的 ① 平成6年度に県下で実施された発掘調査の成果を、広く県民へ速やかに公開するため。  
② 埋蔵文化財がわが国の歴史・文化の正しい理解と文化の向上発展のために、貴重な遺産であることを、県民へ普及啓発するため。  
③ 県民に対して埋蔵文化財保護への理解と協力を求めるため。  
④ なおいっそうの県民文化の向上に努めるため。
2. 主催 三重県埋蔵文化財センター
3. 期間 平成7年7月20日（木）～8月13日（日） 9：30～17：00（入館は16：30まで）

ただし、月曜日は博物館休館日のため休展

4. 場 所 齋宮歴史博物館 特別展示室（多気郡明和町竹川 503番地）

5. 展示テーマ 「'94発掘三重」

6. 主な展示資料	権現坂遺跡出土遺物	石薬師東古墳群出土遺物	荻原裏ノ山遺跡出土遺物
	六大A遺跡出土遺物	堀町遺跡出土遺物	弥助窯跡出土遺物
	齋宮跡出土遺物	西ヶ谷遺跡出土遺物	国分寺跡出土遺物
	長遺跡出土遺物	片野遺跡出土遺物	片部遺跡出土遺物
	浅間古墳群出土遺物	森荘川浦遺跡出土遺物	銚子口遺跡出土遺物
	城ノ越遺跡出土遺物		

7. 入館料 速報展に関してのみ無料

○ 三重県埋蔵文化財展

三重県埋蔵文化財展は、昭和56年度から三重県教育委員会が主催して、各市町村を会場に毎年実施してきた。平成元年度からは埋蔵文化財センターが主催し、三重県が実施した発掘調査の成果および市町村主体の発掘調査の成果を展示して広く県民に公開し、生涯教育の一環として埋蔵文化財保護思想の普及啓蒙に努めている。本年度は第15回目を迎え、三重県埋蔵文化財センター・津市教育委員会の主催で、津リージョンプラザ3階・生活文化情報センターを会場に、9月30日（土）～10月11日（水）までの会期で実施した。今回は「考古資料にみる津とその周辺」というテーマで、津市とその周辺地域の歴史を紹介した。会期中の入場者数は、約 2,200人であった。

第15回 三重県埋蔵文化財展開催要項

1. 開催趣旨

埋蔵文化財と各種開発との調和がさげられる中、三重県においても開発事業に伴う緊急発掘調査は近年増加の一途をたどり、貴重な文化財が多数出土している。本展示会は、津市教育委員会と共催で行い、津市、及び周辺市町村での発掘調査において出土した遺物や関連資料を展示し、考古資料からみた当地域の歴史を紹介するとともに県民文化の向上と埋蔵文化財保護思想の普及啓蒙を図るものである。

2. 主 催 三重県埋蔵文化財センター・津市教育委員会

3. 協 賛 中勢教育事務所管内市町村教育委員会

4. 期 間 平成7年9月30日（土）～10月11日（水）（月曜休館）10日間  
午前9時30分～午後4時30分

5. 会 場 津リージョンプラザ3階 生活文化情報センター ㊦514 津市西丸之内23番1号

6. 展示テーマ 「考古資料にみる津とその周辺」

7. 遺跡調査報告会 ・日時 平成7年10月1日（日） 13:30～15:00  
・場所 津市図書館2階 視聴覚室（津リージョンプラザ内）  
・内容 長遺跡・六大A遺跡

8. 展示解説会 ・日時 平成7年10月1日（日） 12:30～  
平成7年10月8日（日） 14:00～  
・場所 展示会場内

9. 入場料 埋蔵文化財展・遺跡調査報告会ともに無料

10. 主な展示資料

遺 跡 名	資 料 名	所 蔵 者
津市 大古曾遺跡	ナイフ形石器・山茶碗・山皿・小刀・刀子	三重県埋蔵文化財センター
津市 六大A遺跡	縄文土器・弥生土器・ミニチュア土器・土師器	三重県埋蔵文化財センター
津市 六大B遺跡	初期須恵器・韓式系土器・刀鞘尻・櫛 ナイフ形石器・弥生土器・土師器・須恵器	三重県埋蔵文化財センター
津市 四ツ野B遺跡	黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・円面硯・石帯 木簡・土馬・陶磁器・銭貨・鳩形土笛 ナイフ形石器・尖頭器 縄文土器・弥生土器	個人 津市教育委員会

津市	東浦遺跡	尖頭器	三重県埋蔵文化財センター
津市	大里西沖遺跡	縄文土器	三重県埋蔵文化財センター
津市	納所遺跡	縄文土器・弥生土器・木器・石器	三重県埋蔵文化財センター
津市	松ノ木遺跡	縄文土器・木器	三重県埋蔵文化財センター
津市	長遺跡	弥生土器・石器	津市教育委員会
津市	亀井遺跡	弥生土器（双脚壺）	三重県埋蔵文化財センター
津市	山麓遺跡	石器	三重県埋蔵文化財センター
津市	高松A・B遺跡	弥生土器	セントヨゼフ女子学園
津市	高松C遺跡	土錘	津市教育委員会
津市	高松弥生墳墓	弥生土器・管玉	津市教育委員会
津市	橋垣内遺跡	弥生土器・土師器・須恵器・円面硯・緑釉陶器 瓦・土馬・斎串・木製品	三重県埋蔵文化財センター
津市	高茶屋銅鐸出土地	銅鐸（レプリカ）	津市教育委員会
津市	太田遺跡	銅鐸形土製品	三重県埋蔵文化財センター
津市	中鷲遺跡	土師器	津市教育委員会
津市	坂本山古墳群	土師器	津市教育委員会
津市	坂本山中世墓群	蔵骨器（壺・甕）・山茶碗	津市教育委員会
津市	君ヶ口古墳	土師器・須恵器	津市教育委員会
津市	門脇北古墳	形象埴輪	津市教育委員会
津市	鎌切3号墳	鉄刀・馬具・鉄鏃・管玉	津市教育委員会
津市	稲葉古墳群	円筒埴輪・形象埴輪	津市教育委員会
津市	藤谷埴輪窯跡群	円筒埴輪・形象埴輪	津市教育委員会
津市	四天王寺廃寺	瓦	三重県立博物館
津市	大垣内遺跡	土師器・須恵器・黒色土器・墨書土器・円面硯 ヘラ描き土器・土馬・櫛・瓦・灰釉陶器	三重県埋蔵文化財センター
津市	鳥居古墳	金銅製押出仏・埴仏	三重県立博物館
津市	阿漕浦遺跡	陶器	津市教育委員会
津市	川北城跡	山茶碗・山皿・片口鉢・青磁・白磁	津市教育委員会
津市	宮ノ前遺跡	土師器（皿・小皿）・卸皿	三重県埋蔵文化財センター
津市	北ノ垣内遺跡	瓦器碗	津市教育委員会
津市	西垣内遺跡	瓦器皿	津市教育委員会
津市	宮間戸遺跡	山茶碗・山皿・和鏡	三重県埋蔵文化財センター
津市	殿村古墳群	白磁碗	津市教育委員会
津市	森山東遺跡	阿漕焼（碗・徳利）	津市教育委員会
津市	津商業北近代窯跡	陶器	津市教育委員会
芸濃町	赤坂遺跡	縄文土器	三重県埋蔵文化財センター
芸濃町	下川遺跡	陶器・犬形土製品・漆描き天目茶碗	三重県埋蔵文化財センター
芸濃町	雲林院青木遺跡	縄文土器	芸濃町教育委員会
芸濃町	大石遺跡	縄文土器・磨製石斧・磨石・石錘・滑石製鍋	三重県埋蔵文化財センター
河芸町	千里ヶ丘遺跡	和同開珎	三重県埋蔵文化財センター
安濃町	西相野遺跡	縄文土器・石鏃	安濃町教育委員会
安濃町	平田17号墳	須恵器	安濃町教育委員会
安濃町	平田35号墳	土師器・須恵器	安濃町教育委員会
安濃町	内多古窯跡	須恵器	津市教育委員会
美里村	西出遺跡	縄文土器・石鏃・磨石	三重県埋蔵文化財センター
久居市	久居古窯跡	須恵器	津市教育委員会

#### 4. 保管遺物等の貸出・写真等の掲載及び閲覧許可

資料名	申請者	目的	期間	許可日
井田川茶臼山古墳出土ころく金具	松阪市教育委員会	報告書作成の為	4 / 7	4 / 7
柏原城・風呂谷城・轟城写真	横山 高治	『伊賀天正の乱』への掲載	4 / 18～ 5 / 31	4 / 18
ヒタキ遺跡出土の瓦1揃	松阪市立歴史民俗資料館	『松阪にみる文化財』へ出品	5 / 8～ 7 / 21	5 / 2
納所遺跡出土石鏃実測図	松井 一明	『大阪府立弥生博物館研究紀要』への掲載	5 / 8	5 / 8



資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
城之越遺跡 遺構写真 2点 遺物写真 3点	群馬県立歴史博物館	企画展『海の正倉院沖ノ島ー古代の祭祀西・東ー』企画展図録、展示パネル、広報に使用	5/15～ 8/5	5/15
城之越遺跡出土遺物 7点	群馬県立歴史博物館	企画展『海の正倉院沖ノ島ー古代の祭祀西・東ー』に展示するため	7/3～ 9/22	5/23
東庄内A・B遺跡出土遺物4点	三重大学人文学部	三重大学大学祭に展示するため	6/2～ 6/5	5/31
鴻ノ木遺跡遺構写真 1点	株式会社講談社	○田中琢・佐原眞監修『歴史発掘』 ○泉拓良 著第2巻『縄文土器出現』 への掲載	6/2～ 6/23	6/1
岸之上遺跡・高賀遺跡 他出土遺物	笠井 賢治	古代土器研究会例会発表資料作成のため	6/9	6/7
天白・坂倉・西殿他 各遺跡白黒紙焼き 7点 第13回埋文展・'93 発掘三重展示風景他 スライド ポジ 4点	三重情報株式会社	6/20発行『ルック三重』7・8月号に掲載し、読者の方に埋蔵文化財を紹介するため	6/9～ 6/30	6/9
大鼻遺跡出土の土師 器甕・正知浦遺跡出 土の土師器甕実測図 2点	森川 常厚	古代の土器研究会例会の発表資料	6/23	6/23
歌野・高賀・伊勢寺 廃寺他各遺跡の土師 器甕 14点	森川 常厚	古代の土器研究会例会の閲覧資料	6/23～ 6/26	6/23
天白遺跡出土土偶 閲覧	岡本 茂史	資料の肉眼観察	6/30	6/30
地藏貝塚出土 鹿角 装刀(キャビネ版白 黒) 1点	株式会社至文堂	『日本の美術』「貝塚とその出土品」 への掲載		6/30
弥助窯閲覧	角谷 江津子	関西近世考古学研究9 (予定) 論文作成の 参考のため	7/7	7/7
井田川茶臼山古墳他 画文帯神獸鏡の写真	鈴鹿市教育委員 会	第5回鈴鹿市埋蔵文化財展『海の考古学』 パンフレットへの掲載及び写真展示のため	7/17～ 8/11	7/18
画文帯神獸鏡(井田 川茶臼山古墳) 1点	鈴鹿市教育委員 会	第5回鈴鹿市埋蔵文化財展『海の考古学』 において展示するため	8/1～ 9/8	7/18
井田川茶臼山古墳出 土刀装具閲覧	小林 義孝	資料調査	7/18	7/18
伊賀弥助窯出土資料 閲覧	堀内 秀樹	学内遺跡における調査研究のため	7/25	7/25
草山遺跡発掘調査月 報他報告書閲覧	合葉 恭子	卒業論文に関する研究報告書その他資料収 集のため	7/27	7/27
天華寺廃寺出土菱形 如来座像博仏カラ ーポジフィルム	名張市教育委員 会	夏見廃寺展示館でパネル仕様で展示するた めのデュープ作成	7/27～ 8/7	7/28
須恵器四連甕 1点	愛知県陶磁資料 館	愛知県陶磁資料館特別企画展『ー古代の造 形美ー装飾須恵器展』に展示するため	9/20～ 12/9	8/15
鴻ノ木・明気窯・上 ノ垣内遺跡他スライ ド 50点	増田 安生	多気郡内教員考古学探訪説明用	8/17～ 8/18	8/16
中之庄遺跡出土瓦塔 閲覧	高崎 光司	瓦塔に関する研究論文作成のため	8/25	8/25
里木貝塚他報告書 閲覧	横山 るみ	卒業論文作成	9/22	9/22

資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
東山古墳出土四獣鏡・平成3年度伊賀国府跡航空写真カラーポジ	阿山町教育委員会	資料館においてパネルとして展示するため	9/27～ 12/28	9/27
天白遺跡出土遺物	嬉野町歴史資料館	第2回特別展『天白ムラの物語』展の展示資料として	9/27～ 12/11	9/27
榊原町宮出の出土銭1点	兵庫埋蔵銭調査会	『中世の出土銭－補遺－』兵庫埋蔵銭調査会刊に掲載のため		9/28
榊原町宮出の出土銭12,605枚と収納容器(壺)の閲覧	兵庫埋蔵銭調査会	平成7年度に発行する『中世の出土銭－補遺－』に収録のため	9/29	9/29
火山遺跡出土土符の写真等	中西 純男	『土符』(平成6年1月発行)の追録版に掲載するため		10/9
納所遺跡出土弥生土器の写真1点	津市教育委員会	『埋文センターニュース』第2号に掲載するため	10/9	10/9
東山古墳出土四獣鏡1点	阿山町教育委員会	郷土資料館に展示するための複製製作	10/11～ 12/10	10/11
東川遺跡・土井沖遺跡・上村遺跡出土遺物21点	皇学館大学考古学研究会	皇学館大学大学祭における考古学研究会での展示	10/31～ 11/9	10/13
納所遺跡出土平ぐわ他・北堀池遺跡出土三又鋤、二又鋤他のモノクロ写真	株式会社至文堂	『日本の美術』「古代の農具」に掲載するため		10/17
中根山遺跡発掘調査報告書他報告書閲覧	坂 澄恵	卒業論文の研究のため	10/18	10/18
国府関連の報告書閲覧	清水 政宏	卒業論文の資料集め	10/18	10/18
六大A遺跡大溝遺構北野遺跡出土甎の白黒写真	株式会社新人物往来社『別冊歴史読本/最前線シリーズ』編集部	『別冊歴史読本』「日本古代史〔神話・伝説〕の最前線」に掲載するため		10/19
古代研究第19号他報告書閲覧	井口 朝香	卒業論文の資料集め	10/23	10/23
納所遺跡出土の石鍬の閲覧	稲石 純子	卒業論文作成のため	10/23～ 10/25	10/23
考古学雑誌他報告書閲覧	横山 るみ	卒業論文の資料集め	10/24	10/24
北野遺跡出土遺物・六大A遺跡出土遺物の閲覧	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団	職員の資料調査のため	10/31～ 11/1	10/31
新沢千塚古墳・メスリ山古墳報告書閲覧	武田 寛生	卒業論文に関わる調査のため	10/31	10/31
国府関連の資料閲覧	清水 政宏	卒業論文の資料集め	11/1	11/1
納所遺跡・中ノ庄遺跡・東庄内B遺跡の閲覧	藤井 整	論文作成のため	11/10	11/10
鴻ノ木遺跡・朱中遺跡写真フィルム	松阪市立射和公民館	松阪市射和公民館で掲示するための写真パネル作成のため	11/10～ 12/11	11/10
長遺跡全景写真1点	朝日新聞社・アサヒグラフ編集部	『アサヒグラフ12月29日号』「古代史発掘総まとめ」に掲載するため	11/15～ 1/15	11/15

資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
鴻ノ木遺跡出土遺物 朱中遺跡出土遺物	松阪市立射和公民館	松阪市射和公民館に於ける、射和地区歴史講座のため	11/27～ 11/29	11/16
坂本山古墳群他報告書 閲覧	塚本 貴之	卒業論文の資料調査	11/20	11/20
モノクロ写真 六大A遺跡横櫛の 出土状況・納所遺 跡結歯櫛 2点	株式会社至文堂	『日本の美術』「まじないの世界5」に掲載するため		11/16
下郡遺跡出土の鋸 1点	丹下 昌之	名古屋大学大学院文学研究科修士論文の資料に掲載するため	11/22	11/22
下郡遺跡出土の鋸の 閲覧	丹下 昌之	名古屋大学大学院文学研究科へ提出の修士論文の資料のため	11/22	11/22
野村一里塚・城之越 遺跡写真	三重県広報課	『ガイドブック 三重』に掲載するため	11/24～	11/24
伊賀国庁出土円面硯 西ヶ広遺跡出土異形 円面硯他 11点	斎宮歴史博物館	企画展『古代の硯』における展示資料のため	1/12～ 2/23	11/27
亀山市内遺跡スライ ド 30点	浅尾 悟	亀山市成人学級講演会資料のため	11/28～ 12/20	11/28
納所遺跡出土の打製 石鏃の閲覧	神野 恵	卒業論文作成のため	11/28	11/28
平城宮発掘調査報告 他報告書閲覧	井口 朝香	卒業論文の資料	12/4	12/4
東裏遺跡出土緑釉風 字硯片 1点	斎宮歴史博物館	企画展『古代の硯』における展示資料のため	1/12～ 2/23	12/8
古代官衙の終末をめ ぐる諸問題他報告書 閲覧	清水 政宏	卒業論文資料収集のため	12/13	12/8
考古学雑誌・長野県 史等閲覧	横山 るみ	卒業論文資料収集のため	12/8・11	12/8
川原井遺跡第2次発 掘調査にかかる遺構 実測図	鈴鹿市教育委員 会	複写一式を作成して(仮称)鈴鹿市考古博物館展示設計(復元模型作成)にかかる検討資料とするため。	12/12～ 12/27	12/12
考古学雑誌・下野国 府等閲覧	横山 るみ	卒業論文資料収集のため	12/21	12/21
城之越遺跡写真	株式会社日本水道 新聞社 月刊 誌『水道公論』	月刊誌『水道公論』への寄稿原稿「発掘にみる水道のルーツ」に掲載するため	1/4～ 3/29	12/25
六大A遺跡出土柄頭 1点	津市埋蔵文化財 センター	埋文センターニュースNo.3に参考資料として掲載するため	1/16	1/4
津市六大A遺跡写真 壁材出土状況・横 櫛 2点	豊里商工会	『三重商工会だより2月号』三重県商工会連合会発行に掲載するため		1/12
中ノ庄遺跡遺構・遺 物白黒写真 5点	三雲町史編集会	三雲町記念誌『ふるさと三雲 今と昔』に掲載するため		1/24
城之越遺跡遺構写真 (モノクロ) 1点	株式会社至文堂 編集部	『日本の美術』「まじないの世界5」への特別寄稿「古代日本の『信仰』」に掲載するため		2/5
巢護遺跡跡遺構実測 図	春日井市教育委 員会	『尾張古代史セミナー』(1)に掲載		/
寺垣内遺跡遺物写真 2点	明和町町民室	『明和町要覧』に掲載		/

5. 保管遺物等の長期貸出

資料名	申請者	目的	許可日
超A遺跡出土弥生土器及び炭化米	鈴鹿市教育委員会	稻生民俗資料館での常設展示に使用	
多気遺跡群出土土瓦等 13点	美杉村教育委員会	美杉ふるさと資料館での常設展示に使用	
落川原遺跡出土石帯 1点	四日市市立博物館	常設展示での使用	
山王遺跡出土遺物 66箱	桑名市教育委員会	資料公開及び市民への文化財保護意識の普及・啓蒙 埋蔵文化財整理室にて利用	
出土品保管ケース 3点	県立神戸高等学校	出土品保管管理	
正知浦遺跡出土有舌尖頭器等 298点	亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館常設展示に使用	
陶器壺畜銭容器等 157点	地方職員共済組合 三重県支部	神原保養所神湯館に展示	

6. 斎宮歴史博物館展示品協力遺物一覧

遺跡名	遺物名
大安中世墓	蔵骨器(3)、蔵骨器蓋(2)、五輪塔(1式)
丹生川上城跡	蔵骨器(1)
西ヶ広遺跡	異形硯(1)
東庄内A遺跡	縄文土器：深鉢(1)
東庄内B遺跡	縄文土器：台付鉢(1) 壺棺墓：壺(1) 甕(1) 台付鉢(1)
上箕田遺跡	方形周溝墓出土：壺(1) 石器：石包丁(1)
神大寺遺跡	直柄鋤(2)
川原井瓦窯	石器：石斧(1)
川原井遺跡	伊勢国分寺式軒丸瓦(1) 軒丸瓦(1)
柴崎遺跡	灰釉陶器：浄瓶(1)
大鼻遺跡	土製勾玉(1)、朱(1)、土師器：壺(1)
井田川茶臼山古墳	土偶(1)、子持勾玉(1)
上椎ノ木古墳	須恵器：器台(5) 台付壺(4) 壺(7) 甕(1) 裝飾台付壺(1)
木下古墳	有蓋高杯(2) 有蓋高杯蓋(2)
柳垣内遺跡	土師器：壺(1)
大塚古墳	馬具：杏葉(4) 鏡板(2) 辻金具(2) 銅鈴(1)
浄土寺南遺跡	四神鏡(1)、石製壺(1)、石釧(1)、勾玉(5)、管玉(34)
納所遺跡	獸帯鏡(1)
龜井遺跡	蔵骨器(1)
太田遺跡	水晶切子玉(11) 玉管玉(4)
鳥居本遺跡	円面硯(1)
午前坊遺跡	弥生土器：彩文壺(1) 黒色壺(1) 手焙型土器(1) パイプ型土器(1) 壺(1)
堀ノ内遺跡	片口鉢(1) 台付壺(1)
天華寺廃寺	木製品：琴(1) 篋状木製品(1) 木鐸(1) 斧の柄(2) 鋤(4) 鍬(2)
東野遺跡	直柄鋤(1) 櫛(1) 石器：石斧(6) 石包丁(4) 石小刀(3)
堀田遺跡	双脚壺(1)
中ノ庄遺跡	銅鐸型土製品レプリカ(1)
杉垣内遺跡	方形周溝墓：壺(1)
伊勢寺廃寺	瓢壺(1)
深長古墳	縄文土器：深鉢(1)
横尾墳墓群	塑像(1) 仏(20)、軒丸瓦(1)、軒平瓦(1)、へら描き軒平瓦(1)
養徳寺遺跡	線刻硯(1)
崎谷遺跡	円面硯(1)
牧瓦窯	馬型埴輪(1)、朝顔形埴輪(1)、人物埴輪(1)
牧中世墓	石器：石包丁(1) 木製品：人形(2) 櫛(1) 斎串(11)
河田古墳群	土馬(4)、ミニチュア土器：壺(7)
東裏遺跡	軒丸瓦(1)、軒平瓦(1)
カウジデン遺跡	土師器：壺(1)
神前山古墳	経筒容器(2)、経筒容器蓋(1)、五輪塔(1)、石仏(1)
寺垣内遺跡	柿経(1式)
西出遺跡	五輪塔(1)、石仏(2)
大藪遺跡	軒丸瓦(1)、軒平瓦(1)
樋ノ谷遺跡	石仏(1)
東畑中世墓	土師器：高杯(3) 甕(1)、須恵器：杯蓋(2) 杯身(2) 高杯(2) 壺(3)
東山古墳	土師器：杯「中臣」(1) 碗(1) 青磁：碗(1)
北堀池遺跡	土馬(1) 土師器：杯「中万」(2)、灰釉陶器杯「中万」(1)
北切遺跡	黒色土器：碗(1)
前山古墳	円筒埴輪(1)、須恵器：二重(1) 鳥形(1)
小上野西谷遺跡	独鈷石(1)
歌野遺跡	土板(1)
辻垣内遺跡	方形周溝墓：壺(1)
	珠状耳飾(1)
	蔵骨器(2)
	土師器：高杯(1) 器台(1)、四獣鏡(1)、銅鏃(3)、鉄斧(2) 鉄剣(1)
	木製品：槌(1) 鍬(3) 剣型木製品(1) 舟型木製品(2)、円面硯(1)
	方形周溝墓：壺(1)
	銀象嵌刀装(2)
	土製勾玉(1)
	製塩土器(2)
	縄文土器深鉢(1)

## V. 行政資料

### 1. 文化庁通達「地方自治法の一部を改正する法律の施行及びこれに伴う文化財保護法の一部改正について」

庁保伝第143号

平成7年4月1日

各都道府県教育委員会教育長 殿

文化庁次長  
林田 英樹

地方自治法の一部を改正する法律の施行及びこれに伴う文化財保護法の一部改正について（通達）

「地方自治法の一部を改正する法律（平成6年法律第48号）」が平成6年6月29日に公布されるとともに、「地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成6年法律第49号）」が同日公布され、同法により、別添のとおり、文化財保護法の一部が改正されました。これらは、いずれも平成7年4月1日に施行されることとなっております。

ついては、これらの施行に伴う文化財保護事務について、遺漏なく処理して下さるようお願いいたします。

なお、このことについて、管下市（区）町村教育委員会に対してもその趣旨が徹底されるようよろしくお取り計らい願います。

#### 記

#### ○ 文化財保護法の一部改正について

##### 1. 背景・経緯

今回の地方自治法の一部改正においては、地方制度調査会の答申を踏まえ、政令指定都市以外の都市で規模・能力が比較的大きな都市について、その事務権限を強化し、できる限り住民の身近で行政を行うことができるようにすることを目的として「中核市」を制度化することとしている。

なお、文化財保護法第100条の改正は、地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律において措置されている。

##### 2. 現行制度の概要

(ア) 重要文化財又は重要有形民俗文化財（以下「重要文化財等」という。）の所有者に対し、文化庁長官の行う公開の事業に出品するよう勧告、命令又は出品を承認することができることとされている（文化財保護法第48条、第56条の16）。

(イ) 文化庁長官は、上記により所有者から出品された重要文化財等を地方において公開する場合は、都道府県又は指定都市の教育委員会に対して、出品された重要文化財等の管理の事務を委任することができる。

##### 3. 改正内容

文化財保護法第100条を改正して、都道府県又は指定都市の教育委員会に対し、出品された重要文化財等の管理の事務を委任することができることとされているのを、新たに「中核市」の教育委員会に対しても、上記の管理の事務を委任できるようにする。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成6年法律第49号）（抄）

（文化財保護法の一部改正）

第十三条 文化財保護法（昭和二十五年法律第二

百十四号）の一部を次のように改正する。

第一百条第一項中「指定都市」の下に「若しく

は同法第二百五十二条の二十二第一項の中核

市」を加える。

○ 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成6年法律第49号）（抄）

文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の改正箇所についての新旧対照表

（傍線部分は改正部分）

改正後	改正前
<p>（出品された重要文化財等の管理の委任）</p> <p>第一百条 文化庁長官は、必要があると認めるときは、都道府県又は地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市若しくは同法第二百五十二条の二十二第一項の中核市の教育委員会に対し第四十八条（第五十六条の十六で準用する場合を含む。）の規定により出品された重要文化財又は重要有形民俗文化財の管理の事務を委任することができる。</p> <p>2 前項の規定による委任を受けた場合には、都道府県又は前項に規定する市の教育委員会は、その職員のうちから、当該重要文化財又は重要有形民俗文化財の管理の責に任ずべき者を定めなければならない。</p>	<p>（出品された重要文化財等の管理の委任）</p> <p>第一百条 文化庁長官は、必要があると認めるときは、都道府県又は地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市の教育委員会に対し第四十八条（第五十六条の十六で準用する場合を含む。）の規定により出品された重要文化財又は重要有形民俗文化財の管理の事務を委任することができる。</p> <p>2 （同上）</p>

〔参考〕

自治行第 29号

平成7年4月1日

各都道府県知事 殿

自治事務次官

地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う  
関係法律の整備に関する法律（中核市制度の創設関係）の施行について（通知）

平成6年6月29日に公布された地方自治法の一部を改正する法律（平成6年法律第48号。以下「改正法」という。）及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成6年法律第49号。以下「関係整備法」という。）のうち、中核市制度の創設に係る部分は、平成6年12月21日に公布された次に掲げる関係政令とともに、平成7年4月1日から施行されることとなった（地方自治法の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令（平成6年政令第396号））。

- 1 地方自治法施行令等の一部を改正する政令（平成6年政令第397号。以下「改正政令」という。）
- 2 地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令（平成6年政令第398号。以下「整備政令」という。）

今回の改正は、地方公共団体の組織及び運営の合理化を図るため、第23次地方制度調査会の答申の趣旨にのっとり、政令指定都市以外の都市で規模能力が比較的大きな都市について、その事務権限を強化し、できる限り住民の身近で行政を行うことができるよう、中核市に関する制度を設ける措置を講ずるほか、広域連合に関する制度を創設する改正、罰金額及び過料額の引上げに関する改正、直接請求における代筆署名に関する規定を創設する改正、住民訴訟（四号訴訟）の応訴費用の公費負担に関する規定を創設する改正を行うなど、現下の社会的・経済的諸情勢に対応する地方自治の制度を創設するための所要の措置を講ずるものであるが、改正法のうち中核市制度及び広域連合制度の創設関係以外の部分はすでに施行されている。

貴職におかれては、改正法令のうち、中核市制度を創設する改正の施行について、下記事項に御留意の上、その施行に遺憾のないよう配慮するとともに、貴管下市町村に対しても改正の趣旨が十分徹底するよう御指導願いたい。

なお、広域連合制度の創設関係の改正については、改正法の公布の日から起算して1年を超えない範囲内において、政令で定める日から施行することとされており、広域連合制度の創設関係に係る留意事項については、関係政令等の整備の後、別途通知する予定であるので申し添える。

記

## 第1 改正法及び改正政令関係

### 1 中核市の権能に関する事項

- (1) 中核市（2に掲げる要件を備えた市であって政令で指定するものをいう。以下同じ。）又は中核市の市

長その他の機関（以下「中核市等」という。）は、地方自治法（以下「法」という。）第252条の19第1項の規定により指定都市又は指定都市の市長その他の機関が処理し又は管理し及び執行することができる事務のうち、都道府県又は都道府県知事その他の機関が都道府県の区域にわたり一体的に処理し又は管理し及び執行することが効率的な事務その他の中核市等において処理し又は管理し及び執行することが適当でない事務以外の事務で政令で定めるものを、政令で定めるところにより、処理し又は管理し及び執行することができるものとされたこと。

（法第252条の22第1項、地方自治法施行令（以下「令」という。）第174条の49の2から第174条の49の18まで）

- (2) 中核市等がその事務を処理し又は管理し及び執行するに当たって、法律又はこれに基づく政令の定めるところにより都道府県知事の改善、停止、制限、禁止その他これらに類する指示その他の命令を受けるものとされている事項で政令で定めるものについては、政令の定めるところにより、これらの指示その他の命令に関する法令の規定を適用せず、又は都道府県知事の指示その他の命令に代えて、主務大臣の指示その他の命令を受けるものとされたこと。

（法第252条の22第2項、令第174条の49の2から第174条の49の9まで及び第174条の49の19）

## 2 中核市の要件に関する事項

中核市となるべき市が備えなければならない要件は、次のとおりとされたこと。

（法第252条の23）

- ① 人口30万以上を有すること。
- ② 面積100平方キロメートル以上を有すること。
- ③ 当核市の人口が50万未満の場合にあっては、当該市を含む周辺の地域における経済社会生活圏の中核としての機能を有する都市として政令で定める基準を満たすこと。

なお、政令においては、最近の国勢調査の結果による当該市の従業地・通学地による人口を当該国勢調査の結果による当該市の常住地による人口で除して得た数値に100を乗じて得た数値（昼夜間人口比率）が100を超えることが要件として定められたものであること。

（令第174条の49の20）

## 3 中核市の指定に係る手続に関する事項

- (1) 中核市は、政令で指定するものとされたこと。
- (2) 自治大臣は、中核市の指定に係る政令の立案をしようとするときは、関係市からの申出に基づき、これを行うものとされたこと。

（法第252条の24第1項）

- (3) (2)の申出をしようとするときは、関係市は、あらかじめ、当該市の議会の決議を経て、都道府県の同意を得なければならないものとされたこと。

（法第252条の24第2項）

- (4) (3)の同意については、当該都道府県の議会の議決を経なければならないものとされたこと。

（法第252条の24第3項）



#### 4 政令への委任に関する事項

- (1) 法律又はこれに基づく政令に定めるもののほか、中核市の指定があった場合において必要な事項について、政令で定めるものとされたこと。

(法第252条の25)

なお、この必要な事項については、地方自治法第252条の19第1項又は地方自治法第252条の22第1項の規定による指定都市又は中核市の指定があった場合における必要な事項を定める政令（以下「経過措置政令」という。）により定められたものであること。

- (2) 中核市の指定があった場合において、その指定の際現に効力を有する都道府県知事等が行った許可、認可等の処分その他の行為又は現に都道府県知事又は都道府県の委員会その他の機関（以下「都道府県知事等」という。）に対して行っている許可、認可等の申請その他の行為で、指定日以後法律又はこれに基づく政令の規定により当該中核市の市長又は中核市の委員会その他の機関（以下「中核市の市長等」という。）が管理し、及び執行することとなる事務に係るものは、指定日以後においては、当該中核市の市長等の行った許可、認可等の処分その他の行為又は当該中核市の市長等に対して行った許可、認可等の申請その他の行為とみなされること。

(経過措置政令第8条)

- (3) 中核市の指定があった場合において、その指定の際現に効力を有する都道府県知事等が当該中核市等に対して行った許可、認可等の処分、指定日以後法律又はこれに基づく政令の規定により主務大臣が行うこととなるものは、指定日以後においては、主務大臣の行った許可、認可等の処分とみなされること。

(経過措置政令第8条)

#### 5 指定都市の指定があった場合の取扱いに関する事項

中核市に指定された市について指定都市の指定があった場合は、当該市に係る中核市の指定は、その効力を失うものとされたこと。

(法第252条の26)

## 第2 関係整備法及び整備政令関係

- 1 地方自治法の改正により、中核市に関する特例を設けることになったことに伴い、関係法律及び関係政令に中核市等に関する事務配分の特例規定が定められたこと。

(関係整備法第1条、第3条から第20条まで、第22条から第34条まで、第36条から第38条まで、整備政令第1条、第2条、第4条から第12条まで、第14条、第16条から第21条まで、第23条から第29条まで、第31条及び第32条)

- 2 中核市に保健所を設置することとされたこと。

(関係整備法第2条、整備政令第3条)

- 3 その他中核市に関する事務配分の特例を設けることに伴い、関係法律及び関係政令の規定を整備したこと。

(関係整備法第21条及び第35条、整備政令第13条、第15条、第22条及び第30条)

[参考]

自治行第 30号

平成7年4月1日

各都道府県知事 殿

自治省行政局長

地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う  
関係法律の整備に関する法律（中核市制度の創設関係）の施行について（通知）（抄）

平成6年6月29日に公布された地方自治法の一部を改正する法律（平成6年法律第48号。以下「改正法」という。）及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成6年法律第49号。以下「関係整備法」という。）のうち、中核市制度の創設に係る部分及び地方自治法施行令等の一部を改正する政令（平成6年政令第397号）並びに地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令（平成6年政令第398号）の施行については、平成7年4月1日付け自治行第29号自治事務次官通知が発せられたところであるが、法令に定められた中核市の事務処理の特例に関する留意点及び上記の法令の解釈、運用上の留意事項について以下のとおり通知するので、その取扱いに遺憾のないよう配慮するとともに、貴管下市町村に対しても御指導願いたい。

なお、広域連合制度の創設関係の改正については、改正法の公布の日から起算して1年を越えない範囲内において、政令で定める日から施行することとされており、広域連合制度の創設関係に係る留意事項については、関係政令等の整備の後別途通知する予定であるので申し添える。

## 記

### 第1 事務処理の特例に関する総括的事項

- 1 中核市又は中核市の市長その他の機関（以下「中核市等」という。）は、指定都市又は指定都市の市長その他の機関が処理し又は管理し及び執行することができる事務のうち、都道府県又は都道府県知事その他の機関（以下「都道府県等」という。）が都道府県の区域にわたり一体的に処理し又は管理し及び執行することが効率的な事務その他の中核市等において処理し又は管理し及び執行することが適当でない事務以外の事務で政令で定めるものを、政令で定めるところにより、処理し又は管理し及び執行することができるものとされたこと。

（地方自治法（以下「法」という。）第252条の2第1項、児童福祉法第59条

県知事は土地区画整理事業を行うことができること。

#### 17 屋外広告物の規制に関する事務

中核市等が処理することとなる事務は、屋外広告物法の規定により都道府県等が処理する事務であること。  
(地方自治法施行令第174条の49の18)

### 第3 個別法に基づき移譲される事務に関する事項

上記第2に掲げるもののほか、次に掲げる法令に基づく事務が移譲されたものであること。

(1) 関係整備法及びこれに基づく政令において、中核市に関する事務配分の特例を定めているもの

- 1 社会福祉事業に基づく事務(同法第6条第2項及び第3項、第8条第2項、第11条第1項、第19条及び第20条)
- 2 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律に基づく事務(同法第12条)
- 3 駐車場法に基づく事務(同法第12条)
- 4 流通業務市街地の整備に関する法律に基づく事務(同法第5条)
- 5 宅地造成等規則法に基づく事務(同法第5条第1項)
- 6 住宅地区改良法に基づく事務(同法第36条の2)
- 7 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく事務(同法第29条第1項)
- 8 都市緑地保全法に基づく事務(同法第12条)
- 9 民間事業者の能力の活用による特定施設の整備の促進に関する臨時措置法に基づく事務(同法第58条)
- 10 特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律に基づく事務(同法第19条)
- 11 高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律に基づく事務(同法第16条)
- 12 都市再開発法に基づく事務(同法第137条)
- 13 大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する臨時措置法に基づく事務(同法第31条)
- 14 地方拠点都市の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく事務(同法第23条)
- 15 農住組合法に基づく事務(同法第90条)
- 16 伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づく事務(同法第2条第3項、第4条第1項)
- 17 文化財保護法に基づく事務(同法第100条第1項)

(2) 知事の権限に属する事務を政令で定めるところにより市町村長へ委任することができるとする個別法の規定に基づき、政令において中核市の事務配分の特例を定めているもの

- 1 大気汚染防止法に基づく事務(大気汚染防止法施行令第13条第2項)
- 2 悪臭防止法に基づく事務(悪臭防止法施行令第2条第2項)

## 2. 埋蔵文化財に関する諸届出について

平成8年1月12日  
記念物行政担当者会議

### 埋蔵文化財に関する諸届出について

#### 〔留意事項〕

#### 1. 発掘調査等に関する届出

##### ①調査のための発掘に関する届出（法第57条・第98条の2）

- ・発掘調査が2年度以上の長期間に及ぶ場合は、当該発掘調査に係わる法第57条あるいは第98条の2に基づく届出を各年度ごとに提出すること。
- ・遺跡の内容や範囲、あるいは遺跡の有無を確認するために試掘の調査を実施する際には、対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地であるかどうかに関わらず、法第57条あるいは第98条の2に基づく届出を提出すること。

##### ②法第57条・98条の2に基づく届出、通知には「別記2」をA4版にて1部複写して添付すること。

##### ③国指定史跡名勝における現状変更に伴う発掘調査に関する届出

- ・現状変更許可申請で文化庁長官の許可を受けている場合（法第80条）は、法第57条第1項あるいは法第98条の2第1項に基づく発掘調査の届出は不必要である。

#### 2. 土木工事等による発掘に関する届出（法第57条の2・3）

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地内における大規模な工事等に伴う、法第57条の2・3に基づく届出は、原則として一遺跡ごとに提出すること。
- ・法第57条の2・3に基づく届出、通知には「別記2」をA4版にて1部複写して添付すること。

#### 3. 遺跡の発見に関する届出（法第57条の5・6）

- ・遺跡の発見について届出の義務を負うのは、遺跡の発見された土地の所有者または占有者のみである。ただし、この制度によるのではなく、事実上、土地の所有者・占有者以外の遺跡の発見者が地方公共団体の文化財担当部局あるいは文化庁に遺跡を発見した旨を通知することが禁じられていないのはもちろんのことである。
- ・法第57条の5・6に基づく届出、通知には「別記2」をA4版にて1部複写して添付すること。

#### 4. 遺物の発見に関する届出（法第60条）

- ・発掘調査等によって出土した埋蔵物は、まず遺失物法の適用を受けるので、文化財保護法第65条及び遺失物法第13条の規定により、発見の日から7日以内に発見地の警察署長に届け出なければならない。ただし、発掘調査の場合は、日々に遺物が発見されるため、便宜上一連の発掘調査による出土品をまとめて調査終了日を発見の日とすることができるとしているので、調査終了後、遅滞なく所定の手続きを行うこと。

## 5. 出土文化財の譲与について

○【出土文化財の取扱について（昭和55年2月21日 庁保記第12号 文化庁次長通知）】

### 「2 出土文化財の地方公共団体への譲与

出土文化財のうち国が保有しないもので、その発見者又は発見された土地の所有者は当該出土文化財に係わる法第63条第1項の規定による報償金の支給を受ける権利又は法第64条第1項の規定による譲与を受ける権利を主張していないものについては、法第64条第3項の規定により、出土地を管轄する地方公共団体に対し、その申請に基づき譲与の措置をとることとした。

これは、出土文化財は、その学術的又は芸術的価値、適切な保存・活用の必要性等にかんがみ、国が保有しないものについては、特別の事情がない限り、地方公共団体への譲与を原則としたものである。

この趣旨を踏まえ、各地方公共団体は、管轄地域内からの出土文化財について積極的に譲与の手続きをとり、適切な保存・活用を図るよう配慮されたい。」

### 出土文化財の譲与について

1. 国庫に帰属した出土文化財のうち、将来にわたって国で保有する必要があるもの（国が保有し、地方公共団体へ貸出す場合を含む。）以外のものについて譲与を行う。

2. 譲与の相手方として法律上規定されているのは、次のとおりである。

① 発見者、発見地の所有者……………法第64条1項

② 発見地を管轄する地方公共団体……………法第64条3項

※理論上は、他に発見者・発見地所有者からその譲与を受ける権利を譲り受けた第三者に譲与することが考えられるが、これは出土文化財の扱いとして不適当な結果を将来するおそれがあるので、認めないこととする。

3. 譲与に際しては、次のことを原則とする。

① 出土文化財は、出土時の一括を一単位とし、保管等に際してこれを分割しないように配慮すること。

② 出土文化財の譲与は、譲与後において公共的な活用に共する場合に限って行うこと。

③ ①及び②から、譲与は地方公共団体に対して行うのを原則とすること。

4. 譲与申請に際しては、譲与後の出土文化財の公共的な活用、発見者等の権利者との権利関係の調整のために、次のような文書を添付すること。

① 法第64条1項により、発見者・発見地所有者が譲与を受けようとする場合。

発見者・発見地所有者が、出土文化財の保有・活用に適さない者であるときは、それに適する者（地方公共団体等）へ譲与後の出土文化財を譲与、譲渡又は寄託することを証する文書様式a。

② 法第64条3項により地方公共団体が譲与を受けようとする場合。

発見者・発見地所有者が、その出土文化財についての権利（譲与を受ける権利・報償金を受ける権利）を放棄していることを証する文書様式b。

※ の文書は、地方公共団体などが行う発掘調査にあって、予め調査の契約の条項として、出土文化財の扱いが規定されており、その内容がそれぞれの趣旨に該当する場合は、当該契約をもって代えてもよい。

譲与申請書類の添付資料

(譲与申請者)	(発見者・発見地所有者の種類)	(譲与の適用条項)	(添付書類)
1. 発見地を管轄する地方公共団体	発見者・発見地所有者とも当該地方公共団体であるとき	法第64条1項	.....
	発見者・発見地所有者の一方が当該地方公共団体以外の者であるとき	地方公共団体の権利分については 法第64条1項	.....
		地方公共団体の者以外の権利分については 法第64条3項	「権利放棄書」様式b
	発見者・発見地所有者の両方もが当該地方公共団体以外の者であるとき	法第64条3項	「権利放棄書」様式b
2. 発見者及び発見地所有者	(発見者・発見地所有者とも地方公共団体でない)	法第64条1項	(ア) 当該者が出土文化財の保有に適する場合 .....
			(イ) 当該者が出土文化財の保有に適さない場合 「一括保存の了解書」 様式a

(注) 1. 発見者・発見地所有者が国又は国の機関である場合は、添付書類は不要。  
2. 発掘調査の契約に、出土文化財の取扱いについての権利放棄などの条項がある場合は、様式a、bの書類に代えてそれを添付すること。

3. 県、市町村別の発掘調査件数および面積の実績

(昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照)

		県 関 係				市 町 村 関 係							合 計	
		農業基盤整備等	道路・河川等	その他	小 計	土地改良等	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他		小 計
平成 元 年度	件数	33	21	1	55	3	12	1	13	4	3	15	51	106
	面積	33,300	80,400	4,400	118,100	1,800	15,900	300	30,500	6,800	3,400	16,200	74,900	193,000
平成 2 年度	件数	30	32	1	63	9	9	2	20	10	5	13	68	131
	面積	33,300	53,700	4,300	91,200	16,900	19,700	3,500	27,900	15,400	8,000	17,300	108,000	199,900
平成 3 年度	件数	28	15	1	44	9	14	2	40	13	0	14	92	136
	面積	29,300	24,700	4,000	58,000	13,700	10,100	10,200	51,800	12,400	0	9,800	108,000	166,600
平成 4 年度	件数	44	41	9	94	6	13	4	38	17	3	28	109	203
	面積	29,800	24,000	4,000	57,800	13,700	14,000	15,600	15,400	45,200	500	8,000	112,400	170,200
平成 5 年度	件数	63	51	15	129	15	12	0	29	7	3	35	101	230
	面積	25,300	33,500	6,200	65,000	15,200	13,300	0	20,000	22,000	200	20,000	90,700	155,700
平成 6 年度	件数	66	63	12	139	10	14	0	31	3	8	37	103	242
	面積	29,866	41,805	8,761	79,432	24,347	8,651	0	13,788	830	440	20,511	68,567	147,999
平成 7 年度	件数	58	63	26	147	9	15	0	29	6	4	43	106	253
	面積	26,117	51,720	13,674	91,511	18,191	10,717	0	5,252	2,947	1,001	18,457	56,565	148,076

※同一遺跡を調査した場合でも、調査期間・原因が異なる場合は別件とした。

〔付1〕平成7年度 三重県文化財調査員名簿

地区	氏 名	勤 務 地	住 所
北勢	山崎恒哉 松本覚生 鎌田雅利 吉田利弘 岩脇彰彰 川添護定 桐生己治 加藤修一 赤川	桑名北高校 藤原中学校 三重平中学校 飯野小学校 関小学校 桑名高校看護分校 楠中学校	
中勢	河合良久成 服部尻健士 江尻浦儀直 三津村善博 野尻孝明 園田純子	津東高校 鵠小学校 川口小学校 嬉野中学校	
松阪	榎本義讓 斎藤実久 筒居利安 増田生次 奥井義博 三井武和 今川	伊勢寺小学校 飯高西中学校 明和中学校 松阪高校	
南勢・志摩	河北瀬信幸 高嶋充仁 中世古一 村上一 角上喜雄 伊藤藤千 岡月久 松川和	小俣中学校 玉城中学校 度会擁護学校 宿田曾小学校 甲賀小学校 北浜中学校 皇学館高校  伊勢工業高校	
上野	市田進一 山岡裕三 寺岡光三 森前光稔 久保勝正 谷戸実明 松月茂明 杉澤学 中内康一 赤川	東小学校  名張中学校 上野商業高校 赤目小学校  すずらん台小学校	
尾鷲	東本成志 山崎和彦 田崎通雅	尾鷲中学校 長島高校	
熊野	福村直人 花尻薫 岩本直樹	神志山小学校	

---

平成7年度

三重県埋蔵文化財年報 7

1996・3

編集 三重県埋蔵文化財センター  
発行

印刷 光出版印刷株式会社

---